取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

日立デジタルレコーダー

ＤＳ-Ｈ３００形

このたびは日立デジタルレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

特　長

■ **高画質**
デジタル圧縮方式により、水平解像度400本以上の高画質を実現します。

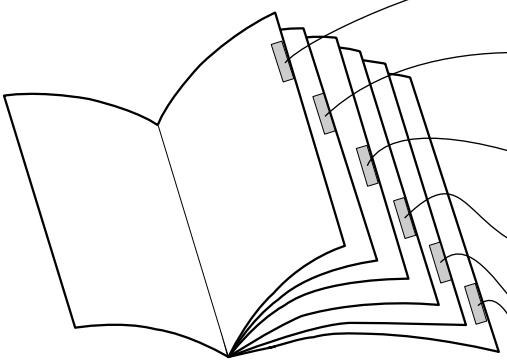
■ **長時間記録**
240GB大容量ハードディスク内蔵により、長時間の記録が可能です。

■ **ネットワーク機能（ご使用の際には営業または販売店にご相談ください。）**
- 100BASE-TX イーサネットポートを標準装備。
- ライブ映像の確認。
- ハードディスクに記録された映像／音声の確認。
- PCへの記録データのアップロード
- ハードディスクに記録された映像の検索。
- 遠隔操作。
- 以上の機能を実現するためには、別売の専用PCソフトが必要です。お買上げの営業または販売店にお問い合わせください。
- 電子メールによるアラーム／機器異常の発報。
（本機能を利用する場合、別途サービス契約が必要です。お買上げの営業または販売店にお問い合わせください。）

■ **フレキシブルアラーム記録**
- フレキシブルアラーム記録には非常連動アラーム記録とセンサ連動アラーム記録の2種類があります。
- 非常連動アラーム記録では最大3分のプリ記録が可能です。センサ連動アラーム記録は、最大5秒のプリ記録が可能です。
- アラーム入力と記録するカメラ映像を自由に組み合わせ可能です。
- アラーム記録の有効／無効を期間または時刻で指定できます。

■ **信頼性向上**
- 改ざん検出機能（本機から取り出した映像データには、改ざん検出用のデータが埋め込まれています。これにより映像が改ざんされたかを検出することができます。）（専用PCソフトが必要です。）
- 2種類の警告出力。至急の対応を要する重度の警告と、急を要さない軽度の警告とを分けて別々に出力します。

この取扱説明書の構成



はじめに　各部のなまえ、接続のしかた、電源について説明してあります。

基本の使いかた　マルチ画面で見る方法やシーケンシャルスイッチャー機能、ズーム表示機能の使いかたが説明してあります。

録る・見る　本機の特長を活用した記録方法、再生方法などが説明してあります。

その他の使いかた　ハードディスクの交換方法やPCカードにデータをアップロードする方法、モードロック機能の使いかたが説明してあります。

設　定　各種設定方法について、説明してあります。

ご参考・その他　アフターサービスなどを説明してあります。

■ **表記の約束**

⚠警告
⚠注意

……安全に関する表記です。
4〜8ページをよくお読みください。

お知らせ ……操作上、お守りいただきたいことが書いてあります。

……参照ページです。

メモ ……操作上のアドバイスです。

Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

もくじ

特　　長 2
この取扱説明書の構成 2
安全にお使いになるためのご注意 4
設置上のお願いおよび使用上のご注意 9

はじめに

各部のなまえ 10
接続のしかた 12
　コントロール端子にコードをつなぐ 12
　電源を入れる 15
　リセットのかけかた 15
　補助電源コンセントの使いかた 15
停電したとき 16
　「停電有り」が表示しているときは 16
　録画中に停電したときは 16
　本機をいったん使用したあと、約1ヶ月以上
　通電しなかったときは 16

基本の使いかた

表示情報 17
　画面表示内容について 17
　表示切り換えについて 17
　映像表示領域について 17
　補助情報表示領域について 18
　チャンネル名表示領域について 19
　チャンネル情報表示領域について 19
　ワーニング表示について 20
アラーム入力時の画面 21
　アラーム入力時のライブ表示 21
　アラームの保留 21
異常検出と復旧方法 22
モニター画面の見かた 23
画面の切り換え 25
10分割画面表示の映像選択 27
ズーム表示 28
　ズーム表示をする 28
映像を自動的に切り換える
　（シーケンシャルスイッチャー機能） 29
　フル画面表示で自動切り換え
　機能を働かせる 29
　4分割画面表示で自動切り換え
　機能を働かせる 29
　10分割画面表示で自動切り換え
　機能を働かせる 30
　スポット出力（モニター出力2） 31

録る・見る

録る（記録） 32
　記録の優先順位 32
　一般記録を始める 33
タイマー記録をする 34
　タイマー記録を始める 34
　タイマー記録予約およびタイマー記録中の停止操作 34
アラーム記録をする 35
　センサ連動記録を始める 35
　非常連動記録を始める 36
見る（再生） 37
　再生のしかた 37
いろいろな再生 38
　再生間隔を変える 38
　見たい場面を止めて見る（再生一時停止） 38
　画像を見ながら見たい場面を探す（早送り再生／早戻し再生） 38
　逆の動きで見る（逆転再生） 39
　ゆっくりとした速さで見る（コマ送り再生） 39
　逆の動きをゆっくり見る（逆転コマ送り再生） 39
　記録中に映像を再生する（記録同時再生） 40

録る・見る

見たい場面を、日付・時刻から頭出しする（タイムデートサーチ） 41
指定した場面を映像をたよりに時間・分・秒で検索する
　（時分割サーチ） 43
記録開始位置を頭出しする（インデックスサーチ） 46
　順サーチ 46
　逆サーチ 46
日付・時刻からアラーム記録だけを検索する（アラームサーチ） 47

その他の使いかた

PCカード（フラッシュメモリカード）を使う 49
　使用できるPCカードは 49
　PCカード取り扱い上のご注意 49
PCカードにデータをアップロードする 50
　時間帯を指定して記録データの
　アップロードをする 50
誤操作を防ぐ（モードロック） 53
LAN機能を使う 54
RS-232Cの通信仕様 55
　RS-232Cの仕様 55
　1. ボタン同義コマンド 57
　2. 特殊コマンド 58
　3. 機器設定コマンド 60
　4. 機器確認コマンド 65
　5. 特権モードログイン 71
　6. 機種情報 71
外付けハードディスクの増設について 72

設　　定

メニュー（設定）の全体構成 73
基本操作説明（メインメニュー） 74
記録の設定をする 76
　リサイクルモードと残量警告の設定 76
　グルーピングの設定 78
　一般記録の設定 80
タイマー記録の設定をする 82
　タイマー記録の設定 82
アラーム記録の設定をする 85
　非常連動記録の設定 85
　センサ連動記録の設定 87
遠隔モニタリングの設定をする 93
　遠隔モニタリングの設定 93
スイッチャーの設定をする 95
　スイッチャーの設定 95
　スポット出力の設定 97
　チャンネル名設定 99
一般的な機能の設定をする 101
　日時の設定 101
　モニタ出力表示位置の設定 103
　リア入出力の設定 104
　ブザーの設定 106
ネットワークの設定をする 108
　シリアルの設定 108
　ネットワークの設定 110
　リモートの共通設定 119
フォーマットをする 121
　HDDの登録 121
　PCカードの初期化 123

ご参考・その他

故障かな…と思ったら 124
保証とアフターサービス 126
別売品のご紹介 127
仕　　様 128
PCカードのディレクトリ（フォルダー）構造 129
メッセージ一覧 130
日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表 134

安全にお使いになるためのご注意

この取扱説明書には、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、重要な注意事項を記載しています。
注意事項は、取り扱いを誤った場合に発生が想定される危害や損害の程度を、次のとおり「警告」「注意」の2つに分類しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

表示について

⚠警告	誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される」内容を示しています。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、「人が傷害（※2）を負う可能性が想定される」内容および「物的損害（※3）のみの発生が想定される」内容を示しています。

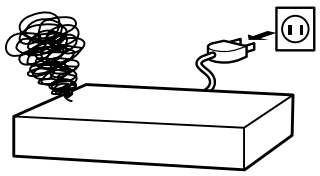
※1重傷 ..... 失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2傷害 ..... 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3物的損害..... 家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

図記号の意味

注意	この記号は、気をつけていただきたい**「注意」**内容です。	接触禁止	この記号は、手を触れてはいけない**「接触禁止」**を表しています。
禁止	この記号は、してはいけない**「禁止」**内容です。	ぬれ手禁止	この記号は、**「ぬれた手で扱うことを禁止する」**ことを表しています。
水ぬれ禁止	この記号は、**「水にぬらすことを禁止する」**ことを表しています。	強制	この記号は、必ず実行していただく**「強制」**内容です。
分解禁止	この記号は、**「分解禁止」**を表しています。	プラグを抜く	この記号は、コンセントから**「電源プラグを抜く」**ことを表しています。

⚠警告

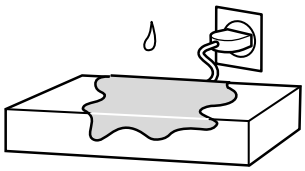
煙が出ている、へんな臭いがするなど異常なときは、電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 異常状態に気づいたらすぐに使用を中止し、販売店にご相談ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

水にぬらさない



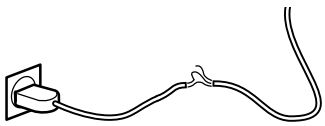
内部に水が入ったまま使用すると、火災・感電・漏電の原因となります。

- 内部に水が入ってしまったときは、使用を中止し、販売店にご相談ください。
- 風呂、シャワー室では使用しないでください。
- 屋外や窓辺で使用するときは、ぬらさないようにご注意ください。

電源コードを破損させない

電源コードの破損につながるので、取り扱いの際は、次の点を守ってください。

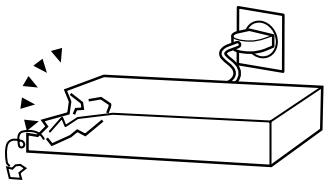
- 傷つけない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- 重いものや角が鋭利なものを乗せない
- 加熱しない
- 引っ張らない
- 加工しない
- たばねない
- 敷物などでおおわない



破損したまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 万一、コードが破損したときは、電源プラグをコンセントから外して販売店にご相談ください。

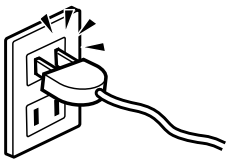
落としたり､キャビネットを破損しない



落としたり、キャビネットを破損した場合は、正常に動作しているように見えても内部に異常がある場合があります。

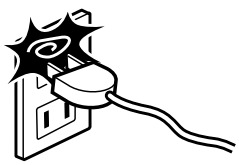
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

電源プラグが不完全な接続のまま使わない



接触不良で発熱し、火災の原因となります。

電源プラグにほこりや汚れ・金属物などの異物を付着させない

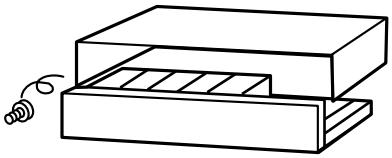


電源プラグに異物が付着したまま使用すると発熱し、火災・感電の原因となります。

- 万一、付着しているときは、電源プラグをコンセントから外し、取り除いてください。

⚠警告

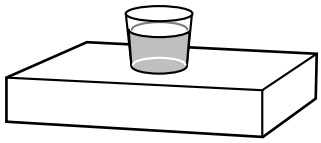
分解・改造しない、カバーを開けない



分解・改造すると、火災・感電・漏電・けがの原因となります。

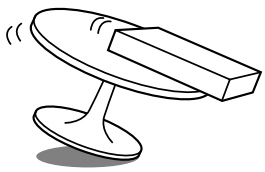
- カバーの内部には電圧の高い危険な部分もあります。内部の点検・調整・修理は販売店にご相談ください。

水の入った容器をのせたり、小さな金属物を置かない



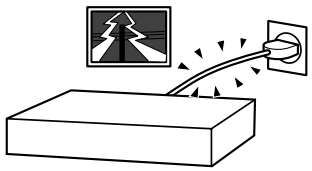
花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を上や近くに置かないでください。こぼれたり、中に入ると、火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない



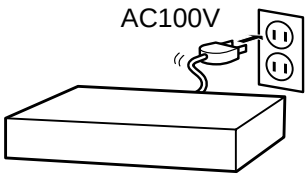
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

雷がなるときは電源コードに触れない



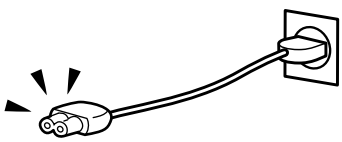
雷が鳴り始めたら、電源コードに触れないでください。感電の原因となります。

表示された電源電圧で使用する



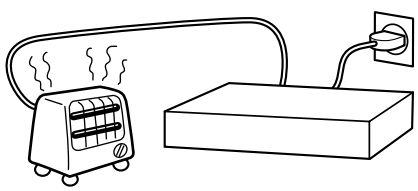
表示された交流１００ボルト以外の電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

電源コードだけをコンセントに差し込んだままにしない



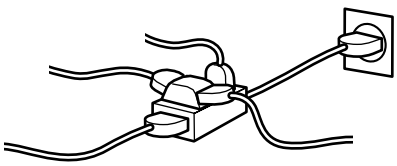
電源コードだけを、コンセントに差し込んだまま放置しないでください。火災･感電の原因となります。

補助電源コンセントに熱器具などをつながない



消費電力表示を超える機器（熱器具など）の電源コンセントとして使わないでください。火災の原因となります。

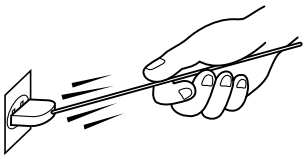
タコ足配線をしない



タコ足配線しないでください。火災・過熱の原因になります。

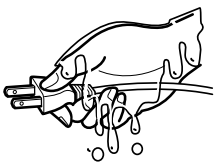
⚠注意

電源コードを持って引っ張らない



電源コードを持って引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグをコンセントから抜くときは、プラグ部分を持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

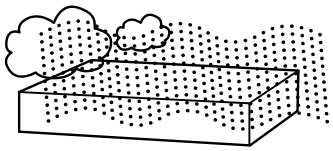


感電の原因となることがあります。

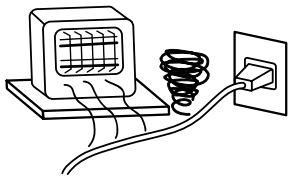
湿気、ほこり、湯気は避ける
振動が激しい場所は避ける

火災・感電を防止するため、次のような場所に置かないでください。

- 湿気やほこりの多い場所
- 湯気や湯煙が当たる場所
- 温風または冷風が当たる場所
- 振動が激しい場所

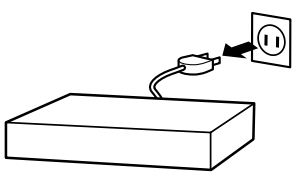


電源コードを熱器具に近づけない



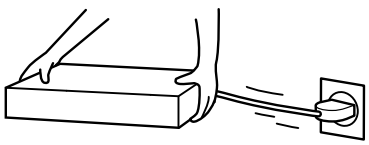
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは電源プラグを抜く



安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

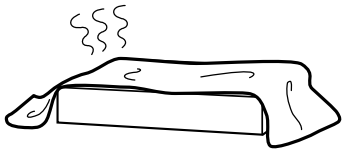
移動させるときは注意する



移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードを外したことを確認のうえ、行ってください。外さないで移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

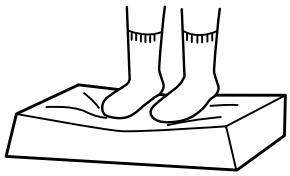
⚠注意

通風孔をふさがない



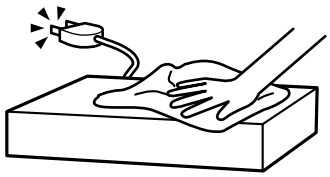
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
本箱や押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込んだり、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりしないでください。

本機の上に乗らない



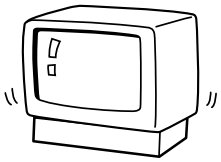
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

お手入れするときは電源プラグを抜く



安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

重いものを置かない



重いものやテレビなどを上に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

保守点検について

保守点検を販売店などにご相談ください。長い間掃除しないと本機内部にほこりがたまり、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、保守点検の費用については、販売店などにご相談ください。

温度差のある場所への移動について

- 特に、移動する場所で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露が生じることがあります。結露※したまま使用すると、ハードディスクの故障や、火災・感電の原因となります。
  ※表面や内部に水滴がつくことを結露といいます。
- 温度差のある場所へ移動した場合には、使用する場所で数時間そのまま放置してからご使用ください。

消耗品について

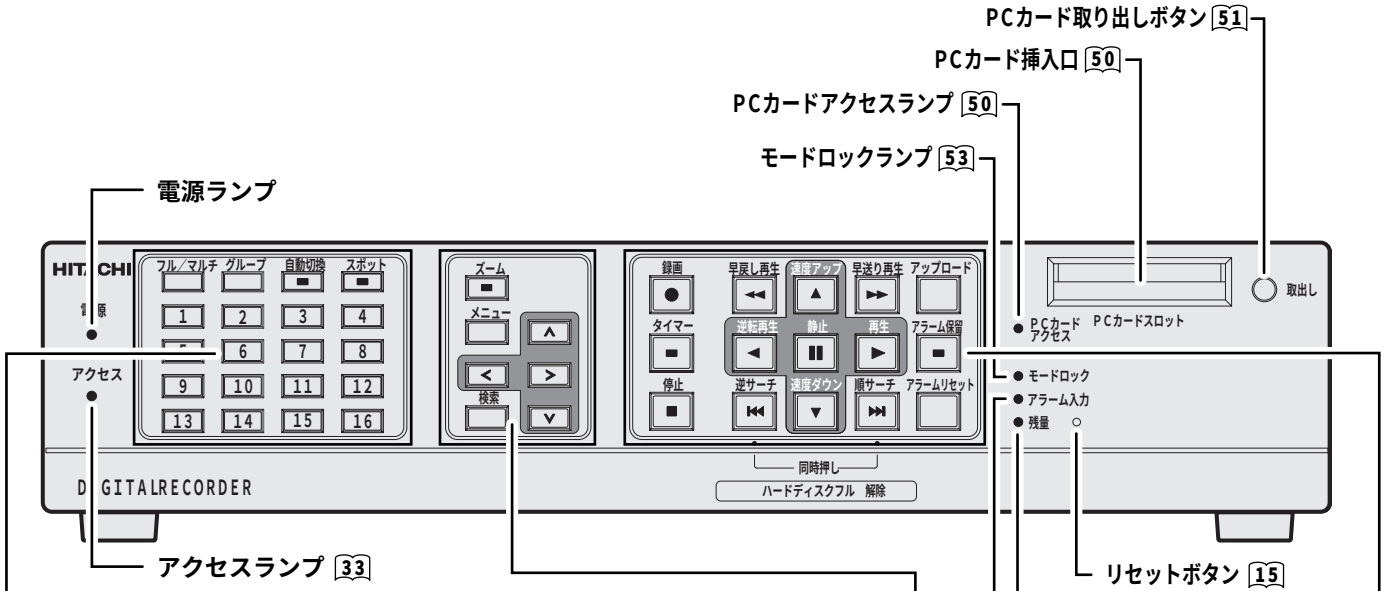
ハードディスクと冷却ファンは消耗部品です。3年を目安に交換してください。
（目安であり、保証ではありません。）

設置上のお願いおよび使用上のご注意

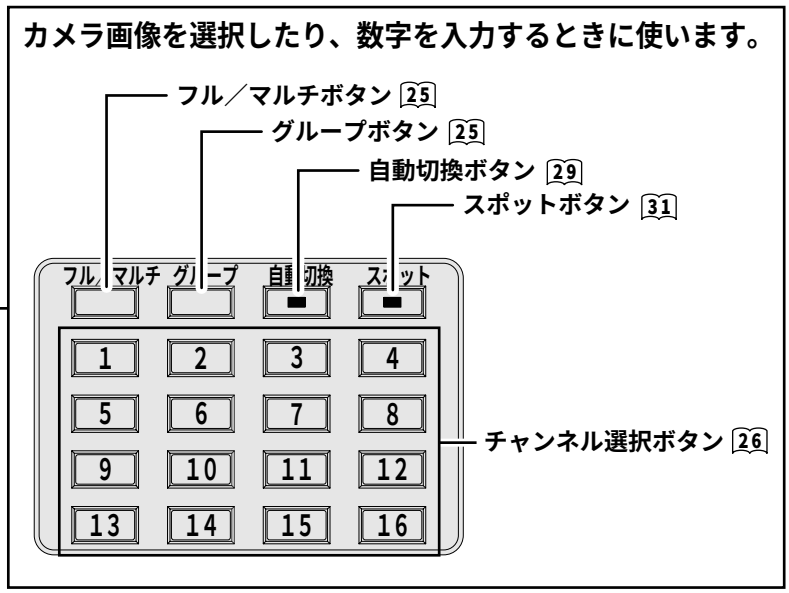
ラジオの近くに置かない	● 本機の近くでラジオを使用すると、ラジオ放送に“ ブー ”という音がでることがあります。本機から離してご使用ください。
直射日光が当たるところや熱器具の近くに置かない	● キャビネットが変形したり、部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。
本機の上にものを置かない	● キャビネットが変形したり、内部の温度が上昇して故障の原因になります。上にものを置く場合は、20mm以上のスペースを空けてください。
熱を発するものの上に、本機を置かない	● 本機の底面に通風孔がありますので、カメラ駆動ユニットなどの熱を発するものの上には置かないでください。内部の温度が上昇して、故障の原因になります。
通風孔や放熱ファンをふさがない	● 内部の温度が上昇して､故障の原因となることがあります｡壁などに近づけて放置しないでください｡(100㎜以上のスペースを空けてください｡) また、本機の底面の足を取り外して設置しないでください。 ● 本機には冷却用ファンが内蔵されていますのでモーター音がします。
強力な磁気のあるところに置かない	● 磁気の影響を受けて映像が乱れたり､故障の原因となることがあります。
接続機器の取り扱いについて	● 本機に接続して使用する機器の取扱説明書とその「使用上の注意」をよくお読みください。
お手入れについて	● 化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。 ● キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。 ● キャビネットをベンジンやシンナーでふかないでください。塗装がはげたり変質することがあります。 ● キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。塗装がはげることがあります。
電源コードを抜いたあと、すぐに移動しない	● 本機の移動は、電源を抜いて30秒以上たってから行ってください。 ハードディスクの故障の原因となります。
ハードディスクについて	● 当社指定のハードディスク以外は、使用できません。 ● ハードディスクは、精密機器です。落としたり、ぶつけたり、過大な衝撃を与えないよう取り扱いには注意してください。故障の原因となります。 ● ハードディスクは、結露したまま使用すると破壊につながります。 寒い屋外などから暖かい室内に持込んだ場合は、半日程放置してから使用してください。 ● 万が一、ハードディスクが故障した場合、記録したデータの復旧はできません。
本機に強い衝撃を与えない	● 本機は精密機器です。落としたりして強い衝撃を与えると、故障の原因となることがあります。 ● 輸送するときは、付属のカートン、または同じようなもので梱包し、本機に衝撃を与えないようご注意ください。
激しい振動のあるところで使わない	● 本機は精密機器です。激しい振動を与えると故障の原因となることがあります。
縦置きはしない	● 本機は、水平位置で使用するように設計してあります。垂直にしたり、極端に傾けての使用は避けてください。
外国では使わない	● 本機は日本国内用です。外国では信号方式、電源電圧が異なりますので使用できません。 ● <This video product can not be used in foreign countries as designed for Japan only.>
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。	
本機の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害（営業損失などの補償）の責については、ご容赦ください。	

各部のなまえ

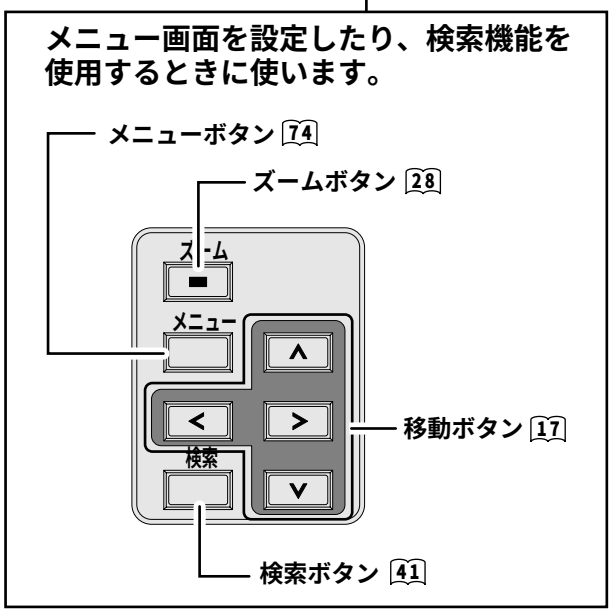
前 面



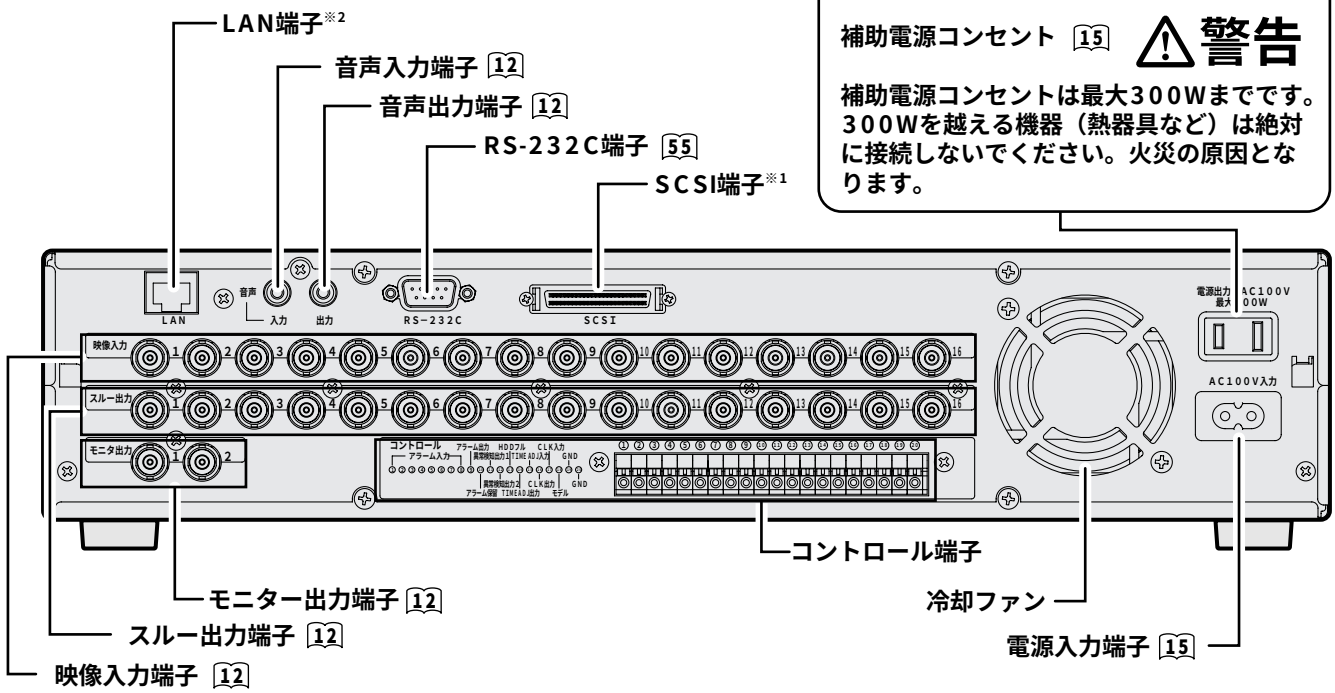
カメラ画像を選択したり、数字を入力するときに使います。



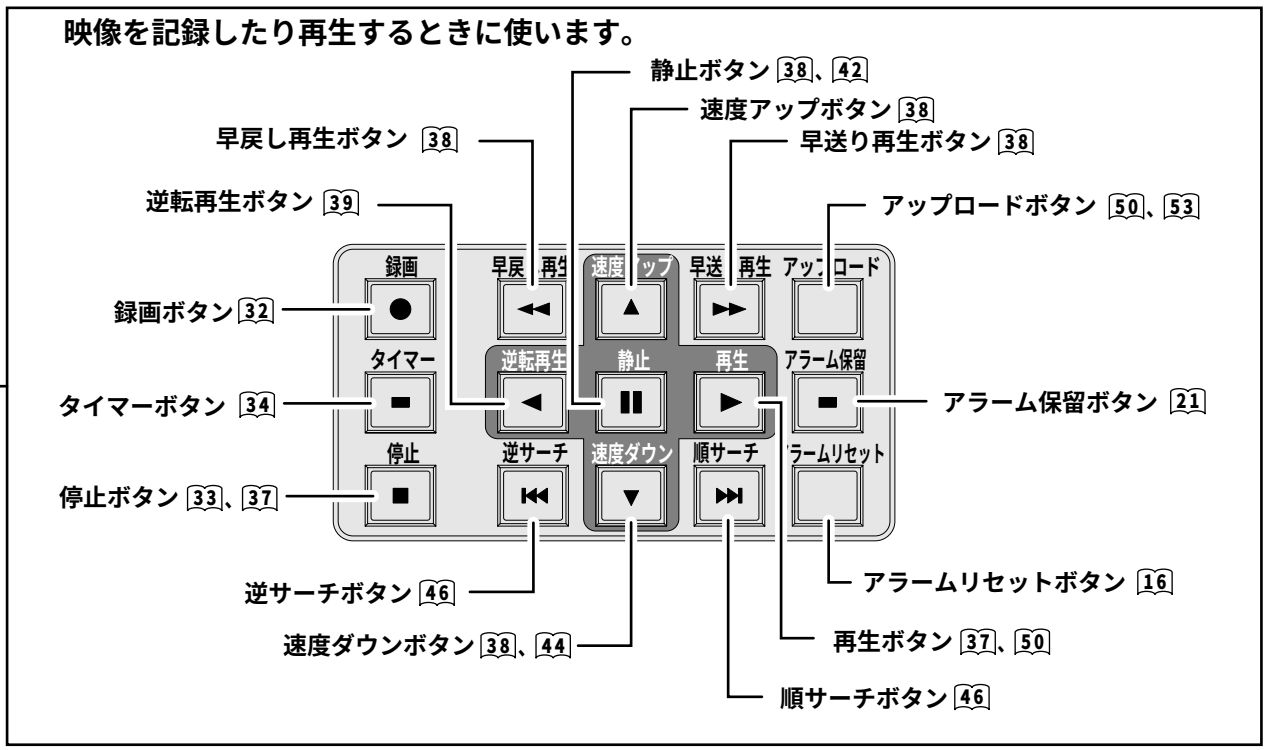
メニュー画面を設定したり、検索機能を使用するときに使います。



後 面



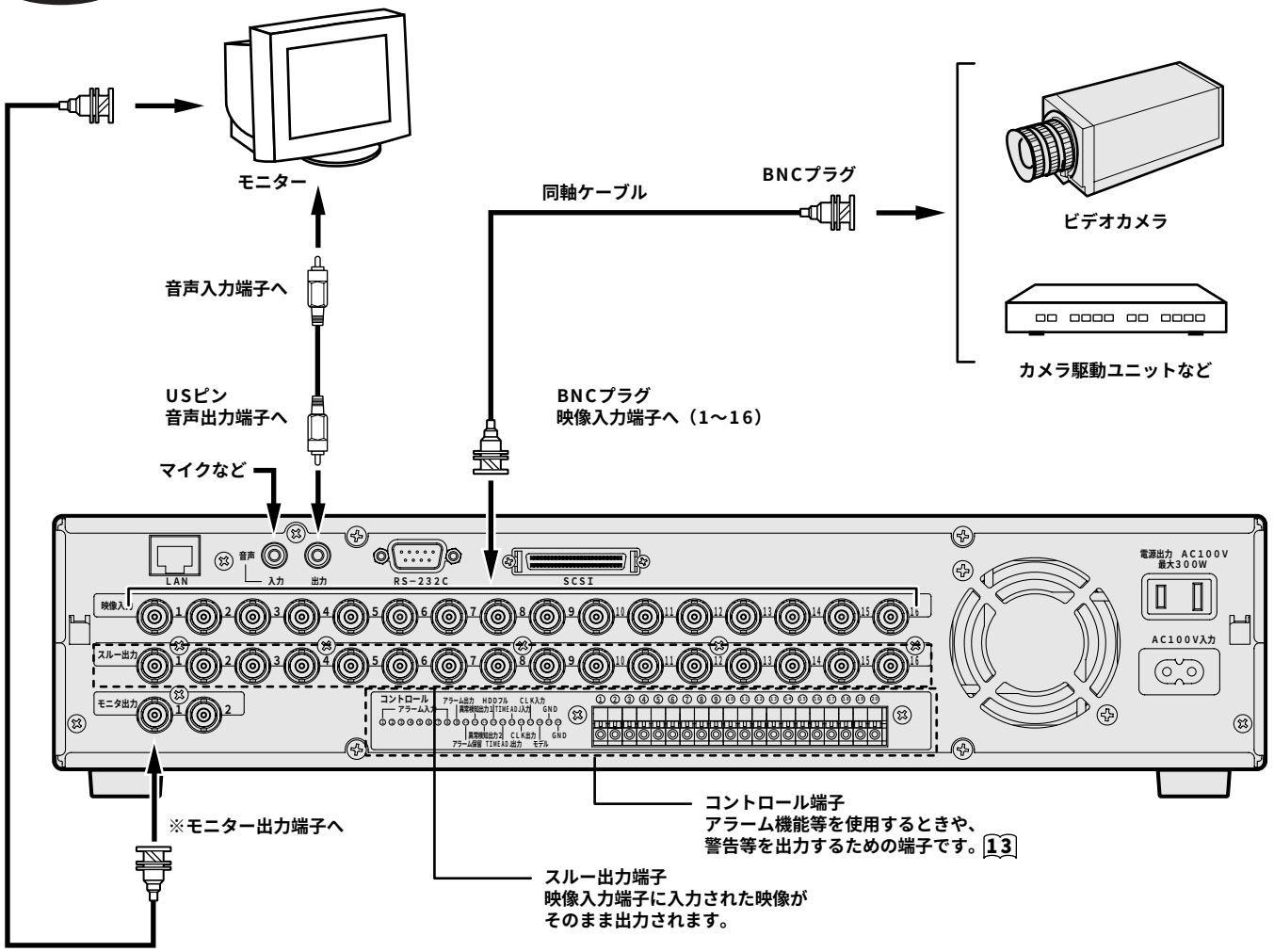
※1　SCSI端子は、外付ハードディスクを接続します。
ご使用の際は、営業または販売店にご相談ください。
※2　LAN端子をご使用の場合は、営業または販売店に
ご相談ください。



接続のしかた

ビデオカメラの映像出力端子や、カメラ駆動ユニットなどの映像出力端子（BNC接栓）からの映像信号を最大16系統入力できます。
推奨カメラは、VK-C456、VK-C451、VK-C336、VK-C306、VK-M306、VK-C878、VK-C858、VK-C838です。

お知らせ ● ご使用になるカメラレンズのアイリスを、開きすぎないようにしてください。



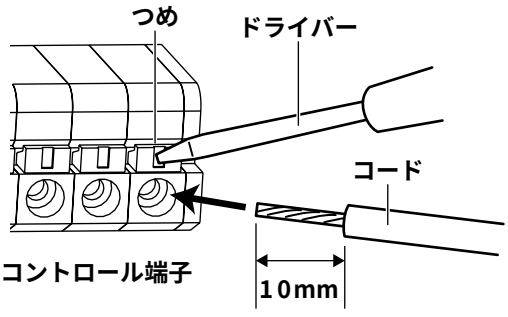
※モニターは、モニター出力1の端子に接続してください。
モニター出力2は、モニター出力1と同じ出力の表示かスポット出力を選択できます。（初期値は、スポット出力です）97

コントロール端子にコードをつなぐ

1 コードの被覆を10mmほどはがす

2 ドライバーなどで、つめの部分を押しながらコードを挿入する

● つめを奥まで確実に押しながらコードを入れてください。



※つめの中央部を確実に押してください。

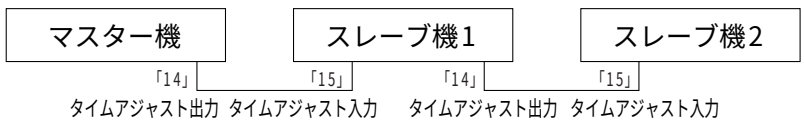
3 ドライバーを外す

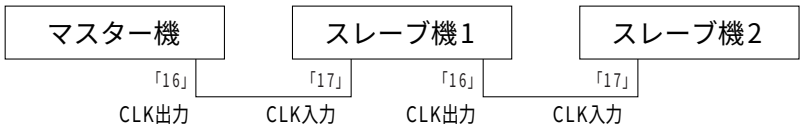
● コードが固定されます。

コードを抜くとき

つめをドライバーで押しながら、コードを抜いてください。

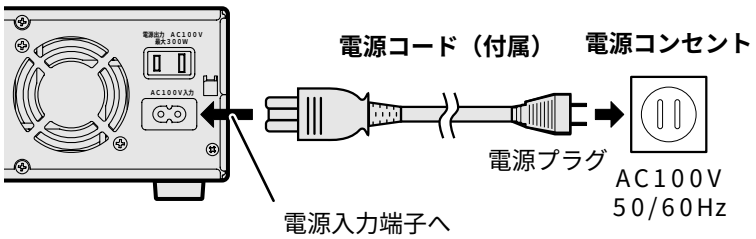
コントロール端子の機能

No.	機　　能
1 2 3 4 5 6 7 8	**アラーム入力** ●「1」は非常連動記録用 [36]、「2」～「8」はセンサ連動記録用 [35] の端子です。 ● A接点（通常：オープン、アラーム時：GNDとショート）とB接点（通常：GNDとショート、アラーム時：オープン）が選べます。 [104] ● 400ms以上のアラーム期間（A接点：GNDとショート、B接点：オープン）でアラーム入力を受けつけます。 ● 接続機器はGNDとショートしたときの抵抗値が1KΩ以下でオープン時は電圧のかからないものをご使用ください。
9	**アラーム出力** ● オープンコレクター出力です。 ● アラーム期間中にGNDとショートします。 **お知らせ** 本端子を直接電源に接続しないでください。故障の原因になります。 （最大出力電流：40mA、最大印加電圧：35V）
10	**アラーム保留** [21] ● オープンコレクター出力です。 ● アラーム保留が選択されている期間中にGNDとショートします。 **お知らせ** 本端子を直接電源に接続しないでください。故障の原因になります。 （最大出力電流：40mA、最大印加電圧：35V）
11 12	**異常検知出力1「11」、異常検知出力2「12」** ● オープンコレクター出力です。 ● アクティブ時（異常検知したときの出力）オープン／ショートが選べます。 [104] ● 異常検知出力されている期間中にオープンまたはGNDとショートします。 **お知らせ** 本端子を直接電源に接続しないでください。故障の原因になります。 （最大出力電流：40mA、最大印加電圧：35V）
13	**HDDフル出力** ● オープンコレクター出力です。 ● リサイクル機能 [76] で「STOP」選択時に、ハードディスクの残量が設定値以下になるとGNDとショートします。 **お知らせ** 本端子を直接電源に接続しないでください。故障の原因になります。 （最大出力電流：40mA、最大印加電圧：35V）
14 15	**タイムアジャスト出力「14」、タイムアジャスト入力「15」（TIME ADJ）** 複数台のレコーダーを使用する場合に、特定の1台（マスター機）の時刻にその他のレコーダー（スレーブ機）の時刻を合わせる（調時する）機能です。 各レコーダー間を、下の図のように接続してください。 スレーブ機は、最大16台まで接続できます。  マスター機／スレーブ機は、メニューで設定できます。 [102] **お知らせ** 調時は、1日に1回マスター機からのタイムアジャスト信号出力によって行われます。その際、スレーブ機が記録中の場合や、スレーブ機の時計誤差が調時時刻に対して±90分以上ある場合には調時は行われません。また、調時する時刻がスレーブ機のハードディスク上の記録データにすでに存在する場合は、記録されている最新のデータの時刻に調時します。

No.	機　　能
16 17	**CLK出力「16」、CLK入力「17」** 複数台のレコーダーを使用する場合に、特定の1台（マスター機）の自動切り換え 29 のタイミングにその他のレコーダー（スレーブ機）の自動切り換えのタイミングを合わせる機能です。 各レコーダー間を下の図のように接続してください。 スレーブ機は、最大16台まで接続できます。  マスター機／スレーブ機はメニューで設定できます。 102 設定は、スレーブ／1秒／2秒／3秒／4秒／5秒／6秒／7秒／8秒／9秒／10秒から選べます。 このとき、スレーブ以外を選んだ場合はマスター機となり、選んだ秒間隔で画面を切り換えます。 **お知らせ** マスター機／スレーブ機ともに自動切換ボタンを押した状態でないと、本機能は働きません。
18	**モデル** ● 内蔵ハードディスクを使用せず外付けハードディスクのみで使用する場合に使用します。 ● GND（「19」または「20」）とショートすることでこのモードに入ります。 **お知らせ** この端子をご使用の際には、営業または販売店にご相談ください。
19 20	**GND** グランド端子です。

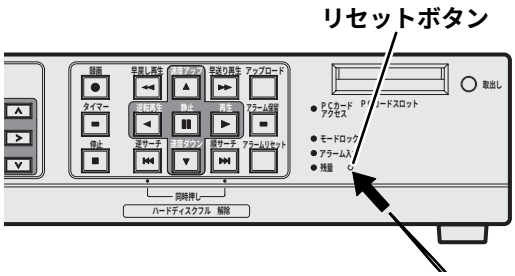
電源を入れる

- 電源は必ず12ページの接続が終わってから入れてください。
  付属の電源コードを使い、本機の電源入力端子と電源コンセントをつないでください。つないでから映像が映し出されるまで、約1分かかります。
  前面の電源ランプ（赤）が点灯すれば電源が入っている状態です。

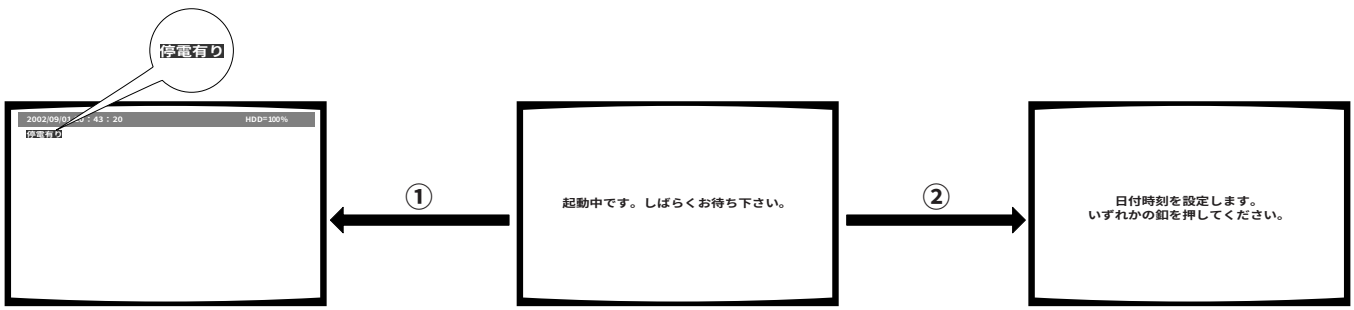


リセットのかけかた

- 初めて通電したときは、必ずリセットボタンを先の細い棒などで押してください。また、本機を使用中に動作に異常が生じた場合にもこのリセットボタンを押すか、または、電源コンセントを抜いて、再び差し込んでください。



- リセットボタンを押すと「起動中です。しばらくお待ち下さい。」が表示され、その後日付時刻が設定されているときは初期画面（矢印①）に、日付時刻が設定されていないとき（初めて通電したときなど）は「日付時刻を設定します…」（矢印②）が表示されます。

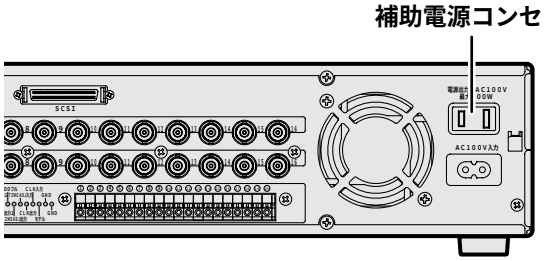


①初期画面が表示されたとき
画面上に「停電有り」と表示されます。
アラームリセットボタンを押して「停電有り」のメッセージを消してください。16

②「日付時刻を設定します…」が表示されたとき
任意のボタンを押して日時設定画面に移行し、101、102ページの手順③～⑤を操作して日付時刻を設定してください。

補助電源コンセントの使いかた

- 外部機器に電源を供給することができます。

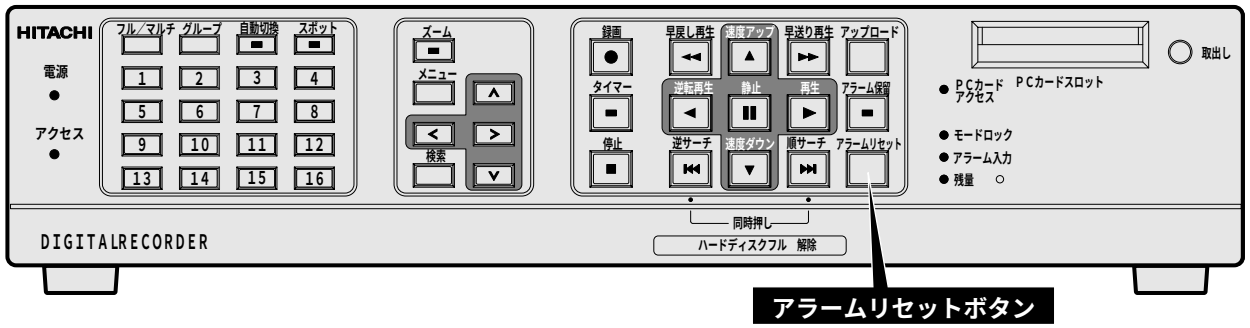


⚠警告

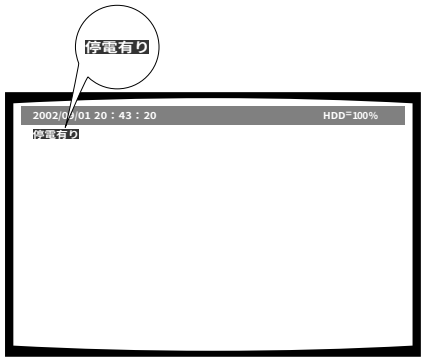
- 300Wを越える機器（熱器具など）は絶対に接続しないでください。火災の原因となります。
- タコ足配線はしないでください。火災の原因となります。

停電したとき

本機は電源プラグをコンセントに接続し、通電状態を約2日間（48時間）以上続けると、内蔵されたバックアップ用電池がフル充電されます。フル充電された状態のときに停電したり、電源プラグをコンセントから抜いても約1カ月間（720時間）までは、日付・時刻や設定した内容をバックアップしています。

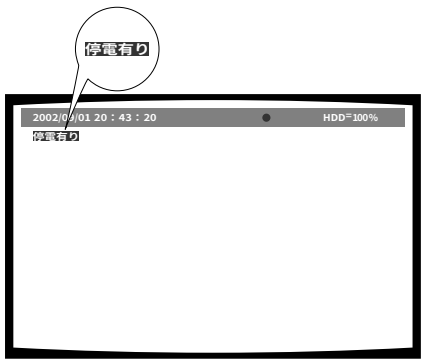


「停電有り」が表示しているときは



- 停電があったときに「停電有り」と表示します。
- アラームリセットボタンを押して、「停電有り」のメッセージを消してください。

録画中に停電したときは



- 停電復帰後、もとの録画状態に戻ります。
- 「停電有り」と表示して、停電があったことをお知らせします。

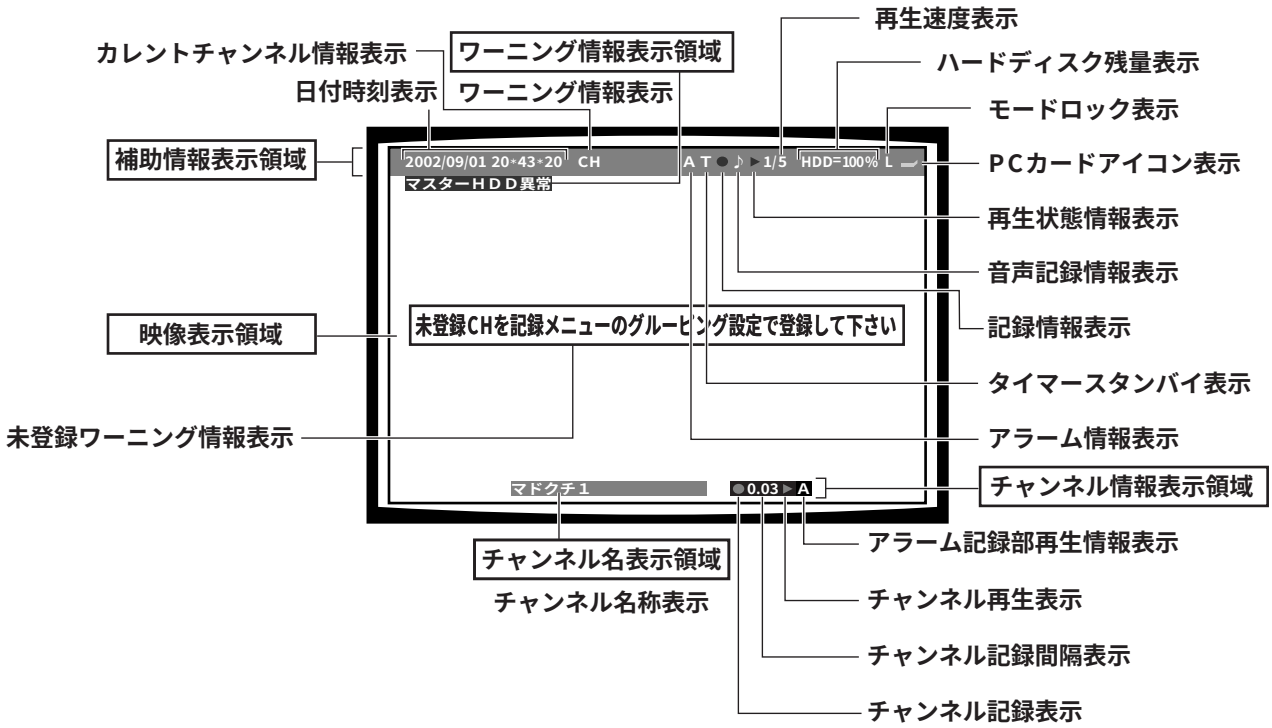
本機をいったん使用したあと、約1カ月以上通電しなかったときは

- アラームリセットボタンを押して「停電有り」のメッセージを消してください。
- もう一度、時刻設定などを設定し直してください。

メモ
- 正常に動作しないときは、リセットボタンを押してください。

表示情報

画面表示内容について



表示切り換えについて

移動ボタン（∧または∨）を押すことにより、画面に表示する情報の表示／非表示を切り換えられます。

補助情報表示領域＋チャンネル名表示領域＋チャンネル情報表示領域＋ワーニング情報表示領域
↓
補助情報表示領域＋チャンネル名表示領域＋ワーニング情報表示領域
↓
チャンネル名表示領域＋ワーニング情報表示領域

- ワーニング情報表示領域は、ワーニングがない場合は非表示になります。
- チャンネル名表示領域は、設定により表示／非表示を選択することができます。 99

映像表示領域について

フル画面表示、分割画面表示（4分割画面表示、9分割画面表示、10分割画面表示、16分割画面表示）のカメラ映像を当該領域内に表示します。

ライブ中／録画中 ：グレー枠
再生中 ：白枠

表示項目名	表　示　内　容
未登録ワーニング情報	グループ登録されていないCHに映像が入力されている間、表示します。 表示した場合、映像の入力をやめるか、グルーピングの設定でグループ登録してください。 また、フル画面表示以外では、グループ登録されていないCH映像の表示部分に下記メッセージも合わせて表示されます。 4分割画面表示 ：「未登録　記録できません」（白色）表示 10分割／9分割／16分割画面表示：「未登録」（白色）表示

補助情報表示領域について

下記の表示項目について表示します。

表示項目名	表　示　内　容
日付時刻表示	ライブ中　：現在時刻を（白色）表示 再生中　：カレントチャンネル情報表示に表示されたチャンネルの再生時刻を（緑色）表示（時刻補正前の時刻の場合は黄色表示） トリプレックス：カレントチャンネル情報表示に表示されたチャンネルの再生時刻を（緑色）表示（時刻補正前の時刻の場合は黄色表示）
アラーム情報表示	アラーム記録中：「A」（赤色）表示 通常　：非表示
タイマースタンバイ表示	タイマー記録中　：「T」（赤色）表示 タイマースタンバイ中：「T」（白色）表示 通常　：非表示
記録情報表示	記録中：「●」（赤色）表示 通常　：非表示
音声記録情報表示	音声記録中：「♪」（白色）表示 通常　：非表示
再生状態情報表示	再生：「▶」　逆転再生：「◀」　コマ送り：「⏭」　逆コマ送り：「⏮」 静止：「⏸」　早送り再生：「▶▶」　早戻し再生：「◀◀」 全て緑色で表示します。
再生速度表示	再生／逆再生中：「＊」（緑色）表示 ＊は再生速度を表示します。また、等倍速は非表示となります。 （例）1／5倍速の場合：1／5　10等倍速の場合：10 通常　：非表示 ※早送り、早戻し再生中は非表示となります。
ハードディスク残量表示	リサイクルモードSTOP　：「HDD＝0%」～「HDD＝100%」（白色）表示 数字はハードディスクの残量を表します。 リサイクルモードRE-REC：HDD（白色）表示
モードロック表示	モードロック中：「L」（白色）表示 通常　：非表示
PCカードアイコン表示	PCカード挿入中　：「▭」（白色）表示 通常　：非表示
カレントチャンネル情報表示	ライブ中　：非表示 再生中　：フル画面表示のときに再生しているチャンネル（緑色）表示 （時刻補正前の時刻の場合は黄色表示） トリプレックス：再生しているチャンネル（緑色）表示 （時刻補正前の時刻の場合は黄色表示）

チャンネル名表示領域について

下記の表示項目について表示します。

表示項目名	表　示　内　容
チャンネル名称表示	チャンネル名の設定でチャンネル名表示が「オン」：チャンネル名（白色）表示 チャンネル名の設定で入力されたチャンネル名を表示します。 チャンネル名が入力されていない場合、映像入力端子の番号を表示します。

チャンネル情報表示領域について

下記の表示項目について表示します。

表示項目名	表　示　内　容
チャンネル記録表示	当該チャンネル記録中：「●」（赤色）表示 通常　：非表示
チャンネル記録間隔表示	当該チャンネル記録中：「＊＊」（白色）表示（分割画面表示時は表示されません） ＊＊は記録間隔を数字で表示します。 （例）記録間隔が2秒の場合：2 通常　：非表示
チャンネル再生表示	当該チャンネル再生中：補助情報表示領域の再生状態情報表示と同じ内容を表示 通常　：非表示
アラーム記録部再生情報表示	アラーム記録部再生中：「A」（緑色）表示※ 通常　：非表示

※アラーム検索から再生した場合に表示され、プリアラームの開始位置からポストアラーム終了位置まで表示されます。
再生の途中で、一時停止や停止などの操作を行うと消えます。
フル画面でのみ表示し、画面分割を変更した場合や他のチャンネルのフル画面表示にした場合は消えます。
（アラーム検索から再生した場合、最初はフル画面表示されます。）

ワーニング表示について

下記の表示項目について表示します。

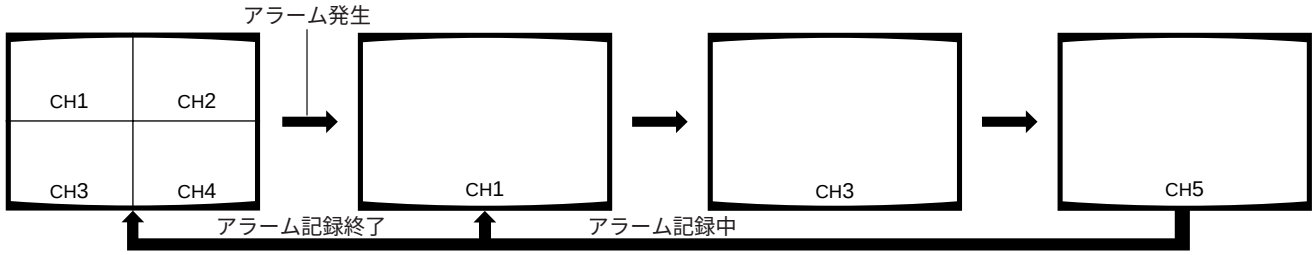
表示項目名	表　示　内　容
ワーニング情報表示	ハードディスクが異常のとき： 「マスターHDD異常」、「スレーブHDD異常」、「外付けHDD1異常」～「外付けHDD6異常」（白色）表示 サービスへご連絡ください。
	ハードディスク寿命のとき： 「マスターHDD寿命」、「スレーブHDD寿命」、「外付けHDD1寿命」～「外付けHDD6寿命」（白色）表示 サービスへご連絡ください。
	ハードディスクを追加して起動したとき： 「マスターHDD未登録」、「スレーブHDD未登録」、「外付けHDD1未登録」～「外付けHDD6未登録」（白色）表示 フォーマットメニューでHDD登録を行ってください。
	ハードディスクに一杯まで記録したとき： 「HDDフル」（白色）表示 次の方法で回復してください。 ・ハードディスクのフル解除操作 22 ・ハードディスクの増設 ・共通設定のリサイクルモードを「RE-REC」にしてください。その場合、古いデータから上書きされていきます。 76
	グループの登録されているチャンネルの映像が無いとき： 「CH1　ロスト」～「CH16　ロスト」（白色）表示 映像入力を回復するかグルーピング設定でグループ登録からはずしてください。 12 、 78
	グループ登録されていないチャンネルの映像が入力されたとき： 「CH1　未登録」～「CH16　未登録」（白色）表示 映像の入力をやめるか、グルーピング設定でグループ登録してください。 12 、 78
	ファンが故障したとき： 「FAN異常」（白色）表示 サービスへご連絡ください。
	未対応のPCカードが挿入されているとき： 「未対応のPCカード」（白色）表示 当社指定のPCカードをご使用ください。
	未フォーマットのPCカードが挿入されているとき： 「未フォーマットのPCカード」（白色）表示 PCカードの初期化をしてください。 123
	フラッシュメモリから読み込んだ設定情報が異常のとき： 「メモリ異常」（白色）表示 アラームリセットボタンを押してください。 メニュー設定を確認してください。
	停電から復帰したとき： 「停電有り」（白色）表示 アラームリセットボタンを押してください。

アラーム入力時の画面

アラーム入力時のライブ表示

センサ連動記録設定されているアラームが発生した場合、フル画面表示／マルチ画面表示にかかわらず記録設定されたチャンネルをフル画面表示します。

例）記録するCHをCH1、CH3、CH5に設定した場合



アラーム発生後、アラーム入力されている画面が1秒ごとに切り換わっていきます。
アラーム終了後は、アラーム入力前の画面に戻ります。
アラーム発生中は、チャンネル選択ボタン、フル／マルチボタンの切り換えができません。

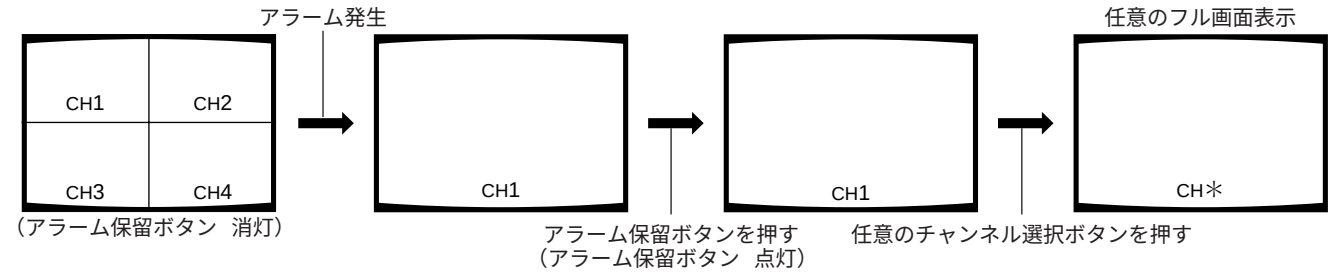
お知らせ

- アラーム保留ボタンが点灯している場合は、アラームが発生してもフル画面表示に切り換わりません。
- スイッチャーの設定で「スキップ」に設定されているチャンネルは画面切り換え表示しません。
- 非常連動記録設定されているアラーム発生では、フル画面表示に切り換わりません。

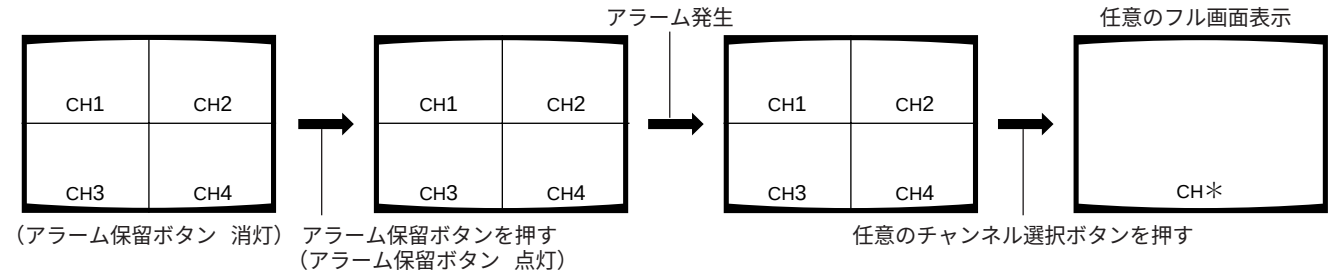
アラームの保留

アラーム保留ボタンを押すことでアラーム入力時の動作を次のように保留することができます。
アラーム保留中はチャンネル選択ボタン、フル／マルチボタンの切り換えが可能です。

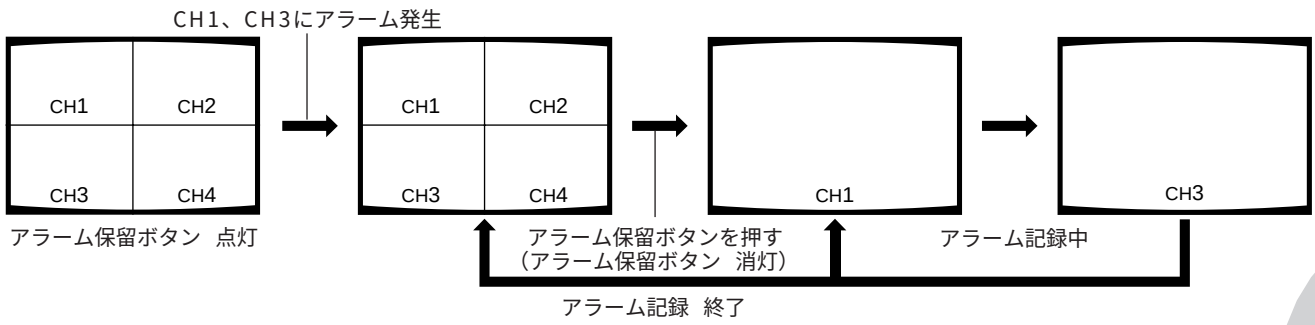
- アラーム発生時の画面切り換えを止める。



- アラーム発生前に画面切り換えを止める。



- アラームの保留中に、アラーム入力時の画面切り換えを再開する。



異常検出と復旧方法

本機に異常があった場合、次のようにお知らせします。

異常種類	異常内容	復旧操作	ランプ	OSD表示	ブザー	コントロール出力端子
HDD ニアフル	ハードディスク残量が設定値以下になったことを示す警告です。	ハードディスクフルの解除※1操作をしてください。	残量ランプ点滅	—	鳴動A※2（設定時のみ）	HDD フル出力
HDDフル	ハードディスク残量が無くなったことを示す異常です。	ハードディスクフルの解除※1操作をしてください。	残量ランプ点灯	あり	鳴動B※2（設定時のみ）	HDD フル出力
HDD未登録	登録されていないハードディスクを追加されたことを示す異常です。	ハードディスクを登録してください。 121	—	あり	—	—
HDD異常	ハードディスクへの書き込み／読み出しエラーの頻発、そのほかのハードディスクに関する異常です。	サービスへご連絡ください。	接続されているすべてのハードディスクが異常となった場合：逆転再生ボタン／静止ボタン／再生ボタンの3つのLEDが順番に点滅	あり	鳴動B※2（設定時のみ）	残りのハードディスクで記録続行が可能な場合：異常検知出力1 すべてのハードディスクが異常の場合：異常検知出力2
メモリ異常	マイコンのフラッシュメモリーに正常に読み出し／書き込みが行われないことを示す異常です。	アラームリセットボタンを押してください。メニュー設定を確認してください。	—	あり	鳴動B※2（設定時のみ）	異常検知出力2
CH＊ロスト（＊はチャンネル番号を示します）	グループに登録したチャンネルの映像が無い状態を示す異常です。	映像入力端子の接続を確認してください。該当チャンネルが不要な場合は、グルーピング設定で「入力無し」に設定してください。	—	あり	鳴動B※2（設定時のみ）	異常検知出力1
FAN異常	FANの回転値が正常の範囲外になったことを示す異常です。	サービスへご連絡ください。	—	あり	鳴動B※2（設定時のみ）	異常検知出力2
アラーム入力（非常連動センサ）	アラーム入力がアクティブになったことを示します。	—	アラーム記録中ならアラームランプ点灯、アラーム記録後、アラームランプ点滅	あり	鳴動B※2（設定時のみ）	アラーム出力
停電有り	停電したことを示す異常です。初期立上げを除く電源投入時に表示します。	アラームリセットボタンを押してください。	—	あり	—	—
CH＊未登録（＊はチャンネル番号を表します。）	登録していないチャンネルに映像が入力された事を示す異常です。	グルーピングの設定でグループ登録してください。もしくは、該当チャンネルの映像入力端子を外してください。	—	あり	鳴動B※2（設定時のみ）	異常検知出力2
HDD寿命	ハードディスクが寿命になったことを示す異常です。	サービスへご連絡ください。	—	あり	鳴動B※2（設定時のみ）	異常検知出力2

※1　ハードディスクフル解除操作
順サーチボタンと逆サーチボタンを同時に4秒以上押してください。

※2　鳴動A：0.2秒間隔でブザーが鳴ります。
鳴動B：常にブザーが鳴ります。

モニター画面の見かた

モニター出力1にモニターが接続されていることを確認してください。
設置後、初めて電源を入れたときは、モニター画面に「日付時刻を設定して下さい」と表示されます。任意のボタンを押すと日時設定画面が表示されます。必ず日付・時刻を設定してください。設定しない場合、記録することができません。
電源を入れたときは、接続されたチャンネル台数によって表示画面が変わります。

モニター出力1：ライブ／再生時のフル画面表示／分割画面表示を表示します。
モニター出力2：モニター出力1と同じ出力表示かスポット出力の表示を選択できます。97
※スポット出力
- ライブのフル画面表示の自動切り換えのみ表示可能です。
- チャンネル番号のみ表示します。（スポット出力の設定スポット出力OSDが「ON」のとき）
- メニュー画面は、表示されません。

お知らせ

モニター出力1／モニター出力2（通常出力設定時）は、1分間、同じ画面表示をしたあとは、停電があっても停電前の画面に戻ります。
未登録チャンネルがある場合は、入力数にかかわらず16分割画面表示になります。

画面表示について

表示画面の種類や画質によって表示のフレームレート（1秒間に出せる映像の枚数で数字が大きいほど滑らかな動きとなります）が変わります。

ライブ表示

	フル画面表示	4分割画面表示	9分割画面表示	10分割画面表示	16分割画面表示
フレームレート（枚/秒）	30	15	5	上部(拡大画面)：15 下部(小画面)：3.75	3.75

グルーピング設定 78 で「入力無し」と登録したチャンネルや、チャンネルスキップ設定 95 で、「スキップ」に設定されているチャンネルは、分割画面表示時は、黒画面で表示されます。

4分割画面表示で表示したときは

4分割画面表示のときは、「4A」、「4B」、「4C」、「4D」のグループで表示されます。

4A

チャンネル番号1の映像 1	チャンネル番号2の映像 2
チャンネル番号3の映像 3	チャンネル番号4の映像 4

4B

チャンネル番号5の映像 5	チャンネル番号6の映像 6
チャンネル番号7の映像 7	チャンネル番号8の映像 8

4C

チャンネル番号9の映像 9	チャンネル番号10の映像 10
チャンネル番号11の映像 11	チャンネル番号12の映像 12

4D

チャンネル番号13の映像 13	チャンネル番号14の映像 14
チャンネル番号15の映像 15	チャンネル番号16の映像 16

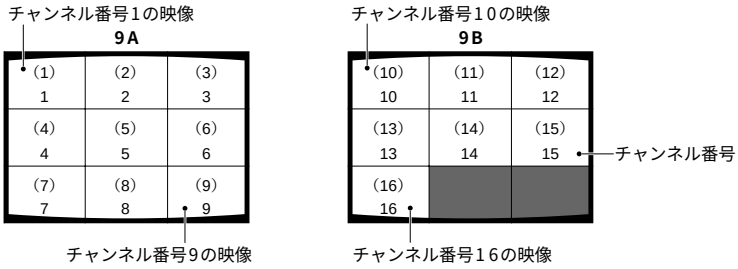
- チャンネル番号の1～4の映像を「4A」グループと呼びます。
  チャンネル番号の5～8の映像を「4B」グループと呼びます。
  チャンネル番号の9～12の映像を「4C」グループと呼びます。
  チャンネル番号の13～16の映像を「4D」グループと呼びます。
- 画面にチャンネルの名称を入れることができます。 99

お知らせ

- グループ内のすべてのチャンネルが、下記のどちらかに該当しているグループは表示されません。
  ①グルーピング設定 78 で「入力無し」で登録されている。
  ②チャンネルスキップ設定 95 で「スキップ」に設定されている。
  （例）チャンネル番号1～4が登録されていて、他のチャンネルが未登録の場合、「4B」～「4D」の4分割画面表示は表示されません。
  チャンネル番号1、2、15、16が登録されていて、他のチャンネルが未登録の場合、「4B」～「4C」の画面は表示されません。

9分割画面表示で表示したときは

9分割画面表示のときは、「9A」、「9B」のグループで表示されます。

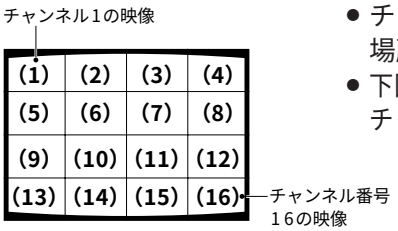


- チャンネル番号の1～9の映像を「9A」グループと呼びます。
  チャンネル番号の10～16の映像を「9B」グループと呼びます。
- 画面にチャンネル番号のみ表示させることができます。 17
  チャンネルの名称は表示されません。

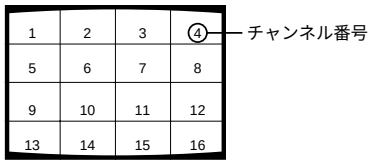
お知らせ

- グループ内のチャンネルすべてが、下記のどちらかに該当しているグループは表示されません。
  ①グルーピング設定 78 で「入力無し」で登録されている。
  ②チャンネルスキップ設定 95 で「スキップ」に設定されている。
  （例）チャンネル番号1～6が登録されていて、他のチャンネルが未登録の場合、「9B」の画面は表示されません。

16分割画面表示で表示したときは



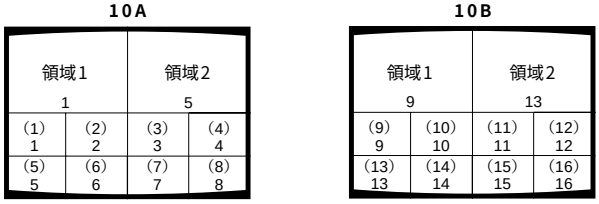
- チャンネル番号1の映像は（1）の場所に、チャンネル番号2の映像は（2）の場所に、というように16の映像が16の画面で表示されます。
- 下図のように、画面にチャンネル番号のみ表示させることことができます。 17
  チャンネルの名称は表示されません。



チャンネル番号を入れた場合

10分割画面表示で表示したときは

10分割画面表示のときは、「10A」、「10B」のグループで表示されます。

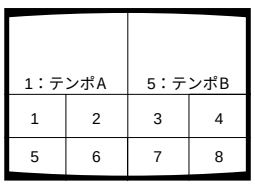


- チャンネル番号の1～8の映像を「10A」グループと呼びます。
  チャンネル番号の9～16の映像を「10B」グループと呼びます。
- 領域1、2は、お買い上げ時には次の通りに設定されています。

「10A」：領域1・・・・チャンネル番号1の映像　「10B」：領域1・・・・・チャンネル番号9の映像
　　領域2・・・・チャンネル番号5の映像　　領域2・・・・・チャンネル番号13の映像

お知らせ

- グループ内のチャンネルすべてが、下記のどちらかに該当しているグループは表示されません。
  ①グルーピング設定 78 で「入力無し」で登録されている。
  ②チャンネルスキップ設定 95 で「スキップ」に設定されている。
  （例）チャンネル番号1～6が登録されていて、他のチャンネルが未登録の場合、「10B」の画面は表示されません。
- 下図のように、画面にチャンネルの名称を入れることができます。 19
- 小画面には、チャンネル番号のみが表示されます。



メモ

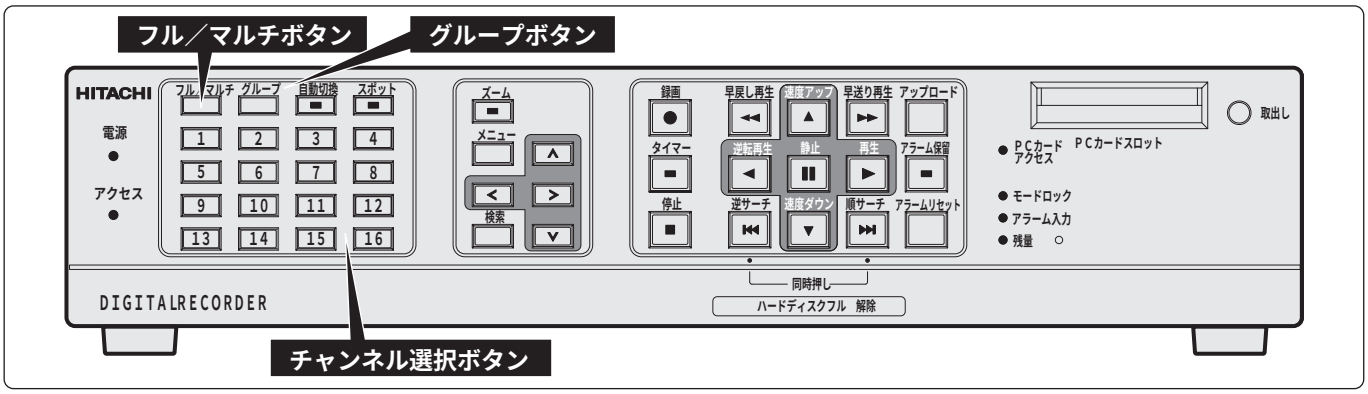
- 上部の拡大画面に表示される映像は、任意に選択することができます。 27

未登録チャンネル

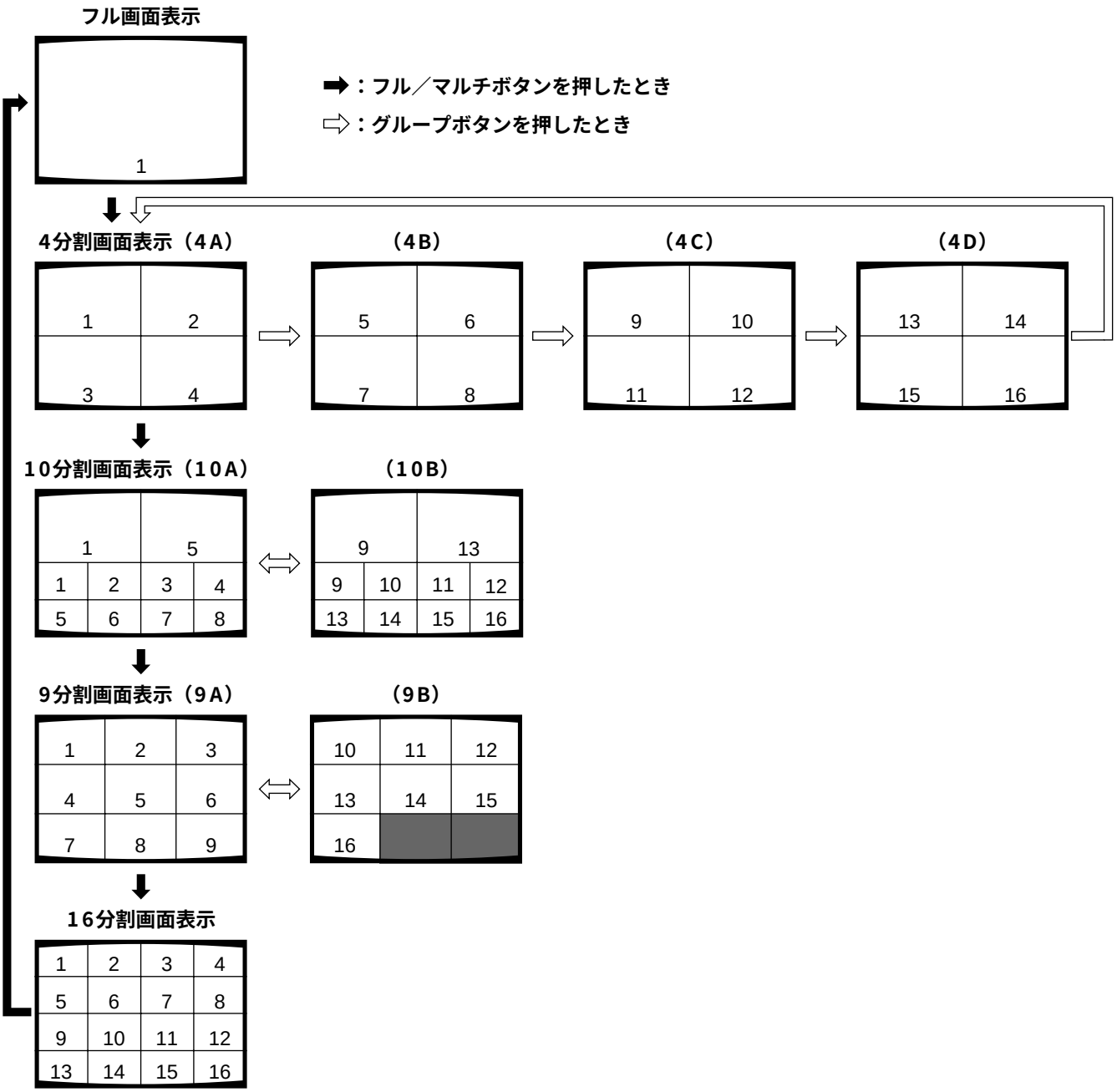
グループ登録されていないチャンネルに映像信号を入力すると、自動的に16分割画面表示に切り換わり、未登録ワーニング情報 17 が表示されます。未登録チャンネルは記録されませんので、グルーピング設定 78 でグループ登録をしてください。

画面の切り換え

•フル画面表示では、各映像を1つずつ選択してモニター画面に表示します。
•分割画面表示では、入力されている複数の映像を一度にモニター画面に表示します。



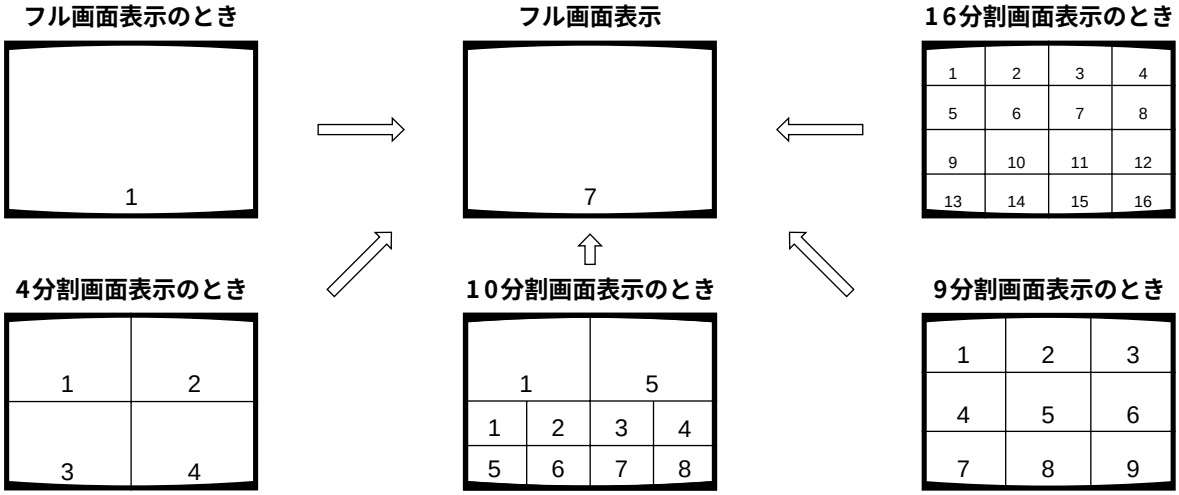
● フル／マルチボタン、グループ選択ボタンを押すたびに、次のように画面表示が切り換わります。



画面の切り換え（つづき）

- チャンネル選択ボタンを押すと、次のように押したチャンネルのフル画面表示に切り換わります。

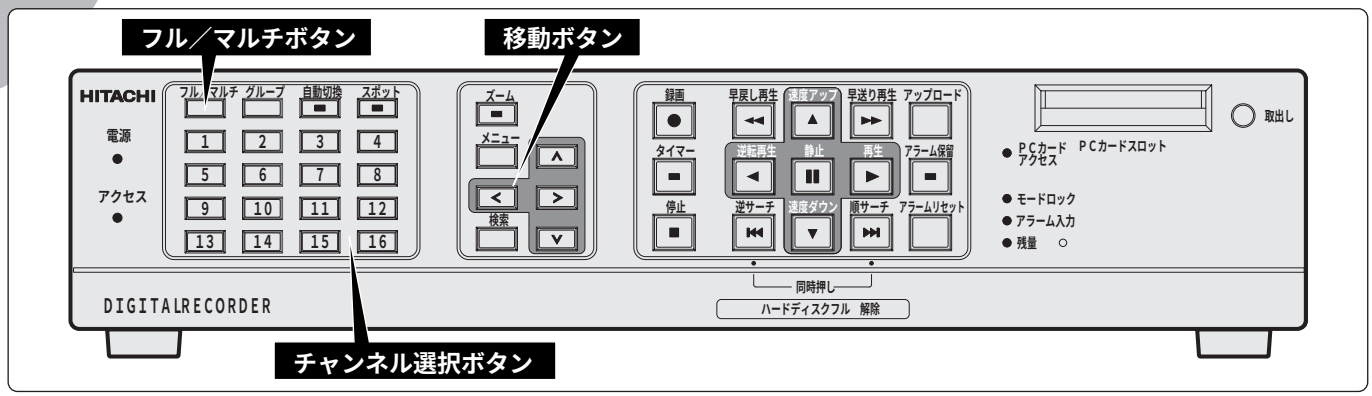
フル画面表示／マルチ画面表示でチャンネル選択ボタン7を押した場合



お知らせ

- グルーピング設定 78 で「入力無し」と登録したチャンネルや、チャンネルスキップ設定 95 で「スキップ」に設定したチャンネルのチャンネル選択ボタンを押しても画面を切り換えることはできません。（これらのチャンネルは黒画面で表示されています）

10分割画面表示の映像選択



10分割画面表示にすると、以下の手順により上の拡大画面（領域1、領域2）に表示するカメラ映像を任意に選択することができます。

1 10分割画面表示になるまでフル／マルチボタンを繰り返し押す

- フル／マルチボタンを繰り返し押して、10分割画面表示にします。

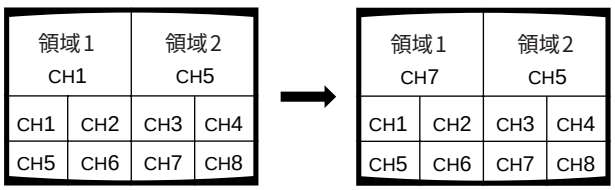
2 移動ボタン（<または>）を押しながらチャンネル選択（1~16）ボタンを押す

お知らせ
- グルーピング設定 78 で「入力無し」と登録したチャンネルや、チャンネルスキップ設定 95 で「スキップ」に設定したチャンネルを選ぶことはできません。

領域1の映像選択

移動ボタン（<）を押しながら任意のチャンネル選択ボタンを押します。

例）チャンネル選択ボタン7を押した場合



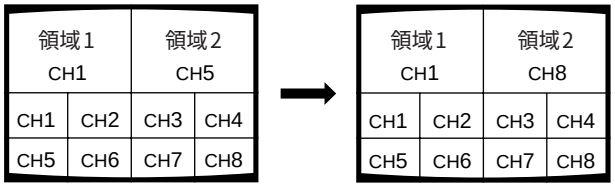
- 領域1にチャンネル7の映像が表示されます。

お知らせ
- 下部（小画面）に表示されているチャンネルが選択できます。

領域2の映像選択

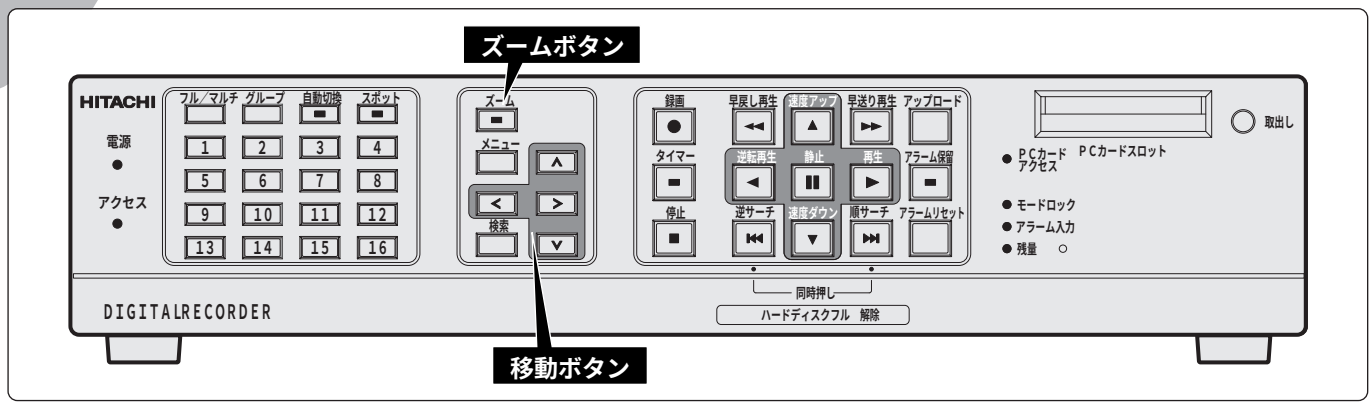
移動ボタン（>）を押しながら任意のチャンネル選択ボタンを押します。

例）チャンネル選択ボタンを8を押した場合



お知らせ
- 下部（小画面）に表示されているチャンネルが選択できます。

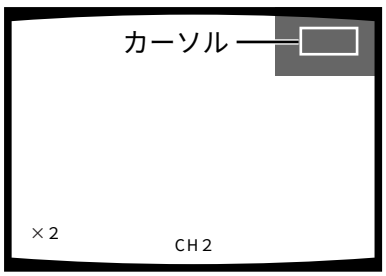
ズーム表示



ズーム表示をする

1 フル画面表示にしてからズームボタンを押す

2 移動ボタンを押して、ズーム表示のカーソルを（拡大したい場所）に合わせる

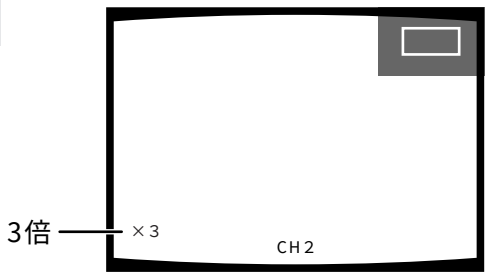


3 ズームボタンを押す

- 繰り返し押すことで最大5倍までズーム表示することができます。

→ x2→x3→x4→x5→(x1) ┐

メモ
- x1は表示されません。

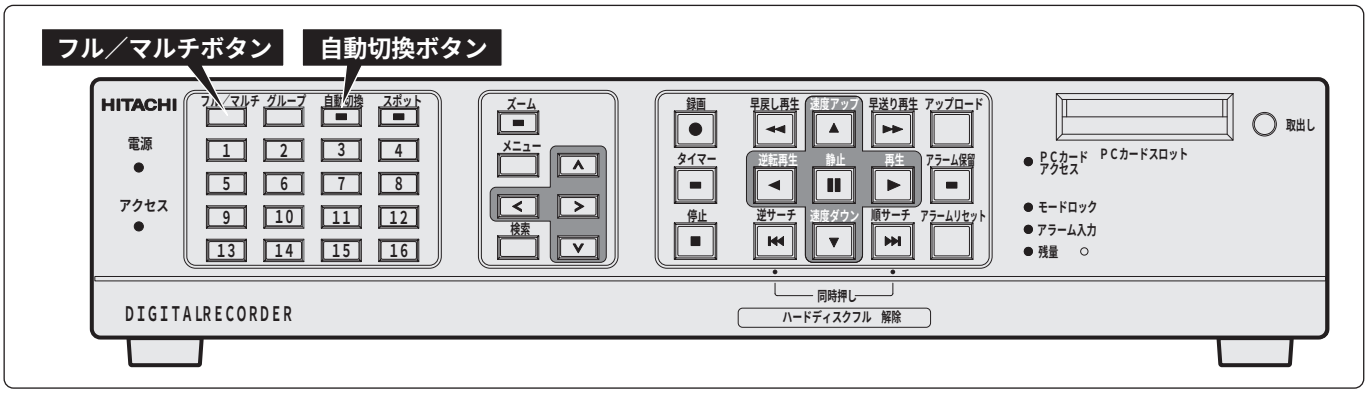


お知らせ
- ズーム操作はフル画面表示のみできます。
- 各チャンネルごとに、前回のズーム位置を記憶しています。画面の端については、多少ずれる場合があります。（停電があると記憶位置は消去され、画面中央に戻ります。）
- ズーム表示中は、PCカードにデータをアップロードすることはできません。50
- ズーム表示中は、ワーニング表示のみ表示します。
- 再生中でもズーム表示することができます。
- 記録している画面のズーム中に再生ボタンを押すと、再生に切り換わりますが、ズームは解除されます。
- 下記の操作を行うと、ズームは解除されます。
  - ・フル／マルチボタン、自動切換ボタンを押す。
  - ・メニューを表示する。
  - ・録画、順／逆サーチをする。

映像を自動的に切り換える（シーケンシャルスイッチャー機能）

フル画面表示、4分割画面表示、10分割画面表示を表示中に、映像を自動的に切り換えながら見ることができます。

メモ
- 映像の切り換わる時間を調整することができます。95

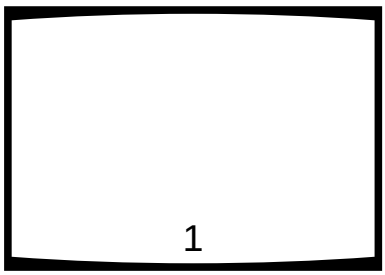


フル画面表示で自動切り換え機能を働かせる

1 フル画面表示にする

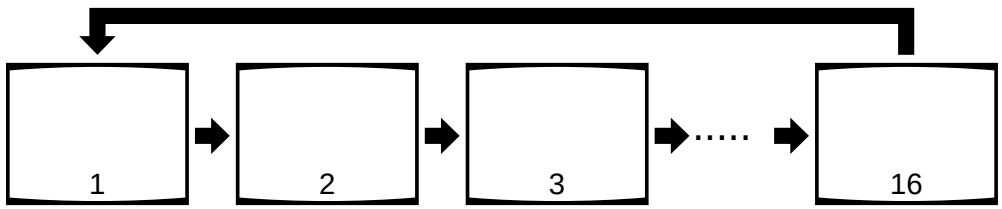
- フル／マルチボタンを繰り返し押して、フル画面表示にします。

フル画面表示



2 自動切換ボタンを押す

- 入力映像がフル画面表示の状態で順次自動的に切り換わっていきます。



- 自動切り換え機能が働いている間は、自動切換ボタンのランプが点灯しカメラ選択ボタンの数字が切り換わりのタイミングに合わせて点灯します。

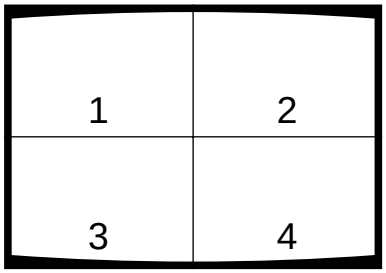
お知らせ
- 入力数が1つの場合は、自動切り換え機能が働きません。
- グルーピング設定 78 で「入力無し」と登録したチャンネルや、チャンネルスキップ設定 95 で、「スキップ」に設定されているチャンネルは表示されません。
- スイッチャー設定画面の自動切換表示時間 95 で「スレーブ」に設定されている場合は、マスター機からのCLK入力 14 がないと切り換えできません。

4分割画面表示で自動切り換え機能を働かせる

1 4分割画面表示にする

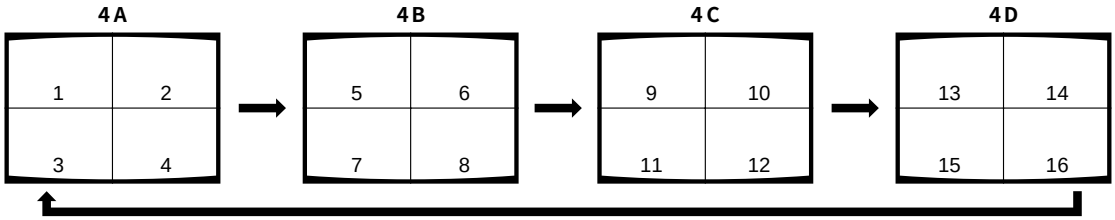
- フル／マルチボタンを繰り返し押して、4分割画面表示にします。

4分割画面表示



2 自動切換ボタンを押す

- 4分割画面表示の「4A」～「4D」が順番に切り換わっていきます。



- 映像が自動的に切り換わっている間は、自動切換ボタンのランプが点灯しカメラ選択ボタンの数字が切り換わりのタイミングに合わせて点灯します。

お知らせ

- グルーピング設定 78 で「入力無し」で登録したチャンネルや、チャンネルスキップ設定 95 で、「スキップ」に設定されているチャンネルなどにより、4分割画面の中に存在するチャンネルがないときは表示されません。
- スイッチャー設定画面の自動切換表示時間 95 で「スレーブ」に設定されている場合は、マスター機からのCLK入力 14 がないと切り換えできません。

10分割画面表示で自動切り換え機能を働かせる

1 10分割画面表示にする

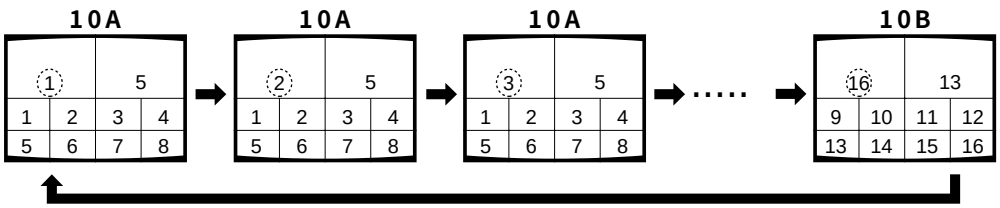
- フル／マルチボタンを繰り返し押して、10分割画面表示にします。

10分割画面表示

領域1 CH1		領域2 CH5	
CH1	CH2	CH3	CH4
CH5	CH6	CH7	CH8

2 自動切換ボタンを押す

- 領域1に表示される映像が順番に切り換わります。
- 領域1に「10A」すべての画面が表示されると、「10B」に切り換わります。



- 映像が自動的に切り換わっている間は、自動切換ボタンのランプが点灯しカメラ選択ボタンの数字が切り換わりのタイミングに合わせて点灯します。

お知らせ

- グルーピング設定 78 で、「入力無し」で登録したチャンネルや、チャンネルスキップ設定 95 で、「スキップ」に設定されているチャンネルなどにより、10分割画面の中に存在するチャンネルがないときは表示されません。
- グルーピング設定で「入力無し」で登録したチャンネル、「スイッチャー設定画面」のチャンネルスキップ 95 でスキップ設定されているチャンネルは、領域1には表示されません。
- スイッチャー設定画面の自動切換表示時間 95 で「スレーブ」に設定されている場合は、マスター機からのCLK入力 14 がないと切り換えできません。

自動切り換え機能を解除するとき

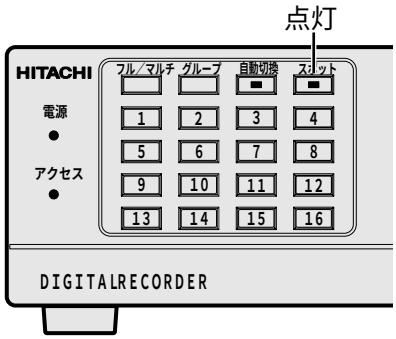
もう一度、自動切換ボタンを押すと解除できます。自動切換ボタンが消灯します。

メモ
- 映像の切り換わる時間を調節することができます。 95

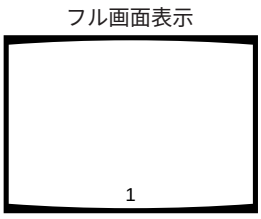
お知らせ
- 自動切り換え機能はフル画面表示、4分割画面表示、10分割画面表示のみ働きます。
- 映像が切り換わる瞬間、画面が乱れることがありますが、故障ではありません。
- 次の場合、自動切り換え機能は、自動で解除されます。
  - ・自動切り換え機能中、フル／マルチボタンを押して新しい分割画面に切り換えたとき
  - ・自動切り換え機能中、チャンネル選択ボタンを押してフル画面表示にしたとき
  - ・自動切り換え機能中、ズームボタンを押したとき
- 次の場合、自動切り換え機能は働きません。また、自動切り換え機能中に、次の動作を行った場合は、自動切り換え機能は解除されます。
  - ・一般メニュー画面表示中
  - ・検索メニュー画面表示中
  - ・トリプレックス 40
  - ・アラーム録画中で、アラーム保留ボタンがアクティブでないとき
  - ・再生中・静止中・逆転再生中・早送り再生中・早戻し再生中
- センサ連動記録設定されたアラーム入力が開始されると、自動切り換え機能が解除されます。

スポット出力（モニター出力2）

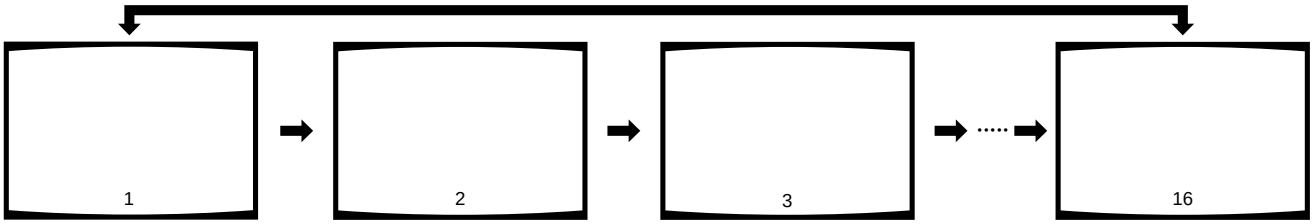
スポット出力機能は、モニター出力1とは別のライブ出力のフル画面出力を行う機能です。
モニター出力2（スポット出力設定時＝初期値）
- フル画面表示のみ
- スポットボタンを押して、スポットボタンのランプが点灯しているとき、チャンネル選択ボタンと自動切り換えボタンがスポット出力制御用として操作可能なキーとなります。もう一度スポットボタンを押すとスポットランプが消灯し通常出力のモニター出力制御用に戻ります。
- チャンネル番号の表示 97 、自動切り換え時間の設定 97 、チャンネルスキップの設定 97



フル画面表示：スポットボタンを押して、スポットランプが点灯しているときにチャンネル選択ボタンを押すと選択したチャンネルのフル画面表示に切り換わります。
自動切り換え中の場合は、自動切り換え機能は解除されます。



自動切り換え：スポットランプが点灯しているときに自動切換ボタンを押します。
- カメラからの映像がフル画面表示の状態で順次自動的に切り換わっていきます。

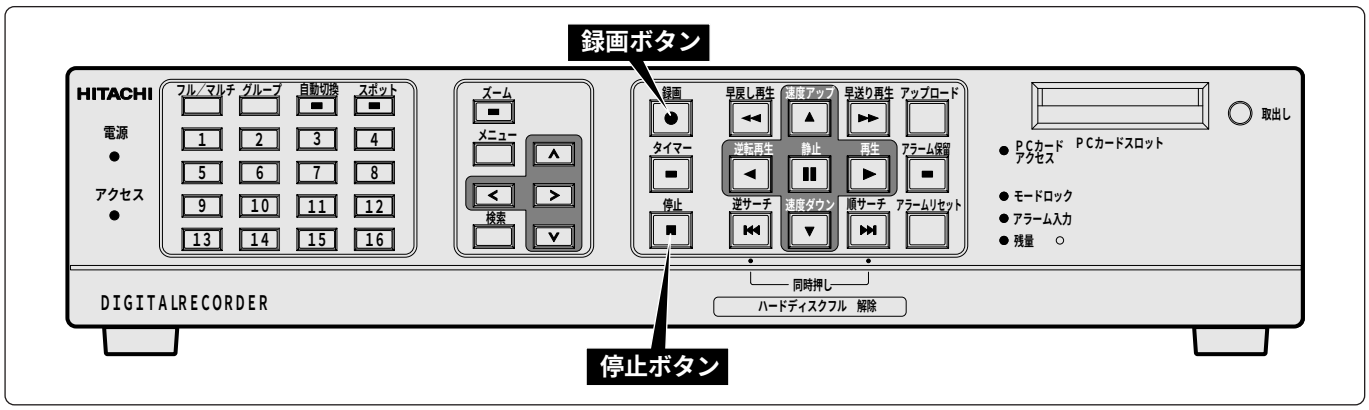


- 映像が自動的に切り換わっている間は、自動切換ボタンのランプが点灯します。

録る（記録）

入力されている映像および音声を、本機のハードディスクに記録します。

お知らせ
- **記録をする前に、必ず日付・時刻を設定してください。** 101
  また、一般記録 80**、タイマー記録** 82 **の設定をしてください。**



お知らせ
- 入力が無いチャンネルまたは、入力が遮断された場合（「CH＊ロスト」と表示）は記録されません。
- 未登録チャンネルも記録されません。

記録の優先順位

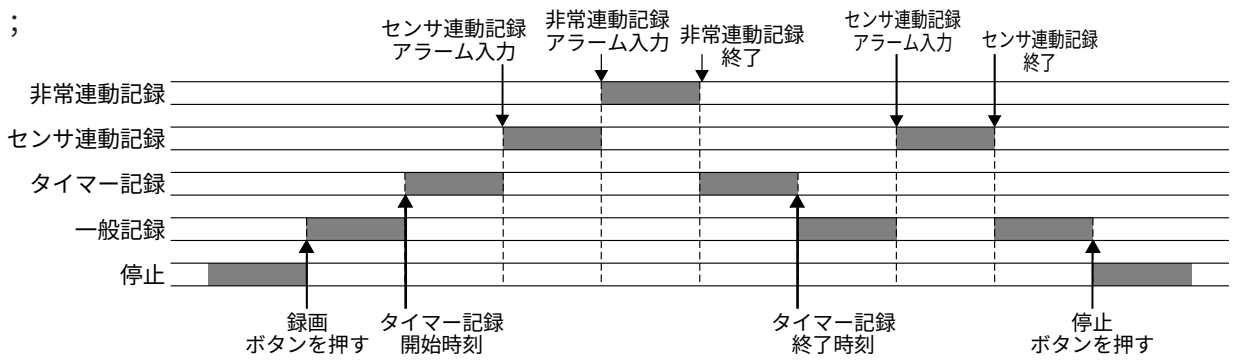
記録の種類には、4種類あり優先順位が決まっています。

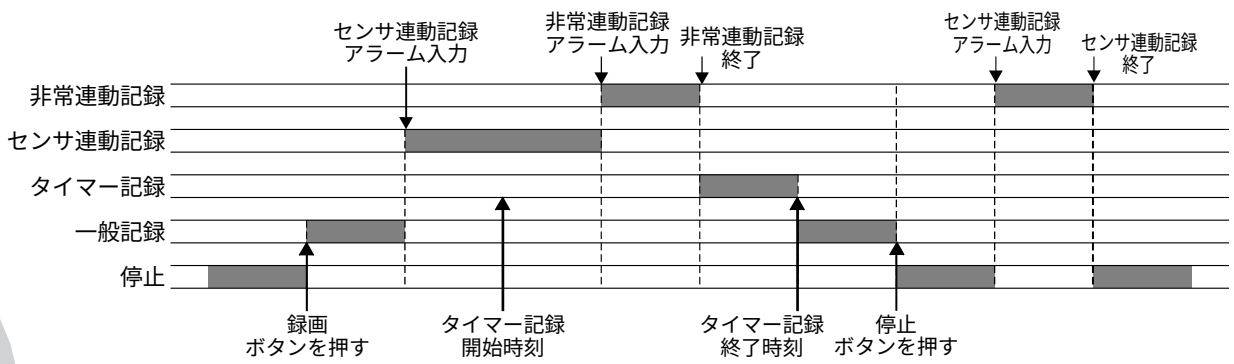
優先順位	高 ← → 低			
記録種類	非常連動記録	センサ連動記録	タイマー記録	一般記録

アラーム記録

非常連動記録がもっとも優先順位が高く、次にセンサ連動記録、タイマー記録、最後に一般記録です。優先順位が高い記録が入ると、低い順位の記録は停止します。ただし、タイマー記録、一般記録は上位記録時間の範囲外か、記録停止がされなければ上位記録が終了した時点で記録を再開します。センサ連動記録は、非常連動記録が開始されるとその時点で停止されるため、非常連動記録が終了しても記録は再開しません。下図は、記録の優先順位に関しての状態遷移を示した一例です。一般記録中に上位記録が入ると一般記録は停止し、上位記録が終了した時点で、一般記録は再開します。またタイマー記録中に上位記録が入るとタイマー記録は停止し、上位記録が終了した時点でタイマー記録は再開します。センサ連動記録中に上位記録（非常連動記録）が入るとセンサ連動記録は停止し、上位記録（非常連動記録）が終了してもセンサ連動記録は再開しません。上位記録中にタイマー記録開始時刻になっても、タイマー記録は開始されず、上位記録が終了した時点で記録を開始します。

例；

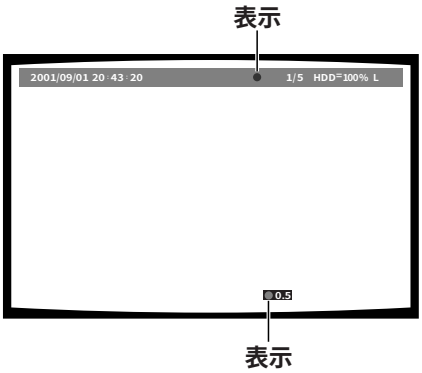




一般記録を始める

1 録画ボタンを押す

- モニター画面の補助情報表示領域に「●」(赤色)が表示され、記録が始まります。
- 記録中は、録画ボタンのランプが点灯(赤)し、アクセスランプが点滅します。
- ハードディスクのアクセス中は、アクセスランプが点灯(緑)します。
- モニター画面のチャンネル情報表示領域が表示されている場合、チャンネル情報表示領域にも「●」(赤色)が表示されます。
- 音声記録が設定されている場合は、モニター画面の補助情報表示領域の「●」(赤色)表示の右側に「♪」(白色)が表示されます。
- 記録の設定は、一般記録の設定を参照してください。80、81



2 停止ボタンを3秒以上押して、記録を終了する

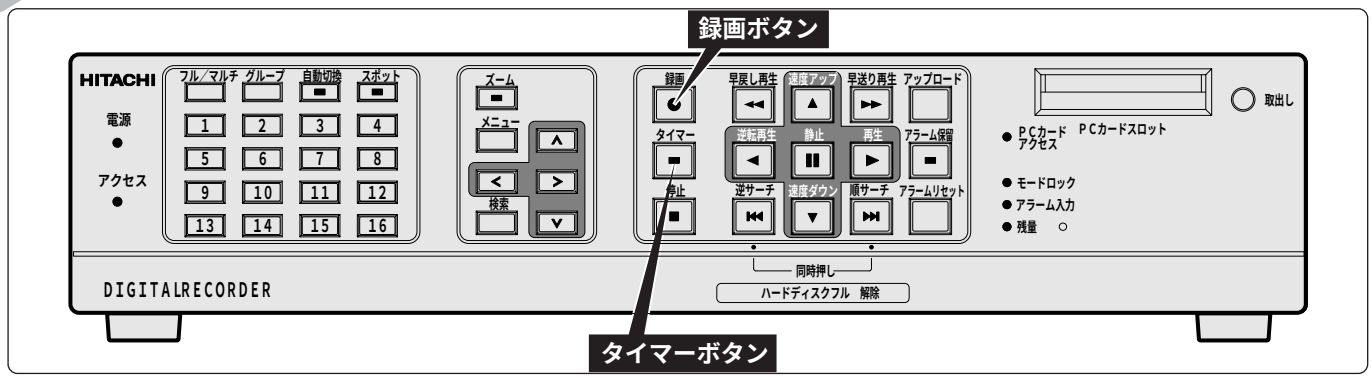
- 記録を止めたいときは、停止ボタンを録画ボタンのランプが消灯するまで3秒以上押してください。
- モニター画面の「●」(赤色)が消えます。
- 録画ボタンのランプが消えます。
- 音声記録が設定されている場合は、モニター画面の「♪」(白色)が消えます。

お知らせ

- 優先順位の高い記録を実行している場合、録画ボタンを押しても一般記録は開始されません。
- ハードディスクがフル状態の場合、ハードディスクフル復旧操作を行ってください。22
- 一般記録を実行中に優先順位の高い記録が入った場合、一般記録は停止し優先順位の高い記録が実行されます。その時は、一般記録の停止ボタンは受け付けません。優先順位の高い記録が終了すると、一般記録の停止ボタンを受け付けます。

タイマー記録をする

お知らせ ● 記録をする前に、必ず日付・時刻を設定してください。 101



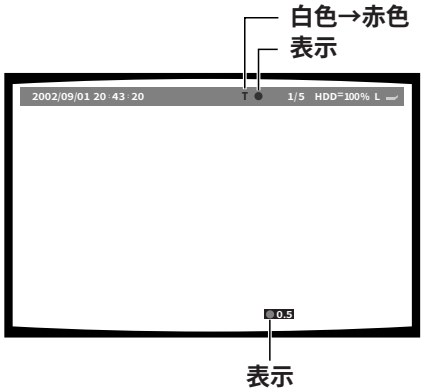
タイマー記録を始める

1 タイマーボタンを押す

- モニター画面の補助情報表示領域が表示されている場合は、「T」(白色) が表示されます。(タイマースタンバイ中)
- タイマーボタンのランプが点灯 (緑) します。
- 記録の設定は、タイマー予約の設定を参照してください。 82 ～ 84

タイマー記録が開始すると

- モニター画面の補助情報表示領域に「●」(赤色) が表示され、補助情報表示領域の「T」(白色) が「T」(赤色) に変わり記録が始まります。
- モニター画面のチャンネル情報表示領域が表示されている場合、チャンネル情報表示領域にも「●」(赤色) が表示されます。
- 音声記録が設定されている場合は、モニター画面の補助情報表示領域の「●」(赤色) 表示の右側に「♪」(白色) が表示されます。
- 記録中は、録画ボタンのランプが点灯 (赤) します。



タイマー記録が終了すると

- モニター画面の「●」(赤色) が消えます。
- 音声記録が設定されている場合は、モニター画面の「♪」(白色) が消えます。
- 録画ボタンのランプが消灯します。

タイマー記録予約およびタイマー記録中の停止操作

1 タイマーボタンを3秒以上押して、記録を終了する

- タイマー記録の予約および記録を止めたいときは、タイマーボタンのランプが消灯するまで3秒以上押してください。

タイマー記録中のとき

- モニター画面の「●」(赤色) が消えます。
- 音声記録が設定されている場合は、モニター画面の「♪」(白色) が消えます。

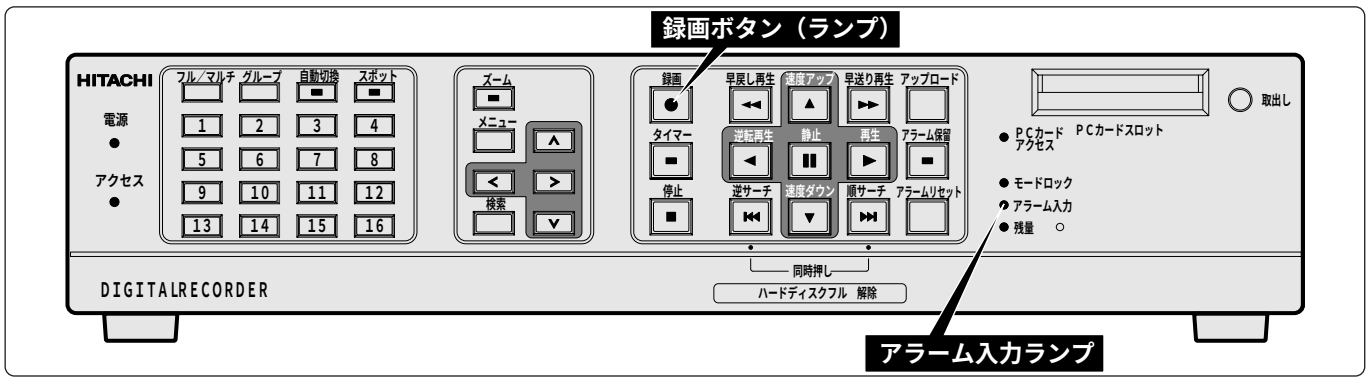
タイマー停止中のとき

- モニター画面の「T」(白色) が消えます。

アラーム記録をする

ドアスイッチやセンサーなどを本機のコントロール端子のアラーム入力に接続し、アラーム信号が入ると、入力のあったアラーム入力端子の設定にしたがって映像および音声を本機のハードディスクに記録します。

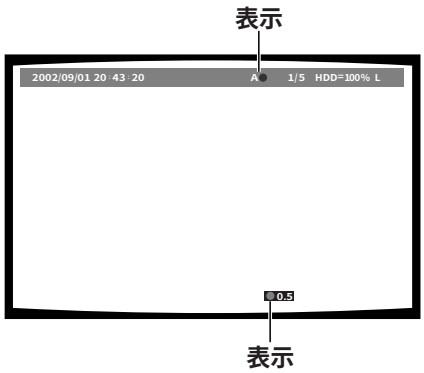
お知らせ
- **記録をする前に、必ず日付・時刻を設定してください。** **101**



お知らせ
- アラーム記録中に停電があった場合は、停電が復帰しても停止状態になります。

センサ連動記録を始める

アラーム入力端子（2～8）にアラーム信号が入力されると



- モニター画面の補助情報表示領域に「A●」（赤色）が表示され、記録が始まります。
- モニター画面のチャンネル情報表示領域が表示されている場合、チャンネル情報表示領域には「●」（赤色）が表示されます。
- 音声記録が設定されている場合は、モニター画面の補助情報表示領域「●」（赤色）表示の右側に「♪」（白色）が表示されます。
- 記録中は、録画ボタンのランプおよびアラーム入力ランプが点灯（赤）します。
- 分割表示画面の場合、アラーム入力されたチャンネルがフル画面表示されます。入力のあったアラーム入力端子に設定されたチャンネルが小さい順から順番にフル画面表示されます。ただし、アラーム保留ボタンを押してアラーム保留状態にすると分割画面表示からフル画面表示の切り換えはしません。
- 記録の設定は、センサ連動記録の設定を参照してください。**87**～**92**
- 設定された記録時間が終了するまで、記録を止めることはできません。

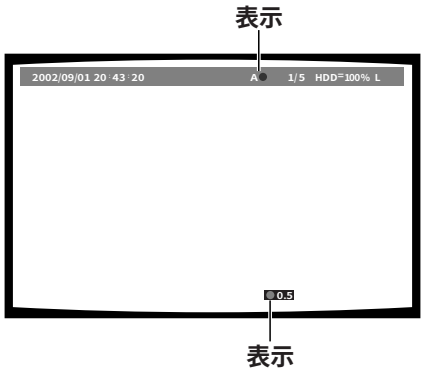
センサ連動記録が終了すると

- モニター画面の「A●」（赤色）が消えます。
- 音声記録が設定されている場合は、モニター画面の「♪」（白色）が消えます。
- 録画ボタンのランプが消灯します。
- アラーム入力ランプは点滅（赤色）に変わります。アラームリセットボタンを押すと消灯します。

お知らせ
- 非常連動記録を実行している場合、アラーム信号が入力されてもセンサ連動記録は開始されません。
- ハードディスクがフル状態の場合、ハードディスクフル復旧操作を行ってください。**22**
- センサ連動記録でプリアラーム画像を記録する設定になっているチャンネル、またはネットワークでのライブ出力を行う設定になっているチャンネルについては、最低「1秒／枚」の間隔で記録します。一般記録、タイマー記録されている場合は、その記録間隔（最低「1枚／秒」・画質を使用します。このため「1秒／枚」より広い記録間隔で記録されている場合は、プリアラーム画像の記録間隔も広くなります。また、他に記録が設定されていない場合は、一般記録設定を使用します。

非常連動記録を始める

アラーム入力端子（1）にアラーム信号が入力されると



- モニター画面の補助情報表示領域に「A●」（赤色）が表示され、記録が始まります。
- モニター画面のチャンネル情報表示領域が表示されている場合、チャンネル情報表示領域には「●」（赤色）が表示されます。
- 音声記録が設定されている場合は、モニター画面の補助情報表示領域の「●」（赤色）表示の右側に「♪」（白色）が表示されます。
- 記録中は、録画ボタンのランプおよびアラーム入力ランプが点灯（赤）します。
- 記録の設定は、非常連動記録の設定を参照してください。85 ～ 86
- 設定された記録時間が終了するまで、記録を止めることはできません。

非常連動記録が終了すると

モニター画面の「A●」（赤色）が消えます。

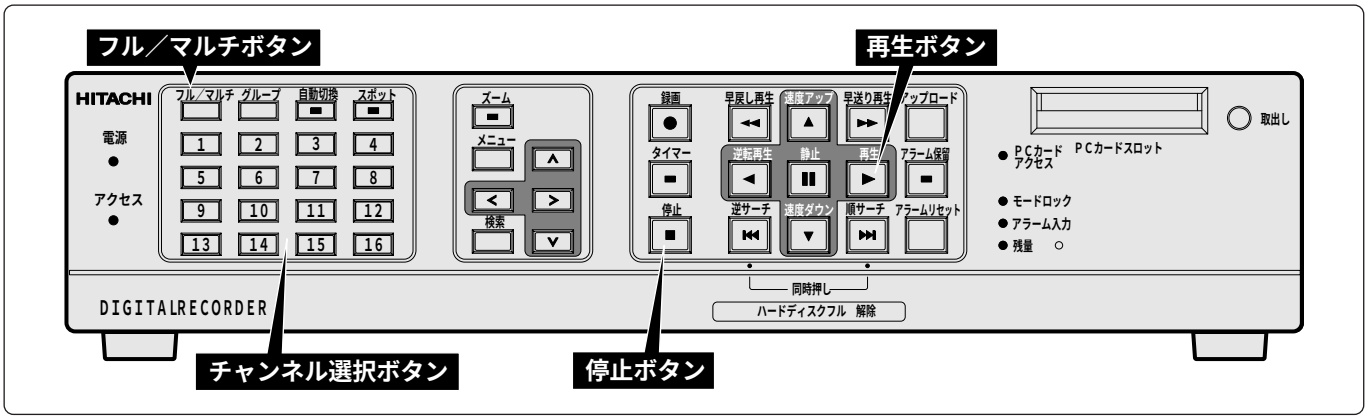
- 音声記録が設定されている場合は、モニター画面の「♪」（白色）が消えます。
- 録画ボタンのランプが消灯します。
- アラーム入力ランプは点滅に変わります。アラームリセットボタンを押すと消灯します。

お知らせ

- ハードディスクがフル状態の場合、HDDフル 非常連動記録を行うために古いデータを消去します が表示され記録が開始されます。
- 非常連動記録でプリアラーム記録と記録する設定になっているチャンネル、またはネットワークのライブ出力を行う設定になっているチャンネルについては、一般記録、タイマー記録されている場合は、その記録間隔・画質を使用します。また、記録が他に設定されていない場合は、一般記録の設定を使用します。

見る（再生）

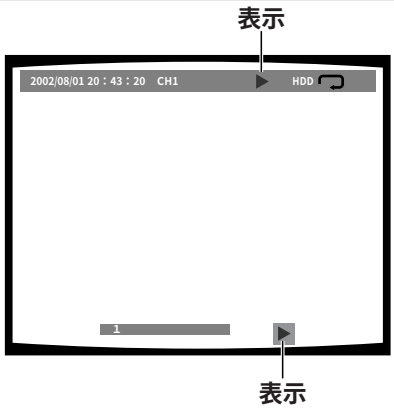
ハードディスクに記録した映像音声を再生します。



再生のしかた

1 再生ボタンを押す

- モニター画面が白枠となり再生が始まります。
- 再生中は、再生ボタンのランプが点灯（緑）します。
- モニター画面に補助情報表示領域、チャンネル情報表示領域が表示されている場合は「▶」が表示されます。
- 映像は記録された間隔に従って再生されます。
- ハードディスクへのアクセス中は、アクセスランプが点灯（緑）します。



2 再生画面の種類を選ぶ

- 表示画面を選んでください。フル／マルチボタンを押すたびに次のように切り換わります。

フル画面表示 ➡ 4分割画面表示 ➡10分割画面表示 ➡ 9分割画面表示 ➡16分割画面表示

- グループボタンを押すことで多分割表示のグループを変更できます。
- フル画面表示以外では、記録された間隔より粗く表示されることがあります。

3 停止ボタンを押して、再生を終了する

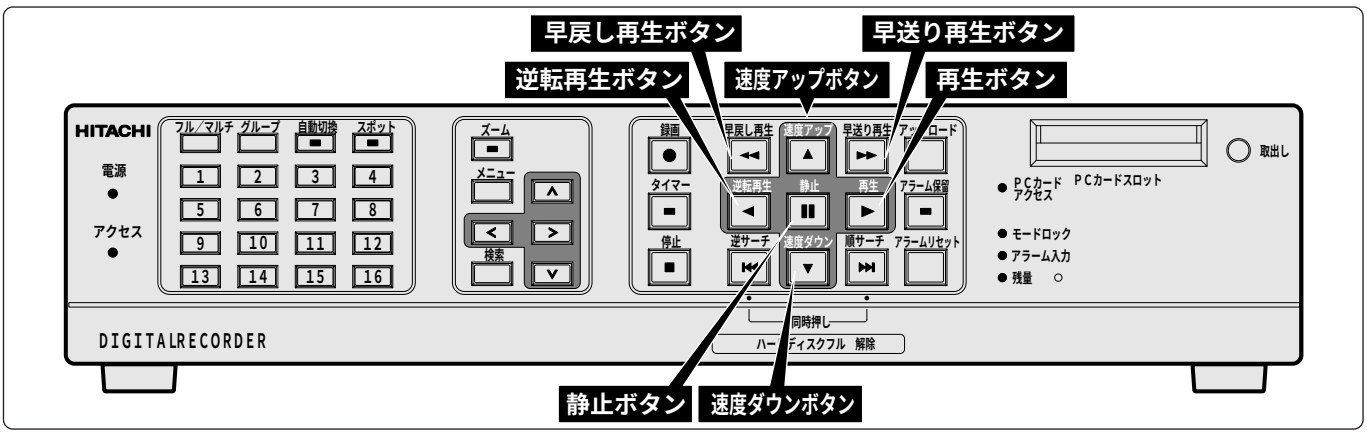
- 停止ボタンを押すと、再生ボタンのランプが消えて、モニター画面には現在接続されているカメラのライブ映像が映し出されます。

お知らせ

- 記録の最後まで再生すると、静止画（一時停止）になります。
- 再生中にメニューボタンまたは検索ボタンを押すと再生停止となり、メニュー画面が表示されます。
- 本機の電源を入れたあとに再生したときは、記録された映像の古い順に再生を始めます。
- 再生を停止したあとに再生すると、停止した位置から再生が始まります。
- 画面表示を日付表示の出ている画面（補助情報表示）にしておくと、記録された日付や時刻を確認することができます。17、18
- 音声を記録した場合は、再生画面表示に関係なく音声出力します。
- 記録間隔によって、映像が映し出されるまでに数秒から数十秒間かかる場合があります。
- 再生中に、記録が発生したときにトリプレックスとなり再生を停止させる場合があります。

いろいろな再生

再生する間隔を変えたり、記録した映像を止めて見たり、逆に見たりすることができます。



再生間隔を変える

1 再生中または逆転再生中に、速度アップボタンまたは速度ダウンボタンを押す

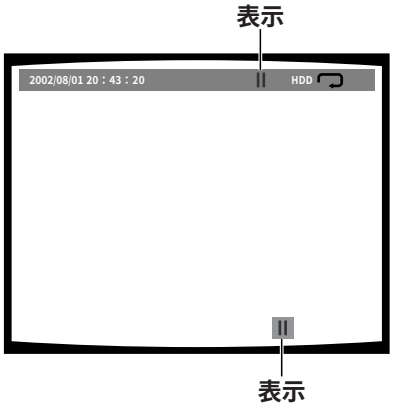
速度アップボタン、または速度ダウンボタンを押して再生速度を変えることができます。

- 速度アップによる速度変更：1／5倍→1／2倍→等倍→2倍→5倍→10倍→30倍
- 速度ダウンによる速度変更：30倍→10倍→5倍→2倍→等倍→1／2倍→1／5倍

見たい場面を止めて見る（再生一時停止）

1 再生中または逆転再生中に、静止ボタンを押す

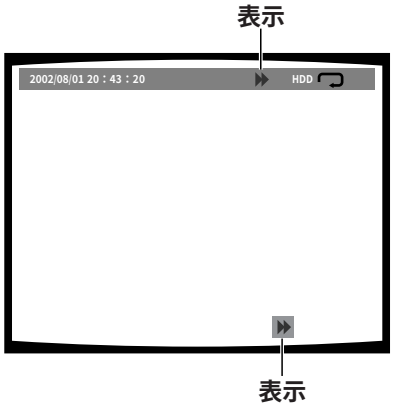
- モニター画面に補助情報表示領域が表示されている場合は「►」（再生中）、「◄」（逆転再生中）が「❚❚」に変わり、一時停止します。
- 再生一時停止中は、静止ボタンのランプが点灯（緑）します。
- もう一度静止ボタンを押すと、静止前の再生に戻ります。
- 再生ボタンでコマ送りすることができます。
- 逆転再生ボタンを押すと、コマ戻しすることができます。



画像を見ながら見たい場面を探す（早送り再生／早戻し再生）

1 停止中、静止中、再生中、逆転再生中に、早送り再生ボタンまたは早戻し再生ボタンを押す

- モニター画面に補助情報領域が表示されている場合は「❚❚」（静止中）、「►」（再生中）、「◄」（逆転再生中）が「►►」（早送り再生）または「◄◄」（早戻し再生）に変わり、映像が早送りまたは早戻し状態で再生されます。
- 標準速度に対し、100倍速で早送り再生または早戻し再生をします。
- 早送り再生中または早戻し再生中は、早送り再生ボタンまたは早戻し再生ボタンのランプ（緑）が点灯します。



2 見たい場面で再生ボタンまたは逆転再生ボタンを押す

- 通常の再生になります。

お知らせ
- 記録最後の部分まで早送り再生すると、静止画になります。
- 記録最初の部分まで早戻し再生すると、静止画になります。

逆の動きで見る（逆転再生）

1 停止中に、逆転再生ボタンを押す

- モニター画面に補助情報表示領域が表示されている場合は「◀」が表示され、逆転再生が始まります。逆転再生中は逆転再生ボタンのランプが点灯（緑）します。
- 記録の最初まで逆転再生すると、再生一時停止状態となります。
  ここで静止ボタンを押すと、記録された映像の新しい順に逆転再生します。
- 停止して逆転再生すると、停止した位置から逆転再生します。

ゆっくりとした速さで見る（コマ送り再生）

1 フル画面の静止画再生中に再生ボタンを押す

- 1回押すと、1画面に対して1フィールドコマ送りします。
- 押し続けると、毎秒2コマで連続してコマ送り再生します。

お知らせ
- フル画面表示のときのみ動作します。

逆の動きをゆっくり見る（逆転コマ送り再生）

1 フル画面の静止画再生中に逆転再生ボタンを押す

- 1回押すと、1画面に対して逆方向に1フィールドコマ送りします。
- 押し続けると、毎秒2コマで逆方向に連続してコマ送り再生します。

お知らせ
- フル画面表示のときのみ動作します。

記録中に映像を再生する（記録同時再生）

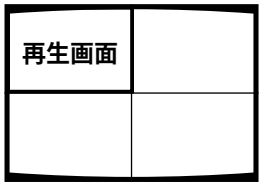
フル画面表示中に再生ボタンまたは逆転再生ボタンを押した場合

- 記録を続けながら再生画像を見ることができます。
- モニター画面が再生画面に切り換わり、記録を止めずに再生します。

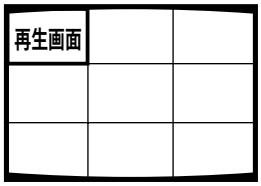
分割画面表示中に再生ボタンまたは逆転再生ボタンを押した場合（トリプレックス）

- マルチ画面の左上の画面が、再生画像に切り換わります。
  再生画面の表示する位置を変更することはできません。
- 再生するデータがあるチャンネルが、再生されます。

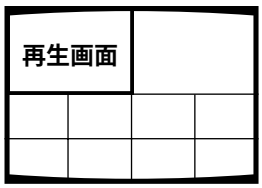
4分割表示画面



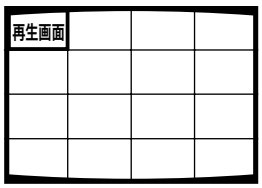
9分割表示画面



10分割表示画面



16分割表示画面

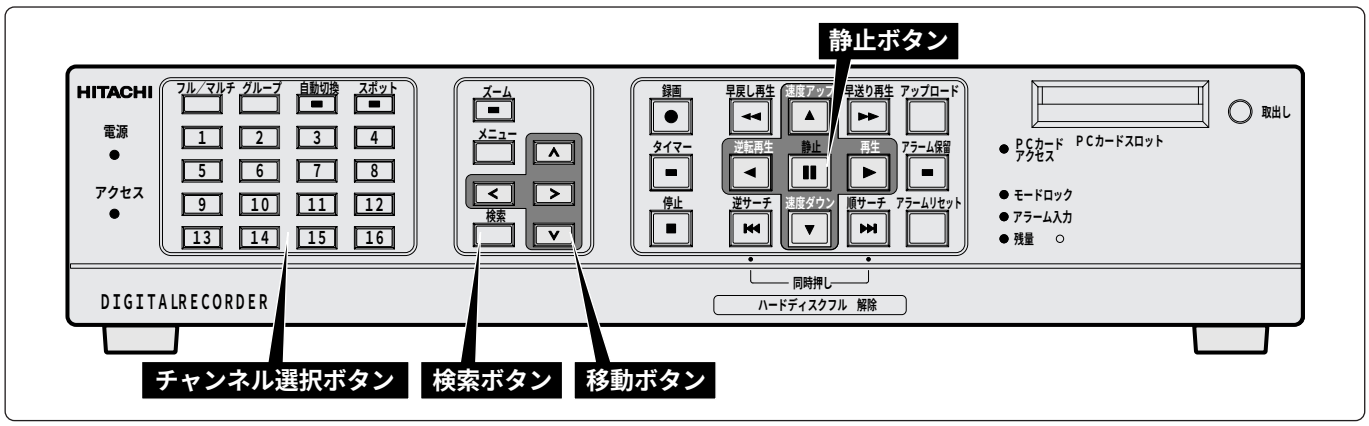


お知らせ

- 再生するチャンネルを変えたい場合は、チャンネル選択ボタンを押してください。
- 再生している画面は、通常の再生画面と同様に、早送り、早戻し再生、静止、逆転再生、コマ送り（フル画面のとき）、逆転コマ送り（フル画面のとき）、速度アップ、速度ダウンの操作が行えます。
- 停止ボタンを押すと再生が停止し、ライブ画像に戻ります。

見たい場面を、日付・時刻から頭出しする（タイムデートサーチ）

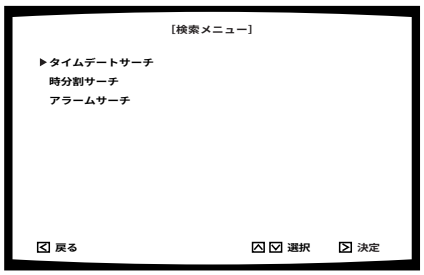
日付・時刻を指定して、記録した映像の頭出しができます。



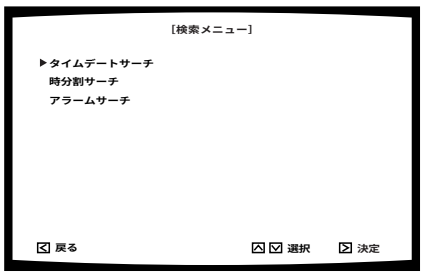
説明の例として、見たい場面をチャンネル番号8の西暦2002年9月8日14時50分に合わせるとき

1 検索ボタンを押す

- 検索メニュー画面が表示されます。

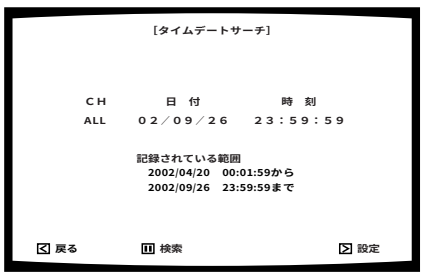


2 移動ボタン（∧または∨）を押して、カーソル「▶」を「タイムデートサーチに」合わせる



3 移動ボタン（>）を押す

- タイムデートサーチ設定画面が表示されます。

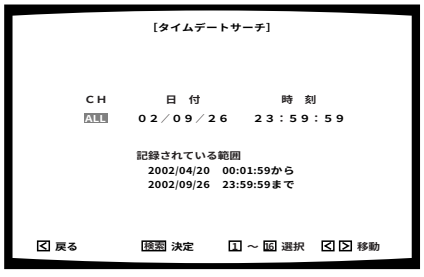


お知らせ

- 検索できる範囲は、記録されている日時の範囲内です。

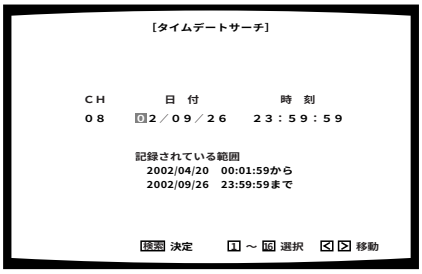
4 移動ボタン（>）を押す

- CHが白黒反転します。



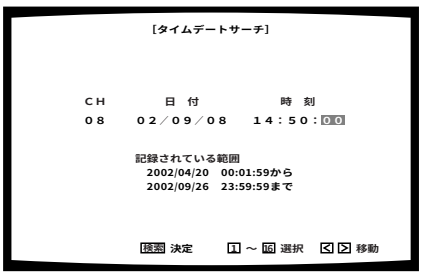
5 チャンネル選択ボタンを押して数字を入力する

- CHを入力してください。
- 「西暦」（1ケタ目）が白黒反転します。



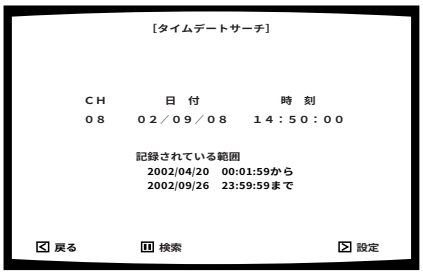
お知らせ
- すべてのカメラを選択する場合は、フル／マルチボタンを押してください。「ALL」が表示されます。

6 チャンネル選択ボタンで西暦、月、日、時、分、秒を合わせる



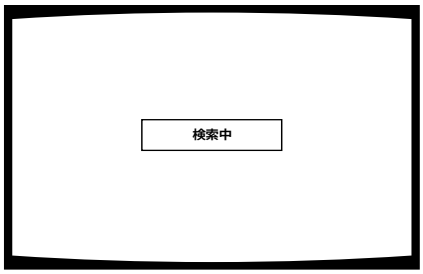
お知らせ
- 移動ボタン（<または>）で日付、時刻項目間を移動できます。

7 検索ボタンを押す



8 静止ボタンを押す

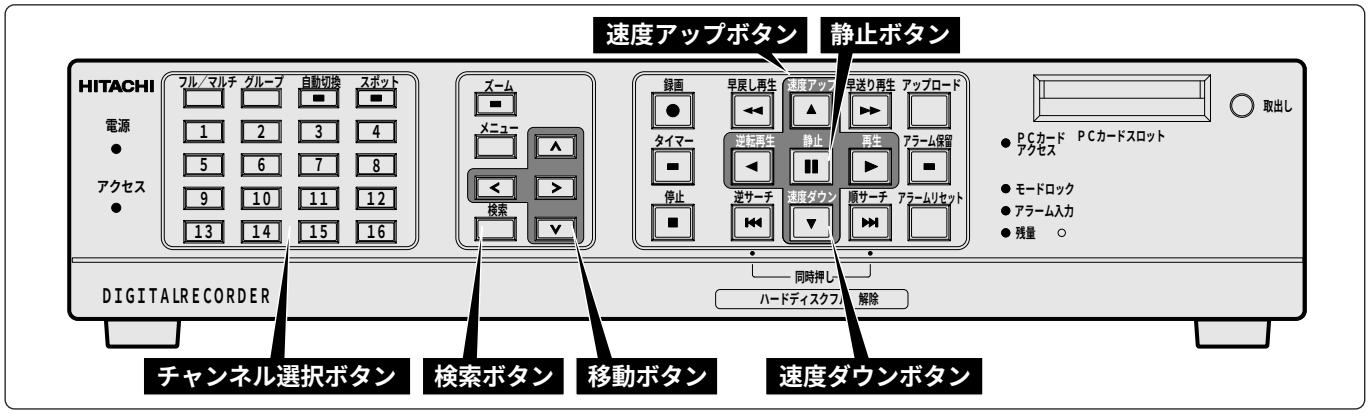
- 検索を開始します。
- メッセージ表示ウインドウに「検索中」を表示したあとに指定した時間の映像が表示されます。（静止画状態）



お知らせ
- 指定した時刻に指定したカメラの映像がない場合は、指定時刻よりあとの、最初の映像を表示します。
- フル／マルチボタンで「ALL」を指定した場合は、16分割画面表示で静止画再生をします。チャンネルを指定した場合は、フル画面表示で表示します。
  ただし録画中は、「ALL」は指定できません。

指定した場面を映像をたよりに時間・分・秒で検索する(時分割サーチ)

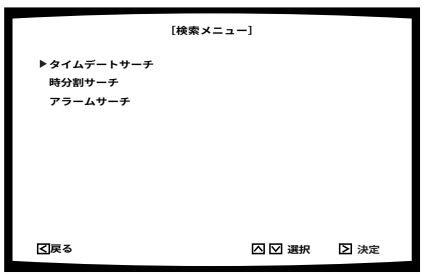
指定した日付・チャンネル番号の映像を、時・分・秒単位で13分割画面で表示して目的の映像を検索することができます。



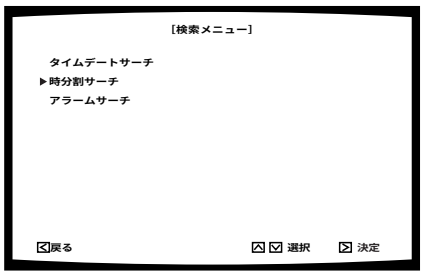
説明の例として、見たい場面をチャンネル番号14の西暦2002年9月8日から検索するとき

1 検索ボタンを押す

- 検索メニュー画面が表示されます。



2 移動ボタン(∧または∨)を押して、カーソル「▶」を「時分割サーチ」に合わせる



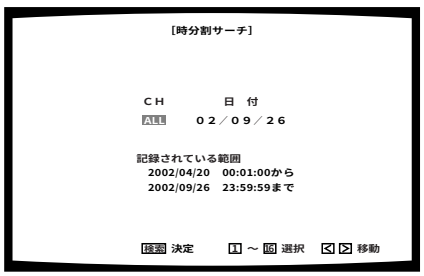
3 移動ボタン(>)を押す

- 時分割サーチ設定画面が表示されます。

お知らせ
- 検索できる範囲は、記録されている日付の範囲内です。

4 移動ボタン(>)を押す

- CHが白黒反転します。

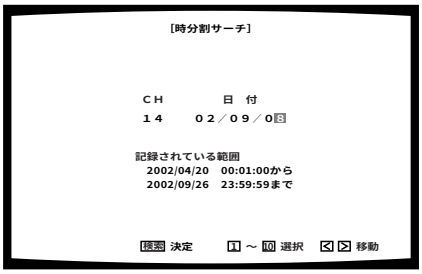


5 チャンネル選択ボタンを押して数字を入力する

- CHを入力してください。
- 「西暦」（1ケタ目）が白黒反転します。

お知らせ
- すべてのカメラを選択する場合は、フル／マルチボタンを押してください。「ALL」が表示されます。

6 チャンネル選択ボタンで西暦、月、日を合わせる

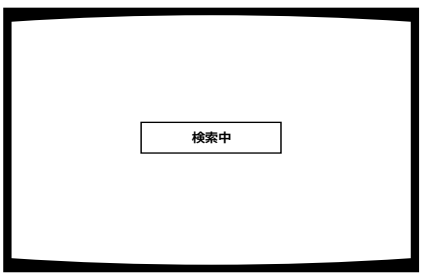


お知らせ
- 移動ボタン（ ＜ または ＞ ）で日付、時刻項目間を移動できます。

7 検索ボタンを押す

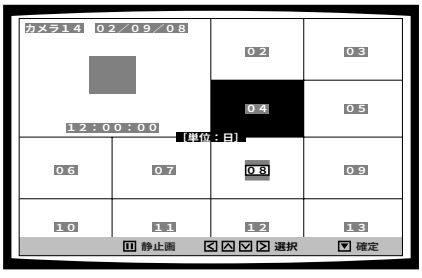
8 静止ボタンを押す

- 検索を開始します。
- メッセージ表示ウインドウに「検索中」を表示したあとに、指定した日付と前後の日付を合わせた12日間の映像が表示されます。

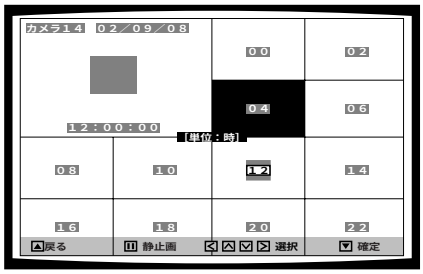


9 移動ボタンを押して検索したい映像の「日付」を選び速度ダウンボタン▼を押す

- 画面上に表示される数字は、日付を表します。
- 選択した画面は、左上に拡大表示され、その日のうちの記録の一番古い映像を表示します。
- 映像が記録されていない日付は、黒い画面となります。

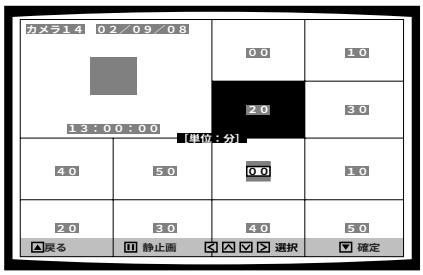


10 移動ボタンを押して検索したい映像の「時間」を選ぶ



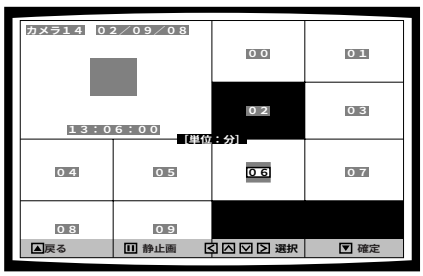
- 手順❾で選んだ日を2時間単位で分割表示します。
  「００」は午前0時、「０２」は午前2時を表します。
- 移動ボタンを押すと、「００」などの時間表示が白黒反転されている画面が左上に拡大表示されます。
- 映像が記録されていない時間帯は、黒い画面となります。
- 左上の拡大表示画面には、カメラ番号、記録日時、時間単位が表示されます。

11 速度ダウンボタン▽を押す



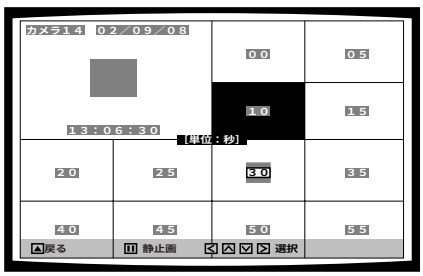
- 手順❿で選んだ時間帯を１０分単位で分割表示します。「10」は「00」から10分進んだ時間帯、「20」は「００」から２０分進んだ時間帯を表します。
- 移動ボタンで検索したい映像の「分」を選んでください。

12 速度ダウンボタン▽を押す



- 手順⓫で選んだ時間帯を１分単位で分割表示します。「０１」は「００」から1分進んだ時間帯、「０２」は「００」から2分進んだ時間帯を表します。
- 移動ボタンで検索したい映像の「分」を選んでください。

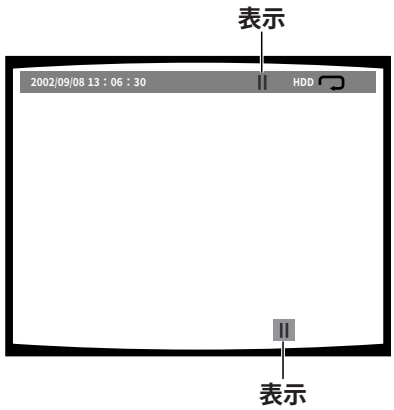
13 速度ダウンボタン▽を押す



- 手順⓬で選んだ時間帯を５秒単位で分割表示します。「05」は「00」から5秒進んだ時間帯、「10」は「００」から１０秒進んだ時間帯を表します。
- 移動ボタンで検索したい映像の「秒」を選んでください。

14 静止ボタンを押す

- 手順⓭で選んだ画面がフル表示画面で表示されます。（静止画状態）

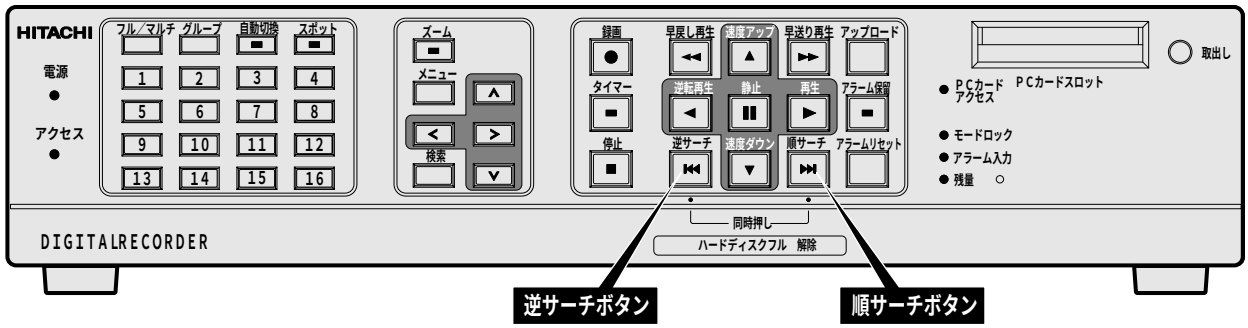


お知らせ

- 手順❿～⓭で速度アップボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 手順❾～⓬で静止ボタンを押すと、選択した画面の静止画となります。

記録開始位置を頭出しする（インデックスサーチ）

一般記録、タイマー記録、アラーム記録をするたびに自動的に記録始めの部分にインデックス信号が記録されます。この信号を検知して、記録した場面の頭出しができます。



順サーチ

1 再生中、逆転再生中または静止画再生中に順サーチボタンを押す

- 次のインデックス位置の映像を探し、画面が見つかると1秒間再生一時停止になります。そのあと再生が開始されます。
  一時停止中にもう一度順サーチボタンを押すと、次のインデックスを探します。

お知らせ

- インデックスは、カレントチャンネルで検索します。 18
- 同一チャンネルで2つのタイマー記録が時間的につながっている場合、最初のタイマー記録始めの部分がインデックスとなります。

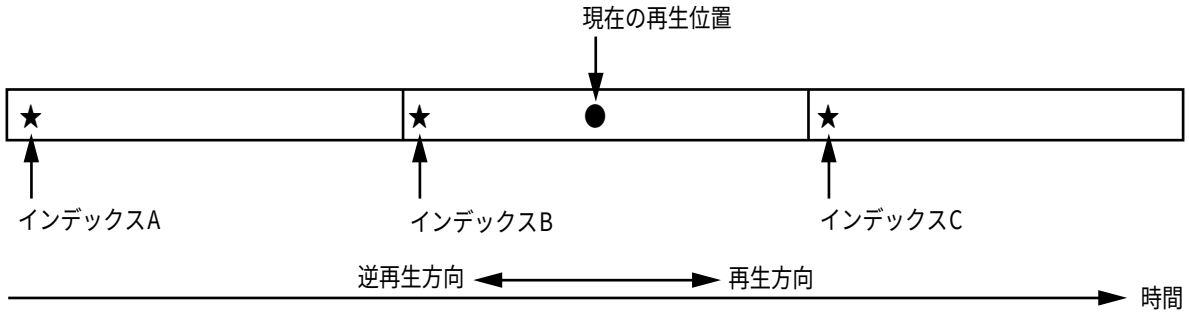
逆サーチ

1 再生中または逆転再生中に逆サーチボタンを押す

- 一つ前のインデックス位置の映像を探し、映像が見つかると1秒間再生一時停止になります。そのあと再生が開始されます。
  一時停止中にもう一度逆サーチボタンを押すと、もう一つ前のインデックスを探します。

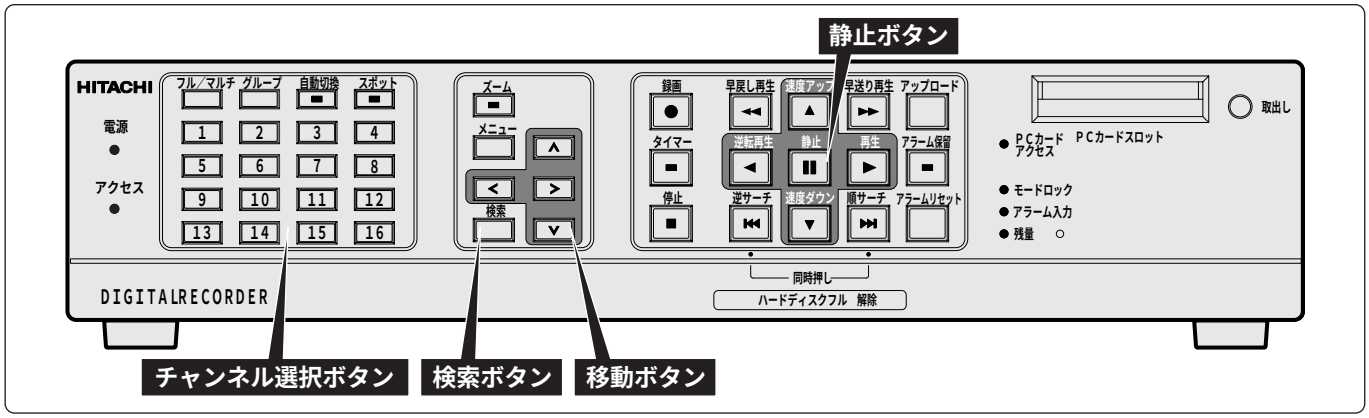
お知らせ

- インデックスは、カレントチャンネルで検索します。 18
- 同一カメラで2つのタイマー記録が時間的につながっている場合、最初のタイマー記録始めの部分がインデックスとなります。
- インデックスサーチ再生一時停止後の再生開始は、インデックスサーチで見つけた画面の次の画面になります。このため記録間隔が長いとその分だけ再生時刻が進みます。
- 再生方向に関わらず、現在の再生位置から順サーチするとインデックスCとなります。
  また、逆サーチするとインデックスBとなります。



日付・時刻からアラーム記録だけを検索する（アラームサーチ）

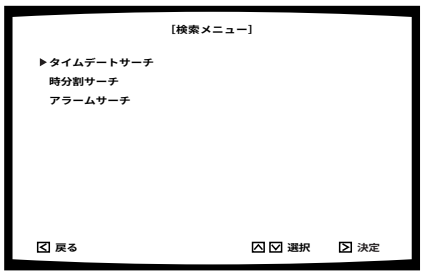
アラーム記録をするたびに、自動的に記録始めの部分にインデックス信号が記録されます。この信号を検知して、アラーム記録した場面のリストを表示し、リストから再生したい場面を選択できます。



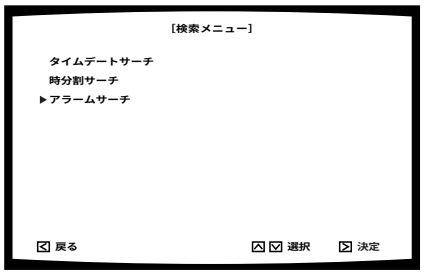
説明の例として、チャンネル2のアラーム記録画面を検索するとき

1 検索ボタンを押す

- 検索メニュー画面が表示されます。

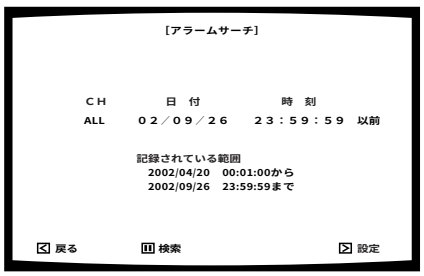


2 移動ボタン（∧または∨）を押して、カーソル「▶」を「アラームサーチ」に合わせる



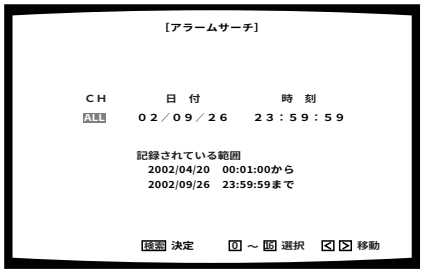
3 移動ボタン（>）を押す

- アラームサーチ設定画面が表示されます。



4 移動ボタン（>）を押す

- CHが白黒反転します。

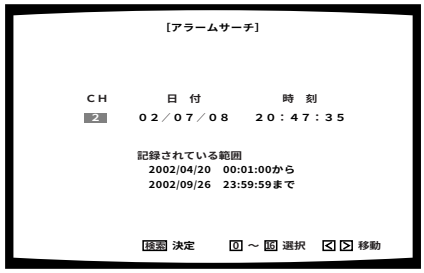


お知らせ

- すべてのチャンネルを選択する場合は、フル／マルチボタンを押してください。
「ALL」が表示されます。

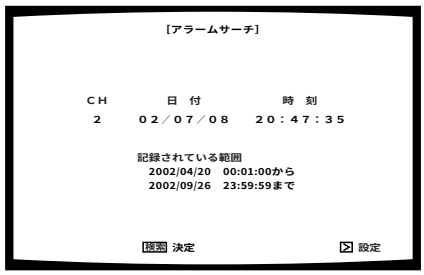
5 チャンネル選択ボタンを押して数字を入力する

- チャンネル番号を入力してください。



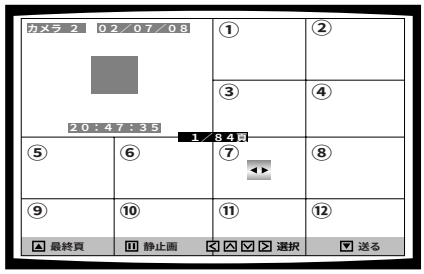
お知らせ
- 移動ボタン（＜または＞）で日付、時刻項目間を移動できます。

6 検索ボタンを押す



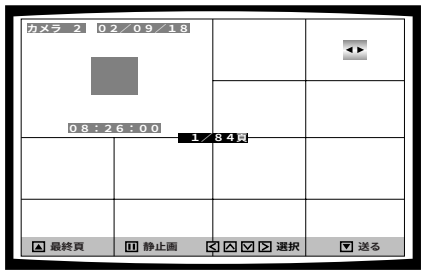
7 静止ボタンを押す

- 指定したチャンネルで、録画した日付が古いものから順番に12個表示します。
- 最大999個、84ページまで、表示することができます。
- 画面中央の分数「1/84」は「現在のページ/最終のページ」を表しています。



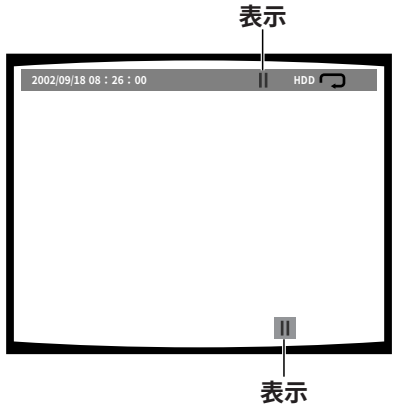
8 移動ボタンを押す

- 移動ボタンを押して画面を選択してください。カーソルマーク（◀ ▶）が移動し、画面を選択することができます。
- 選択された画面は、左上に拡大表示されます。
- 日付は、アラームが発生した日時を表します。
- 次のページに移動する場合は、速度ダウンボタンを、前のページに戻る場合は、速度アップボタンを押してください。



9 静止ボタンを押す

- カーソルマークのある画面がフル画面表示で静止画再生されます。



PCカード（フラッシュメモリカード）を使う

本機に記録した映像の中から、大切な映像や決定的瞬間をPCカードにアップロードし、Windows®パソコンで映像を表示することができます。

Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

使用できるPCカードは

本機ではPC－ATAカード※1の利用が可能ですが、（株）アイ・オー・データ機器製のPCCF－Hシリーズを推奨します。推奨カードの品名は変更になる場合があります。
詳細仕様などにつきましては、（株）アイ・オー・データ機器のホームページ※2をご参照ください。

※1 PC Card Standard ATA仕様 準拠品
※2 http://www.iodata.co.jp/
※ PCCF－Hシリーズをお使いになる場合、コンパクトフラッシュ用PCカードアダプタ（PCCF－ADP）をお使いください。

PCカード取り扱い上のご注意

安全のため、次のことにご注意ください。

⚠警告

PCカードを火気に近づけたり、火の中に投げ入れたりしないでください。発熱して破裂し、けがややけどの原因となります。

故障やデータの消失を防ぐために、PCカードを取り扱う際は、次のことにご注意ください。

- PCカードを折り曲げたり、強い力や衝撃を加えたり、落としたりしないでください。
- 静電気や磁気的、電気的ノイズの発生しやすいところでの使用・保管は避けてください。
- 高温多湿のところ、ほこりの多い場所、および侵食性の高い環境での使用・保管は避けてください。
- コネクター部にごみや異物を入れないでください。
- アップロード中にPCカード、本体の電源コードを抜かないでください。アップロード中のファイルはアップロードされない場合があります。また、ファイルを破壊するおそれがあります。

データについて

お客様または第三者がPCカードの使いかたを誤ったり、PCカードが電気的ノイズの影響を受けたり、故障・修理したときに、アップロードしたデータが消失することがあります。アップロードしたデータの消失による損害については当社は一切責任を負いません。ご了承ください。

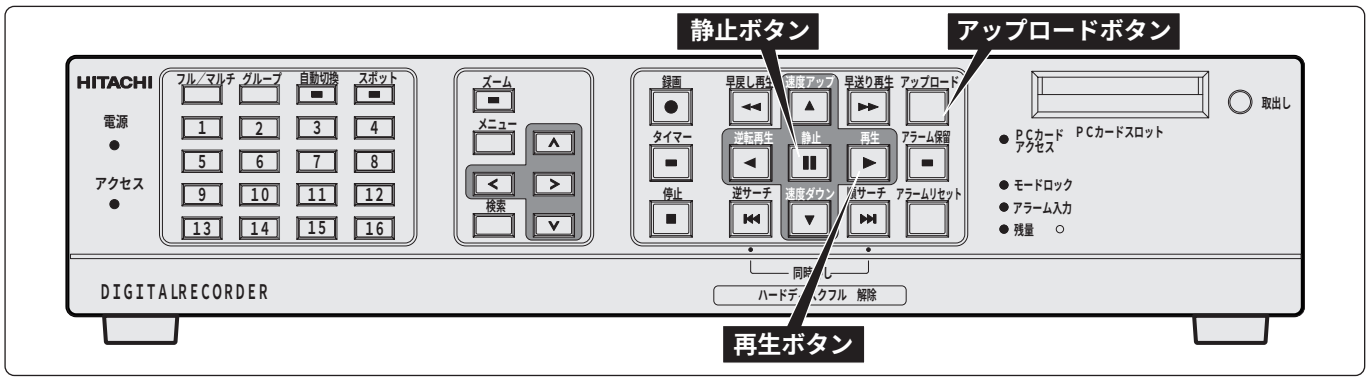
PCカードのフォーマット（初期化）

PCカードのフォーマットは、本機のPCカード初期化で行ってください。123
パソコンなどでフォーマットすると、本機で使用することができない場合があります。

PCカードにデータをアップロードする

ハードディスクの記録データを、PCカードにアップロードすることができます。

お知らせ ● PCカードの詳しい取り扱いは49ページをご覧ください。

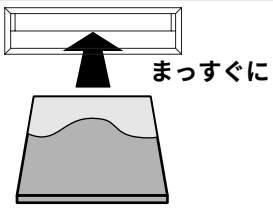


時間帯を指定して記録データのアップロードをする

アップロードしたい時間帯を映像を再生しながら指定します。

1 PCカードを入れます

- PCカード挿入口にまっすぐに入れて、静かに差し込みます。
- PCカードアクセスランプが点灯します。
  補助情報表示領域が表示されている場合は「▱」が表示されます。

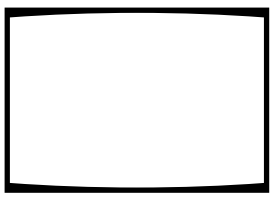


2 再生ボタンを押す

- 再生ボタンを押して映像を再生します。

3 静止ボタンを押す

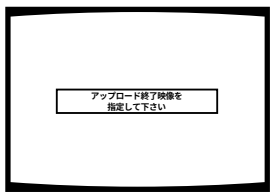
- アップロードしたいチャンネルにしたあと、アップロードしたい時間帯の最初の映像で静止ボタンを押してください。



お知らせ ● 静止画状態以外では、アップロードボタンを受け付けません。

4 アップロードボタンを押す

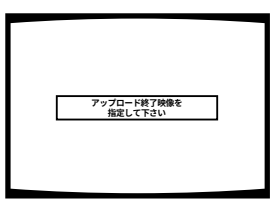
- アップロードボタンを押してアップロード開始時刻の確定をします。
- 「アップロード終了映像を指定して下さい」とメッセージが表示されます。



お知らせ ● ズーム表示中は、アップロードできません。

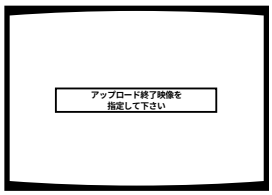
5 静止ボタンまたは再生ボタンを押す

- 再生しながらアップロードしたい時間帯の最後の映像を探してください。
- 静止状態で再生ボタンを押すとコマ送りになり逆転再生ボタンを押すと逆転コマ送りになります。(フル画面表示の場合のみ 39)



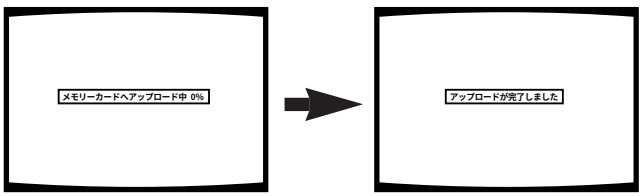
6 再生状態で静止ボタンを押す

- アップロードしたい時間帯の最後の映像で静止ボタンを押して静止画状態にしてください。



7 アップロードボタンを押す

- アップロードを開始します。
- 「メモリーカードへアップロード中※※%」とメッセージが表示されます。
- アップロードが完了すると「アップロードが完了しました」とメッセージが表示されます。
- PCカードアクセスランプが消灯します。



8 PCカード取出しボタンを押す

- PCカード取出しボタンを押してPCカードを静かに取り出してください。

お知らせ

- PCカードアクセスランプ点灯中は、PCカードを取り出さないでください。
- 時間帯指定を行っている間は、ズーム表示することはできません。
- アップロード中は、メニューボタン、検索ボタンを受け付けません。
- フル画面でアップロードを実行すると、表示されているチャンネルの映像がアップロードされます。また、フル画面以外の画面でアップロードを実行すると、全チャンネルの映像がアップロードされます。（音声がある場合は音声もアップロードされます。）
- アップロード中に再生やフル／マルチボタン操作を行うと、アップロードを中断する場合があります。

PCカードにデータをアップロードする（つづき）

「容量不足のためメモリカードへアップロードできません。」のメッセージが出たら

- 容量不足分はアップロードされておりません。別のPCカードを用意し、再度不足分のアップロードをしてください。
- 新しいPCカードは、PCカードを初期化してお使いください。ただし、PCカード内のデータは、すべて消去されます。123

「未対応のカードのためアップロードできません」のメッセージが出たら

- 推奨のPCカードをお使いください。メッセージ表示約2秒後に元の画面に戻ります。49

「フォーマットされていないためアップロードできません」のメッセージが出たら

- 初期化してお使いください。メッセージ表示約2秒後に元の画面に戻ります。123

「メモリカードを挿入して下さい」のメッセージが出たら

- もう一度正しく挿入してください。メッセージ表示約3秒後に元の画面に戻ります。

「リード／ライトエラーのためアップロードを中断しました」のメッセージが出たら

- メモリーカードへのデータ書き込みに失敗しました。もう一度はじめからやり直してください。
- さらに同じメッセージが表示される場合は、初期化してお使いください。ただし、PCカード内のデータは、すべて消去されます。123

お知らせ

- **PCカードを挿入した直後やアップロード中は、本機のPCカードアクセスランプが点灯します。ランプ点灯中にPCカードを抜かないでください。**
  PCカードランプの点灯中に、誤ってPCカードを抜いてしまい、そのあとPCカードを挿入してもアップロード動作をしなくなる場合があります。この場合は、電源を一度切ってからもう一度電源を入れ直してください。
- PCカードにアップロードしたデータは、Windows®パソコンで確認してください。
- PCカード内に作成されたファイルについては129を参照してください。
- アップロードしたデータをパソコンで見る場合は、専用のソフトが必要です。営業または販売店へご相談ください。

アップロードを中断したい場合

時間帯指定のアップロード操作中、またはアップロード実行中に停止ボタンを押して中断することができます。
時間帯指定のアップロード操作中に、停止ボタンで中断すると下記メッセージが表示されます。

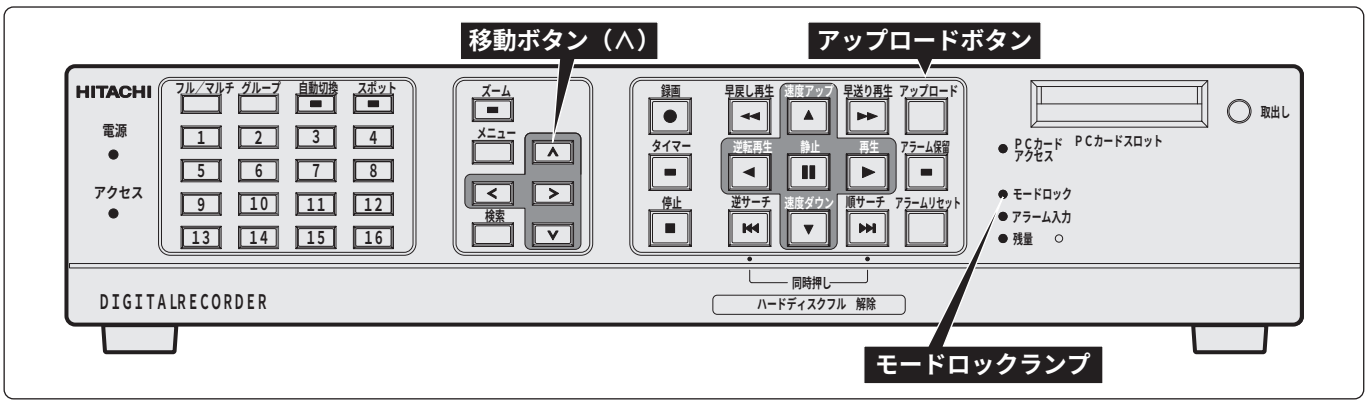
アップロード範囲の指定は中断されました

アップロード実行中に、停止ボタンで中断すると下記メッセージが表示されます。

アップロードは中断されました

誤操作を防ぐ（モードロック）

ボタン操作を受け付けないようにすることができます。



1 アップロードボタンを押したまま、移動ボタン（∧）を押す

- モードロックランプが点灯しモードロックとなります。
  画面表示の補助情報表示領域に、モードロック表示「L」が表示されます。

モードロックを解除するには

- アップロードボタンを押したまま移動ボタン（∧）を3秒以上押してください。
  モードロックランプが消えて、モードロックは解除されます。
  また、補助情報表示領域のモードロック表示「L」は消えます。
- 下記動作中は、モードロックに設定できません。
  再生、逆転再生、静止、早送り再生、早戻し再生、トリプレックス、メニュー表示、アップロード、ズーム

お知らせ

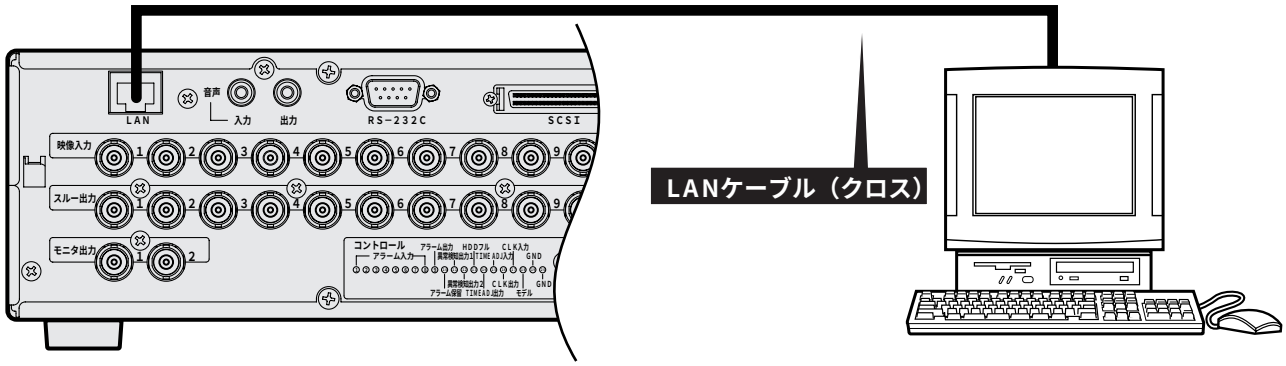
- モードロックは、LAN端子やRS-232C端子を介した制御でも設定できます。
  モードロックの解除は、モードロックをかけた制御と同じ制御でしか解除できません。
  （例として、LAN端子からモードロックをかけた場合は、LAN端子からのみ、モードロック解除ができます。）

メモ

モードロック中でも、次の操作は受け付けます。

- 本機後面のRS-232C端子またはLAN端子を介した操作
- 本機後面のアラーム入力（非常連動、センサ連動）による記録

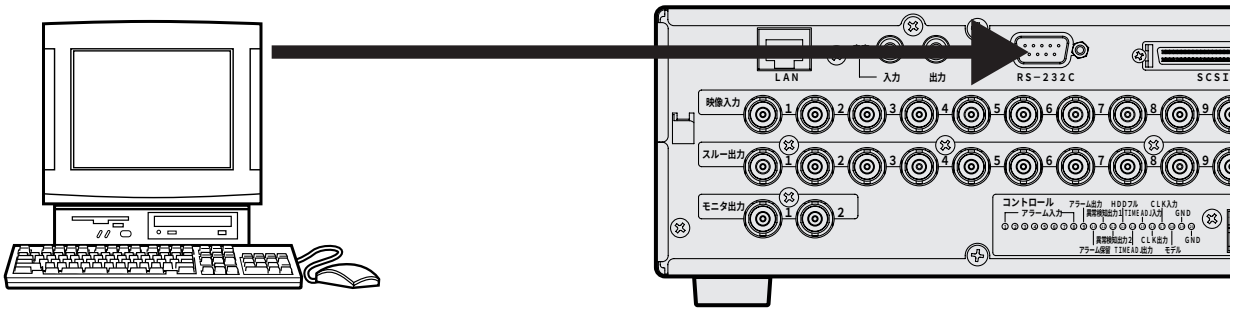
LAN機能を使う



- Windows®パソコンとLAN端子の接続には、LANケーブル（クロス）をご使用ください。
- Windows®パソコン用のアプリケーションソフトについては、お買い上げの営業または販売店にお問い合わせください。
- 次の操作を行うことができます。
  - ・ライブ映像の確認
  - ・ハードディスクに記録された映像、音声の確認
  - ・遠隔からの制御／状態確認
  - ・メールでのアラーム発報／警告の発報

RS-232Cの通信仕様

本機をパーソナルコンピューターと接続して制御をします。



お知らせ

- 接続されたパーソナルコンピューターから各操作・設定ができます。本機とパーソナルコンピューターを接続するときは、市販のRS-232Cケーブル（クロスタイプ）をお使いください。

RS-232Cの仕様

お知らせ

1．通信方式　　：調歩同期式

2．通信速度　　：1200（初期値）、2400、4800、9600、19200bps

3．通信形式　　：スタート1bit、データ8bit、ストップ（1bit）／2bit、
パリティ（NONE）/ODD/EVEN、フローコントロール無（　）は初期値

4．使用コネクター　：D-SUB9ピン

5．ピンアサイン
①：CD　②：RD（RX）③：SD（TX）④：DTR　⑤：SG
⑥：DSR　⑦：RTS　⑧：CTS　⑨：NC
ただし、④と⑥は短絡、⑦と⑧は短絡。

6．データ形式
シフトJISコードを使用します。
コマンド及びパラメータの文字数は入力、応答を問わず16文字（16バイト）以内とします。ただし、可変長文字列のパラメータを持つコマンドはコマンド毎に文字数制限を規定します。数を入力するパラメータでは、頭の0は省略できます。数を応答する場合の頭に0を付加するかどうかは各コマンドの応答を参照ください。

7．コマンド形式
“H”から始まり“*CR*”までを1コマンドとします。“*CR*”＝0×0D
“*CR*”～“H”の間のデータは無視します。
“H”＋スペース＋コマンド＋“*CR*”又は、
“H”＋スペース＋コマンド＋スペース＋パラメータ1＋スペース＋パラメータ2＋スペース＋…＋パラメータn＋“*CR*”

8．文字間の入力時間
コマンド入力時は文字と文字の入力間隔は10秒未満とします。10秒以上経過すると入力は破棄されます。
（例“H”と入力してからスペースを入力するまでの時間です）

9．応答
本機はコマンドを正常受信すると（1）又は（2）の応答を10秒以内に返信します。送信側は本機からの応答を受信後、次のコマンドを発行してください。
（1）ボタン、特殊、設定コマンド
コマンドを正常受信すると未定義コマンド／パラメータのチェックを行います。
正常の場合は“H”＋スペース＋“OK”＋“*CR*”（コマンドが有効か無効にかかわりなく）
未定義のコマンドの場合は“H”＋スペース＋“ERROR01”＋“*CR*”を返信します。
パラメータ異常がある場合は“H”＋スペース＋“ERROR02”＋“*CR*”を返信します。

本機がBUSYの場合は“Ｈ”＋スペース＋“ERROR03”＋“*CR*”を返信します。
特権モード（10．特権モード参照）でログインされていないため受け付けられない場合は“Ｈ”＋スペース＋“ERROR04”＋“*CR*”を返信します。

（2）状態確認コマンドの場合
（1）と同様に未定義コマンド／パラメータチェックを行い、異常の場合は“ERROR01”又は“ERROR02”を返信し、本機がBUSYの場合は“ERROR03”を返信します。
特権モードでログインされていないため受け付けられない場合は“Ｈ”＋スペース＋“ERROR04”＋“*CR*”を返信します。正常の場合、収集した情報をもって応答とします。

10．特権モード
リモート操作を制限するため、コマンドには特権モード時のみ受け付けるコマンドと、常時受け付けるコマンドがあります。特権モードでログインするには特権モードログインコマンドにより認証を受ける必要があります。特権モードになってから、1分間コマンド入力が無い場合は通常モードに戻ります。

表　の　見　方

（1）未記入セルはスペースを意味します。
（2）“↓”は“*CR*”です。
（3）応答は“Ｈ”＋スペース＋RESPONSE＋“*CR*”形式です。
RESPONSE：OK, ERROR01, ERROR02,
ERROR03, ERROR04
（4）“特”欄
○：特権モード時のみ受け付けるコマンド
×：常時受け付けるコマンド

1．ボタン同義コマンド

フロントパネルでのボタン操作と同じ制御を行います。

特	機能	コマンド			
	パラメータ説明（パラメータ2以降）			コマンド名	
○	録画	H		rec	↓
○	タイマー	H		tstandby	↓
○	停止	H		stop	↓
○	早戻し再生	H		review	↓
○	逆転再生	H		rplay	↓
○	逆サーチ	H		backindex	↓
○	速度アップ	H		speedup	↓
○	静止	H		pause	↓
○	速度ダウン	H		speeddown	↓
○	早送り再生	H		cue	↓
○	再生	H		play	↓
○	順サーチ	H		nextindex	↓
○	アップロード	H		upload	↓
○	アラーム保留	H		almhold	↓
○	アラームリセット	H		almreset	↓
○	ズーム	H		zoom	↓
○	メニュー	H		menu	↓
○	検索	H		search	↓
○	∧	H		up	↓
○	∨	H		down	↓
○	＞	H		right	↓
○	＜	H		left	↓
○	フル／マルチ	H		fullmulti	↓
○	グループ	H		group	↓
○	自動切換	H		auto	↓
○	スポット	H		spot	↓
○	1	H		sw1	↓
○	2	H		sw2	↓
○	3	H		sw3	↓
○	4	H		sw4	↓
○	5	H		sw5	↓
○	6	H		sw6	↓
○	7	H		sw7	↓
○	8	H		sw8	↓
○	9	H		sw9	↓
○	10	H		sw10	↓
○	11	H		sw11	↓
○	12	H		sw12	↓
○	13	H		sw13	↓
○	14	H		sw14	↓
○	15	H		sw15	↓
○	16	H		sw16	↓

応答はすべて“H”＋スペース＋REPONSE＋“*CR*”形式です。

2．特殊コマンド

2つボタン押し、長押し操作、ダイレクト操作、レコーダー状態確認を行うコマンドです。

特	機能		コマンド																		備考
	パラメータ説明				コマンド名	パラメータ番号															
○	一般記録停止（停止ボタン3秒押し）	送信 応答	H H		nrecstop RESPONSE	↓ ↓															
○	タイマー記録停止（タイマースタンバイ3秒押し）	送信 応答	H H		trecstop RESPONSE	↓ ↓															
○	モードロックオン	送信 応答	H H		lockon RESPONSE	↓ ↓															
○	モードロックオフ	送信 応答	H H		lockoff RESPONSE	↓ ↓															※2
○	HDDフルリセット	送信 応答	H H		fullreset RESPONSE	↓ ↓															
○	タイムデートサーチ 年 月 日 時 分 秒 検索CH	送信 応答	H H		tds RESPONSE	↓	パラメータ1 00-99 パラメータ7 0-16	↓	パラメータ2 01-12		パラメータ3 01-31		パラメータ4 00-23		パラメータ5 00-59		パラメータ6 00-59				
○	アラームサーチ 年月日時分秒 検索CH	送信 応答	H H		alms RESPONSE	↓	パラメータ1 00-99 パラメータ7 0-16	↓	パラメータ2 01-12		パラメータ3 01-31		パラメータ4 00-23		パラメータ5 00-59		パラメータ6 00-59				検索CHが0の場合全CH指定になります。
○	時分割サーチ 年月日検索CH	送信 応答	H H		tss RESPONSE	↓	パラメータ1 00-99		パラメータ2 01-12		パラメータ3 01-31		パラメータ4 0-16	↓							
○	4分割指定	送信 応答	H H		quad RESPONSE	↓	パラメータ1 a-d	↓													
○	9分割指定	送信 応答	H H		multi9 RESPONSE	↓	パラメータ1 a-b	↓													
○	10分割A指定 左中画面　右中画面 10分割B指定 左中画面　右中画面	送信 応答	H H H		multi10 multi10 RESPONSE	↓	パラメータ1 0-8 9-16		パラメータ2 0-8 9-16	↓ ↓											左右同一の指定はパラメータエラー
○	16分割指定	送信 応答	H H		multi16 RESPONSE	↓ ↓															
○	設定データをフラッシュメモリに書き込む	送信 応答1 応答2	H H H		fromwrite fromwrite OK	↓	パラメータ1 success failure	↓													機器設定コマンドにより変更された設定値をFROMに保存します。 メニュー表示中は応答2、それ以外の状態では応答1を返します。
○	HDD異常復旧（停止ボタン＋アラームリセットボタン押し）	送信 応答	H H		hddrepair RESPONSE	↓ ↓															

<table>
<tr><th>特</th><th>機能
パラメータ説明</th><th></th><th colspan="3">コマンド
コマンド名</th><th colspan="13">パラメータ番号</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>×</td><td>レコーダー状態確認
ステータス タイマースタンバイモードロック HDD残量 警告発生有無 ズーム 自動切換 画面分割 スポットアラーム保留</td><td>送信
応答</td><td>H
H</td><td></td><td>condition?
condition=</td><td>↓</td><td colspan="5">パラメータ1
stop
play
rplay
pause
cue
review
normal_rec
timer_rec
emer_alarm
sensor_alarm</td><td colspan="5">normal&play
normal&rplay
normal&pause
normal&cue
normal&review
timer&play
timer&rplay
timer&pause
timer&cue
timer&review</td><td colspan="5">emer&play
emer&rplay
emer&pause
emer&cue
emer&review
sensor&pray
sensor&rpray
sensor&pause
sensor&cue
sensor&review</td><td colspan="3">パラメータ2
tstandbyoff
tstandbyon</td><td colspan="3">パラメータ3
lockoff
lockon</td><td colspan="3">パラメータ4
hdd000-100
hddrepeat</td><td></td><td>・hddrepeat:リサイクルモードがリピートモードの場合の応答</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="5">パラメータ5
normal
warning</td><td colspan="5">パラメータ6
zoomoff
zoomon</td><td colspan="5">パラメータ7
autooff
autoon</td><td colspan="3">パラメータ8
full01-16
qd4a-qd4d
mlt9a
mlt9b
mlt10a
mlt10b
mlt13
mlt16</td><td colspan="3">パラメータ9
spotoff
spoton</td><td colspan="3">パラメータ10
almholdoff
almholdon</td><td>↓</td><td></td></tr>
<tr><td>×</td><td>警告確認
チャンネルロスト,チャンネル未登録,HDD異常,HDD寿命,HDD未登録,その他（HDDフル,メモリ異常,ファン異常,停電,未初期化PCカード,未対応PCカード）</td><td>送信
応答</td><td>H
H</td><td></td><td>warning?
warning=</td><td>↓</td><td colspan="5">パラメータ1
0000000000000000</td><td colspan="5">パラメータ2
0000000000000000</td><td colspan="5">パラメータ3
0000000000000000</td><td colspan="3">パラメータ4
0000000000000000</td><td colspan="3">パラメータ5
0000000000000000</td><td colspan="3">パラメータ6
0000000000000000</td><td>↓</td><td>※1　参照</td></tr>
<tr><td>×</td><td>アラーム件数確認</td><td></td><td>H
H</td><td></td><td>almcount?
almcount=</td><td>↓</td><td colspan="5">パラメータ1
0-999</td><td>↓</td><td colspan="5"></td><td colspan="5"></td><td colspan="5"></td><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td><td></td><td></td></tr>
</table>

※1　警告確認

パラメータ1：チャンネルロスト 最下位桁から順にCH1～CH16。1:ロスト、0:正常。

パラメータ2：チャンネル未登録（追加して登録していない状態）最下位桁から順にCH1～CH16。
1:未登録（追加）、0:正常。

パラメータ3：HDD異常 最下位桁から順に内蔵マスタ、内蔵スレーブ、外付け1、・・・外付け6。
1:異常、0:正常。

パラメータ4：HDD寿命 最下位桁から順に内蔵マスタ、内蔵スレーブ、外付け1、・・・外付け6。
1:寿命、0:正常。

パラメータ5：HDD未登録 最下位桁から順に内蔵マスタ、内蔵スレーブ、外付け1、・・・外付け6。
1:未登録、0:正常。

パラメータ6：その他 最下位桁から順にHDDフル、メモリ異常、ファン異常、停電、未初期化PCカード、未対応PCカード゛。
1:事象発生、0:正常。

注意

※2　モードロックオフについて

モードロックオンした操作元でしか、モードロックオフできません。操作元には本体ボタン、RS-232Cからの外部操作、ＬＡＮからの外部操作があります。

3．機器設定コマンド

機器の設定をレコーダーのメニュー画面単位で行います。設定が成功したかどうかは「機器確認」コマンドで確認してください。

重　要

- 設定変更終了時の注意
  設定を変更した場合、「特殊」コマンドの“ fromwrite ”を使用して、フラッシュメモリに設定値を保存してください。
  複数箇所変更する場合は、最後に1度“ fromwrite ”コマンドを実行してください。“ fromwrite ”コマンドが発行されていない状態で電源断した場合、変更は保存されません。
- 記録メニュー設定変更時の注意
  「記録メニュー設定」を参照ください。

（1）記録メニュー
応答は“ H ”＋スペース＋*RESPONSE*＋“ *CR* ”形式です。

特	機能	コマンド														備考
	パラメータ説明			コマンド名	機能番号	パラメータ番号										
○	共通設定リサイクルモード 残量警告値	H		func	0010	パラメータ1		パラメータ2		パラメータ3		パラメータ4		パラメータ5		パラメータ6		残量警告値：10以上は5刻みで指定します。
						rerec_mode stop_mode		1-50	↓									
○	グルーピング設定 CH1所属グループ・・・ CH16所属グループ	H		func	0011	パラメータ1		パラメータ2		パラメータ3		パラメータ4		パラメータ5		パラメータ6		※1
						a-e,=		a-e,=		a-e,=		a-e,=		a-e,=		a-e,=		
						パラメータ7		パラメータ8		パラメータ9		パラメータ10		パラメータ11		パラメータ12		
						a-e,=		a-e,=		a-e,=		a-e,=		a-e,=		a-e,=		
						パラメータ13		パラメータ14		パラメータ15		パラメータ16						
						a-e,=		a-e,=		a-e,=		a-e,=						
○	一般記録設定 音声・画質・グループA記録間隔・・・グループE記録間隔	H		func	0012	パラメータ1		パラメータ2		パラメータ3		パラメータ4		パラメータ5		パラメータ6		※2
						audioon audiooff		fine standard basic		spc003 spc010 spc020 spc050 spc1 spc2 spc5 spc10 spc20 spc30 nospc		spc003 spc010 spc020 spc050 spc1 spc2 spc5 spc10 spc20 spc30 nospc		spc003 spc010 spc020 spc050 spc1 spc2 spc5 spc10 spc20 spc30 nospc		spc003 spc010 spc020 spc050 spc1 spc2 spc5 spc10 spc20 spc30 nospc		
						パラメータ7												
						spc003 spc010 spc020 spc050 spc1 spc2 spc5 spc10 spc20 spc30 nospc	↓									

特	機能	コマンド																		備考
	パラメータ説明			コマンド名	機能番号	パラメータ番号														
○	タイマー記録　プログラム部設定 プログラム番号 開始時 開始分 終了時 終了分 音声グループA記録間隔・・・グループE記録間隔	H		func	0014	パラメータ1		パラメータ2		パラメータ3		パラメータ4		パラメータ5		パラメータ6				※3
						1-7		00-23		00-59		00-24		00-59		audioon audiooff				
						パラメータ7		パラメータ8		パラメータ9		パラメータ10		パラメータ11						
						spc003 ・・・ spc30 nospc		spc003 ・・・ spc30 nospc		spc003 ・・・ spc30 nospc		spc003 ・・・ spc30 nospc		spc003 ・・・ spc30 nospc	↓					
○	タイマー記録　曜日部設定 曜日プログラム 画質 プログラム 画質	H		func	0015	パラメータ1		パラメータ2		パラメータ3		パラメータ4		パラメータ5						プログラム指定で0は指定無しの意味
						sun mon tue wed thu fri sat		0-7		fine standard basic		0-7		fine standard basic	↓					
○	非常連動記録設定 音声 画質 プリ記録間隔（固定） ポスト記録間隔 プリ記録時間 ポスト記録時間 記録ＣＨ・・・記録ＣＨ	H		func	0017	パラメータ1		パラメータ2		パラメータ3		パラメータ4		パラメータ5		パラメータ6				記録CH=0は指定無しの意味。※4
						audioon audiooff		fine standard basic		spc1		spc003 spc010 spc020 spc050 spc1 spc2 spc5 spc10 spc20 spc30		0 30 60 120 180		10 15 20 30 60 120 180 300 600 1800				
						パラメータ7		パラメータ8		パラメータ9		パラメータ10		パラメータ11		パラメータ12				
						0-16		0-16		0-16		0-16		0-16		0-16	↓			
○	センサ連動記録　記録設定 音声 画質 プリ記録間隔（固定） ポスト記録間隔 プリ記録時間 ポスト記録時間	H		func	0018	パラメータ1		パラメータ2		パラメータ3		パラメータ4		パラメータ5		パラメータ6				※5
						audioon audiooff		fine standard basic		spc1		spc003 spc010 spc020 spc050 spc1 spc2 spc5 spc10 spc20 spc30		0 5		10 15 20 30 60 120 180 300 600 1800				
○	センサ連動記録　記録ＣＨ設定 センサ番号CH1を記録/記録しない・・・ＣＨ１６記録/記録しない（1：記録　0：記録しない）	H		func	0019	パラメータ1		パラメータ2		パラメータ3		パラメータ4		パラメータ5		パラメータ6				※5
						2-8		0-1		0-1		0-1		0-1		0-1				
						パラメータ7		パラメータ8		パラメータ9		パラメータ10		パラメータ11		パラメータ12				
						0-1		0-1		0-1		0-1		0-1		0-1	↓			
						パラメータ13		パラメータ14		パラメータ15		パラメータ16		パラメータ17						
						0-1		0-1		0-1		0-1		0-1	↓					
○	センサ連動記録　記録時間帯指定設定（曜日設定）プログラム、曜日毎の指定 日～土（1：有、0：無）、開始時分、終了時分	H		func	0020	パラメータ1		パラメータ2		パラメータ3		パラメータ4		パラメータ5		パラメータ6				
						1-2		0-1		0-1		0-1		0-1		0-1				
						パラメータ7		パラメータ8		パラメータ9		パラメータ10		パラメータ11		パラメータ12				
						0-1		0-1		00-24		00-59		00-24		00-59	↓			
○	センサ連動記録　時間帯指定設定（期間設定） 開始年月日時分 終了年月日時分 検知状態（検知、非検知、未設定）	H		func	0021	パラメータ1		パラメータ2		パラメータ3		パラメータ4		パラメータ5		パラメータ6				
						00-99		01-12		01-31		00-24		00-59		00-99				
						パラメータ7		パラメータ8		パラメータ9		パラメータ10		パラメータ11						
						01-12		01-31		00-24		00-59		tz_active tz_disactive tz_non	↓					

RS-232Cの通信仕様（つづき）

特	機能	コマンド												備考
	パラメータ説明			コマンド名	機能番号	パラメータ番号								
○	遠隔モニタリング設定 CH1をモニタリングする/しない（1：する、0：しない）・・・CH16をモニタリングする/しない	H		func	0022	パラメータ1	パラメータ2	パラメータ3	パラメータ4	パラメータ5	パラメータ6			
						0-1	0-1	0-1	0-1	0-1	0-1			
						パラメータ7	パラメータ8	パラメータ9	パラメータ10	パラメータ11	パラメータ12			
						0-1	0-1	0-1	0-1	0-1	0-1			
						パラメータ13	パラメータ14	パラメータ15	パラメータ16					
						0-1	0-1	0-1	0-1	↓				

※1　グループ設定について
- “ = ”の指定：状態を変えない。
- グループ設定変更の実行すると、一般記録、タイマー記録で各CHの記録間隔の合計が30枚／秒を超える設定になってしまう場合は変更を受付ません。
- 未登録のチャンネルに対しての指定は無視されます

※2　一般記録設定
- 設定変更を実行することにより、各CHの記録間隔の合計が30枚／秒を超える場合は変更を受け付けません。
- パラメータ3～パラメータ7の “ nospc ” は記録しないを意味します。

※3　タイマー記録　プログラム部設定
- 設定変更を実行することにより、各CHの記録間隔の合計が30枚／秒を超える場合は変更を受け付けません。
- パラメータ7～パラメータ11の “ nospc ” は記録しないを意味します。

※4　非常連動記録設定
- 設定変更を実行することにより、各CHの記録間隔の合計が30枚／秒を超える場合は変更を受け付けません。
- 記録CH指定で未登録のチャンネルに対しての設定は無視されます。

※5　センサ連動（記録設定、記録ＣＨ設定）
- 設定変更を実行することにより連動ＣＨの記録間隔の合計が30枚／秒を超える場合、変更は受け付けません。
- 記録CH指定で未登録のチャンネルに対しての設定は無視されます。

（3）スイッチャーメニュー
応答は“ H ”＋スペース＋*RESPONSE*＋“ *CR* ”形式です。

特	機能	コマンド																						備考
	パラメータ説明			コマンド名	機能番号	パラメータ番号																		
○	スイッチャー設定 自動切換表示時間 スキップ/表示を指定する CH 指定	H		func	0030	パラメータ1		パラメータ2		パラメータ3														自動切換表示時間＝0はスレーブに設定します。
						0-10		1-16		skipoff skipon	↓													
○	スポット出力設定 MONITOR OUT1端子 OSD オン／オフ 自動切換表示時間スキップ／表示を指定する CH 指定	H		func	0031	パラメータ1		パラメータ2		パラメータ3		パラメータ4		パラメータ5										
						moni1 spot		osd_off osd_on		1-10		1-16		skipoff skipon	↓									
○	チャンネル名表示設定 チャンネル名表示	H		func	0032	パラメータ1																		
						off on																		
○	チャンネル名設定 設定ＣＨ チャンネル名称	H		func	0033	パラメータ1		パラメータ2																パラメータ2は※3参照。 パラメータ2の「ゲンカン」は1扱いです。
						1-16		ゲンカン																

※3　チャンネル名称パラメータについて
- 入力可能文字
  半角文字
  ASCIIコード（0x20～0x7E）の文字。但し、スペース（0x20）、“ ,, ”（0x22）、“ , ”（0x27）を除く（注1）
  ひらがな
  全角文字
  カタカナ　　漢字　　数字
- 入力可能文字数
  全角12文字（半角24文字）

（注1）　0×5Cは、“ ＼ ”ではなく“ ￥ ”を使用　0×7Eは、“ ～ ”ではなく“ － ”を使用

（4）一般メニュー
応答は“ H ”＋スペース＋*RESPONSE*＋“ *CR* ”形式です。

特	機能	コマンド																						備考
	パラメータ説明			コマンド名	機能番号	パラメータ番号																		
○	日時設定 日時 年 月 日 時 分 カウント基準 時刻補正	H		func	0040	パラメータ1		パラメータ2		パラメータ3		パラメータ4		パラメータ5		パラメータ6								記録中は受付られません
						00-99		01-12		01-31		00-23		00-59		acpulse xtal								
						パラメータ7																		
						revise no_revise	↓																	
○	日時設定 タイムアジャスト モード 調時時刻	H		func	0041	パラメータ1		パラメータ2																
						master_mode slave_mode		00-23	↓															
○	モニタ出力表示位置設定 表示位置調整	H		func	0042	パラメータ1																		
						up down right left zoom+ zoom-	↓																	
○	ブザー設定 ワーニング HDDフル アラーム 操作音・カラー	H		func	0043	パラメータ1		パラメータ2		パラメータ3		パラメータ4												
						warbuzz_off warbuzz_on		fullbuzz_off fullbuzz_on		almbuzz_off almbuzz_on		errbuzz_off errbuzz_on												
○	リア端子設定 アラーム入力1論理… アラーム入力8論理 異常探知出力論理	H		func	0044	パラメータ1		パラメータ2		パラメータ3		パラメータ4		パラメータ5		パラメータ6								
						active_short active_open		active_short active_open		active_short active_open		active_short active_open		active_short active_open		active_short active_open								
						パラメータ7		パラメータ8		パラメータ9														
						active_short active_open		active_short active_open		active_short active_open	↓													

RS-232Cの通信仕様（つづき）

（5）リモートメニュー

特	機能	コマンド					備考
	パラメータ説明		コマンド名	機能番号	パラメータ番号		
○	シリアル設定 baudrate　ストップビットパリティ	H	func	0050	パラメータ1 1200 2400 4800 9600 19200	パラメータ2 1 2	パラメータ3 none odd even ↓	
○	ネットワーク設定 ＩＰアドレス　サブネット　デフォルトゲートウェイ	H	func	0060	パラメータ1 0-255 パラメータ7 0-255	パラメータ2 0-255 パラメータ8 0-255	パラメータ3 0-255 パラメータ9 0-255	パラメータ4 0-255 パラメータ10 0-255	パラメータ5 0-255 パラメータ11 0-255	パラメータ6 0-255 パラメータ12 0-255 ↓	
○	ネットワーク設定 ログインＩＤ　パスワード　パスワード再入力	H	func	0061	パラメータ1 account	パラメータ2 000000	パラメータ3 000000 ↓				文字数：6～32 文字種：半角英数記号（0×21-0×7E ただし、0×22、0×27を除く）
○	ＬＡＮ発報設定 発報有無 センタ ＩＰアドレス	H	func	0070	パラメータ1 off on	パラメータ2 0-255	パラメータ3 0-255	パラメータ4 0-255	パラメータ5 0-255		
○	ＬＡＮ発報設定 ログインＩＤ　パスワード　パスワード再入力	H	func	0071	パラメータ1 guest2	パラメータ2 000000	パラメータ3 000000 ↓	パラメータ4 000000 ↓			文字数：3～32 文字種：半角英数記号（0×21-0×7E ただし、0×22、0×27を除く）
○	メール発報設定 発報有無 プライマリ画像収集サーバＩＰアドレス プライマリ画像収集サーバ接続ポート セカンダリ画像収集サーバＩＰアドレス セカンダリ画像収集サーバ接続ポート	H	func	0080	パラメータ1 off normal normal+fixedtime パラメータ7 0-255	パラメータ2 0-255 パラメータ8 0-255	パラメータ3 0-255 パラメータ9 0-255	パラメータ4 0-255 パラメータ10 0-255	パラメータ5 0-255 パラメータ11 1024-65535 ↓	パラメータ6 1024-65535	
○	メール発報設定 ログインＩＤ、パスワード、パスワード再入力	H	func	0081	パラメータ1 guest3	パラメータ2 000000	パラメータ3 000000 ↓				文字数：3～32 文字種：半角英数記号（0×21-0×7E ただし、0×22、0×27を除く）
○	メール発報設定 メールアドレス指定メールアドレス　サイズと種別（携帯PNG,携帯BMP,携帯JPEG,PC_BMP,PC_BMP,PC_JPEG） 発報種別（センサアラーム,非常連動アラーム,機器異常,センサ+非常,センサ+機器,非常+機器,センサ+非常+機器、発報しない）	H	func	0082	パラメータ1 1-3	パラメータ2 メールアドレス	パラメータ3 tel_png tel_bmp tel_jpeg pc_png pc_bmp pc_jpeg	パラメータ4 sensor emergency abnormal sen_eme sen_abn eme_abn sen_eme_abn off			文字数：1～96 文字種：半角英数記号（0×21-0×7E ただし、0×22、0×27を除く）
○	モデム設定 プロバイダ電話番号 ダイヤル方式 発信音検出	H	func	0090	パラメータ1 0312345678	パラメータ2 tone pulse	パラメータ3 yes no ↓				電話番号：1～20文字の半角数字と"-"と","
○	モデム設定 ログインＩＤ、パスワード、パスワード再入力	H	func	0091	パラメータ1 guest4	パラメータ2 000000	パラメータ3 000000 ↓				文字数：3～32 文字種：半角英数記号（0×21-0×7E ただし、0×22、0×27を除く）
○	リモート共通設定 物件名称　補助情報		func	0100	パラメータ1 DS-H300	パラメータ2 03-1234-5678					文字数：1～32 文字種：半角英数記号（0×21-0×7E ただし、0×22、0×27を除く）

4．機器確認コマンド

機器の設定状態をレコーダーのメニュー画面単位で入手します。

（1）記録メニュー

特	機能	コマンド																備考
	パラメータ説明				コマンド名	機能番号名		パラメータ番号										
×	共通設定 リサイクルモード残量警告値	送信 応答	H H		func? func=	1010 1010	↓	パラメータ1 rerec_mode stop_mode		パラメータ2 0-50	↓							
×	グルーピング設定 CH1所属グループ ・・・ CH16所属グループ	送信 応答	H H		func? func=	1011 1011	↓	パラメータ1 a-e,-		パラメータ2 a-e,-		パラメータ3 a-e,-		パラメータ4 a-e,-		パラメータ5 a-e,-		パラメータ6 a-e,-	※1
								パラメータ7 a-e,-		パラメータ8 a-e,-		パラメータ9 a-e,-		パラメータ10 a-e,-		パラメータ11 a-e,-		パラメータ12 a-e,-	
								パラメータ13 a-e,-		パラメータ14 a-e,-		パラメータ15 a-e,-		パラメータ16 a-e,-	↓				
×	一般記録設定 音声　画質 グループA記録間隔・・・ グループE記録間隔	送信 応答	H H		func? func=	1012 1012	↓	パラメータ1 audiooff audioon		パラメータ2 fine standard basic		パラメータ3 spc003 spc010 spc020 spc050 spc1 spc2 spc5 spc10 spc20 spc30 nospc		パラメータ4 spc003 spc010 spc020 spc050 spc1 spc2 spc5 spc10 spc20 spc30 nospc		パラメータ5 spc003 spc010 spc020 spc050 spc1 spc2 spc5 spc10 spc20 spc30 nospc		パラメータ6 spc003 spc010 spc020 spc050 spc1 spc2 spc5 spc10 spc20 spc30 nospc	
								パラメータ7 spc003 spc010 spc020 spc050 spc1 spc2 spc5 spc10 spc20 spc30 nospc										
×	タイマー記録　プログラム部設定 送信：プログラム番号 応答：プログラム番号 開始時 開始分 終了時 終了分 音声 グループA記録間隔 ・・・グループE記録間隔	送信 応答	H H		func? func=	1014 1014		パラメータ1 1-7 1-7		パラメータ2 00-23		パラメータ3 00-59		パラメータ4 00-23		パラメータ5 00-59		パラメータ6 audioon audiooff	
								パラメータ7 spc003 ・・・ spc30 nospc		パラメータ8 spc003 ・・・ spc30 nospc		パラメータ9 spc003 ・・・ spc30 nospc		パラメータ10 spc003 ・・・ spc30 nosp		パラメータ11 spc003 ・・・ spc30 nospc	↓		

RS-232Cの通信仕様（つづき）

特	機能	コマンド																		備考
	パラメータ説明				コマンド名	機能番号名		パラメータ番号												
×	タイマー記録　曜日部設定 送信：曜日 応答：曜日　プログラム番号　画質　プログラム 画質	送信 応答	H H		func? func=	1015 1015	↓	パラメータ1 sun ・・・ sat sun mon tue wed thu fri sat		パラメータ2 0-7		パラメータ3 fine standard basic		パラメータ4 0-7		パラメータ5 fine standard basic	↓			プログラム指定で０は指定無しの意味
×	非常連動記録設定 音声 画質 プリ記録間隔（固定）ポスト記録間隔 プリ記録時間 ポスト記録時間 記録CH・・・記録CH	送信 応答	H H		func? func=	1017 1017		パラメータ1 audioon audiooff		パラメータ2 fine standard basic		パラメータ3 spc1		パラメータ4 spc003 spc010 spc020 spc050 spc1 spc2 spc5 spc10 spc20 spc30		パラメータ5 0 30 60 120 180		パラメータ6 10 15 20 30 60 120 180 300 600 1800		記録ＣＨ＝０は指定無しの意味。
								パラメータ7 0-16		パラメータ8 0-16		パラメータ9 0-16		パラメータ10 0-16		パラメータ11 0-16		パラメータ12 0-16	↓	
×	センサ連動記録 記録設定 音声 画質 プリ記録間隔（固定） ポスト記録間隔 プリ記録時間 ポスト記録時間	送信 応答	H H		func? func=	1018 1018	↓	パラメータ1 audioon audiooff		パラメータ2 fine standard basic		パラメータ3 spc1		パラメータ4 spc003 spc010 spc020 spc050 spc1 spc2 spc5 spc10 spc20 spc30		パラメータ5 0 5		パラメータ6 10 15 20 30 60 120 180 300 600 1800		
×	センサ連動記録 記録ＣＨ設定 送信：センサ番号 応答：センサ番号　CH1を記録/記録しない・・・ＣＨ16記録/記録しない（1：記録　0：記録しない）	送信 応答	H H		func? func=	1019 1019		パラメータ1 2-8 2-8	↓	パラメータ2 0-1		パラメータ3 0-1		パラメータ4 0-1		パラメータ5 0-1		パラメータ6 0-1		
								パラメータ7 0-1		パラメータ8 0-1		パラメータ9 0-1		パラメータ10 0-1		パラメータ11 0-1		パラメータ12 0-1		
								パラメータ13 0-1		パラメータ14 0-1		パラメータ15 0-1		パラメータ16 0-1		パラメータ17 0-1				

特	機能	コマンド																			備考
	パラメータ説明				コマンド名	機能番号名		パラメータ番号													
×	センサ連動記録　時間帯指定設定確認（曜日設定） 送信：プログラム 応答：プログラム、曜日毎の指定 日～土（1：有、0：無）、開始時分、終了時分	送信 応答	H H		func? func=	1020 1020		パラメータ1 1-2 1-2	↓	パラメータ2 0-1		パラメータ3 0-1		パラメータ4 0-1		パラメータ5 0-1		パラメータ6 0-1			
								パラメータ7 0-1		パラメータ8 0-1		パラメータ9 00-24		パラメータ10 00-59		パラメータ11 00-24		パラメータ12 0-59	↓		
×	センサ連動記録 時間帯指定設定確認（期間設定） 開始 年 月 日 時 分 終了 年 月 日 時 分 検知状態（検知、非検知、未設定）	送信 応答	H H		func? func=	1021 1021		パラメータ1 00-99		パラメータ2 01-12		パラメータ3 01-31		パラメータ4 00-24		パラメータ5 0-59		パラメータ6 00-99			
								パラメータ7 01-12		パラメータ8 01-31		パラメータ9 00-24		パラメータ10 00-59		パラメータ11 tz_active tz_disactive tz_non	↓				
×	遠隔モニタリング設定 CH1をモニタリングする/しない（1：する、0：しない）・・・ CH16をモニタリングする/しない	送信 応答	H H		func? func=	1022 1022	↓	パラメータ1 0-1		パラメータ2 0-1		パラメータ3 0-1		パラメータ4 0-1		パラメータ5 0-1		パラメータ6 0-1			
								パラメータ7 0-1		パラメータ8 0-1		パラメータ9 0-1		パラメータ10 0-1		パラメータ11 0-1		パラメータ12 0-1			
								パラメータ13 0-1		パラメータ14 0-1		パラメータ15 0-1		パラメータ16 0-1							

※1　グループ設定確認について
・グループに登録されていない場合、“ ー ”を返します。

（2）スイッチャーメニュー

特	機能	コマンド													備考
	パラメータ説明				コマンド名	機能番号名	パラメータ番号								
×	スイッチャー設定 自動切換時間　スキップ/表示を指定するCH　指定	送信 応答	H H		func? func=	1030 1030	↓	パラメータ1 0-10		パラメータ2 skipon skipoff no_video		パラメータ3 skipon skipoff no_video		パラメータ4 skipon skipoff no_video		パラメータ5 skipon skipoff no_video		パラメータ6 skipon skipoff no_video		自動切換時間＝0はスレーブ
								パラメータ7 skipon skipoff no_vide		パラメータ8 skipon skipoff no_vide		パラメータ9 skipon skipoff no_video		パラメータ10 skipon skipoff no_video		パラメータ11 skipon skipoff no_video		パラメータ12 skipon skipoff no_video		
								パラメータ13 skipon skipoff no_vide		パラメータ14 skipon skipoff no_vide		パラメータ15 skipon skipoff no_video		パラメータ16 skipon skipoff no_video		パラメータ17 skipon skipoff no_video				
×	スポット出力設定 MONITOR OUT1端子　自動切換時間 スキップ/表示を指定するCH　指定	送信 応答	H H		func? func=	1031 1031	↓	パラメータ1 moni1 spot		パラメータ2 osd_off osd_on		パラメータ3 1-10		パラメータ4 skipon skipoff no_video		パラメータ5 skipon skipoff no_video		パラメータ6 skipon skipoff no_video		
								パラメータ7 skipon skipoff no_vide		パラメータ8 skipon skipoff no_vide		パラメータ9 skipon skipoff no_video		パラメータ10 skipon skipoff no_video		パラメータ11 skipon skipoff no_video		パラメータ12 skipon skipoff no_video		
								パラメータ13 skipon skipoff no_vide		パラメータ14 skipon skipoff no_vide		パラメータ15 skipon skipoff no_video		パラメータ16 skipon skipoff no_video		パラメータ17 skipon skipoff no_video		パラメータ18 skipon skipoff no_video		
								パラメータ19 skipon skipoff no_video												
×	チャンネル名設定 チャンネル名表示	送信 応答	H H		func? func=	1032 1032	↓	パラメータ1 off on	↓											パラメータ2※1
×	チャンネル名設定 設定CH チャンネル名称	送信 応答	H H		func? func=	1033 1033		パラメータ1 1-16 1-16		パラメータ2 ゲンカン										

※1　チャンネル名称パラメータについて
機器設定設定のチャンネル名設定の※3を参照ください。

（3）一般メニュー

特	機能	コマンド																	備考
	パラメータ説明				コマンド名	機能番号名		パラメータ番号											
×	日時設定 日時年月日時分秒 カウント基準 時刻補正	送信 応答	H H		func? func=	1040 1040	↓	パラメータ1 00-99		パラメータ2 01-12		パラメータ3 01-31		パラメータ4 00-23		パラメータ5 00-59		パラメータ6 00-59	
								パラメータ7 acpulse xtal		パラメータ8 revise no_revise	↓								
×	日時設定 タイムアジャスト モード 調時時刻	送信 応答	H H		func? func=	1041 1041	↓	パラメータ1 master_mode slave_mode		パラメータ2 0-23	↓								
×	モニタ出力表示位置設定　垂直位置、 水平位置、縮小率	送信 応答	H H		func? func=	1042 1042	↓	パラメータ1 0-12		パラメータ2 0-17		パラメータ3 0-17	↓						
×	ブザー設定 ワーニング　HDDフル　アラーム　操作音・エラー	送信 応答	H H		func? func=	1043 1043	↓	パラメータ1 warbuzz_off warbuzz_on		パラメータ2 fullbuzz_off fullbuzz_on		パラメータ3 almbuzz_off almbuzz_on		パラメータ4 errbuzz_off errbuzz_on	↓				
×	リア端子設定 アラーム入力1論理・・・アラーム入力8論理　異常検知出力論理	送信 応答	H H		func? func=	1044 1044		パラメータ1 active_short active_open		パラメータ2 active_short active_open		パラメータ3 active_short active_open		パラメータ4 active_short active_open		パラメータ5 active_short active_open		パラメータ6 active_short active_open	
								パラメータ7 active_short active_open		パラメータ8 active_short active_open		パラメータ9 active_short active_open							

RS-232Cの通信仕様（つづき）

（4）リモートメニュー

特	機能	コマンド																						備考
	パラメータ説明				コマンド名	機能番号名		パラメータ番号																
×	シリアル設定 baudrate　ストップビットパリティ	送信 応答	H H		func? func=	1050 1050	↓	パラメータ1 1200 2400 4800 9600 19200		パラメータ2 1 2		パラメータ3 none odd even	↓											
×	ネットワーク設定 ＩＰアドレス　サブネット　デフォルトゲートウェイ	送信 応答	H H		func? func=	1060 1060	↓	パラメータ1 192 パラメータ7 255		パラメータ2 168 パラメータ8 0		パラメータ3 0 パラメータ9 192		パラメータ4 1 パラメータ10 168		パラメータ5 255 パラメータ11 0		パラメータ6 255 パラメータ12 254	↓					
×	ＬＡＮ発報設定 発報有無 センタIPアドレス	送信 応答	H H		func? func=	1070 1070	↓	パラメータ1 off on		パラメータ2 192		パラメータ3 168		パラメータ4 0		パラメータ5 100	↓							
×	メール発報設定 発報有無　プライマリ画像収集サーバＩＰアドレス プライマリ画像収集サーバ接続ポート セカンダリ画像収集サーバＩＰアドレス セカンダリ画像収集サーバ接続ポート	送信 応答	H H		func? func=	1080 1080	↓	パラメータ1 off normal normal+fixedtime パラメータ7 0-255		パラメータ2 0-255 パラメータ8 0-255		パラメータ3 0-255 パラメータ9 0-255		パラメータ4 0-255 パラメータ10 0-255		パラメータ5 0-255 パラメータ11 1024-65535	↓	パラメータ6 1024-65535						
×	メール発報設定 メールアドレス　サイズと種別（携帯PNG,携帯BMP,携帯JPEG,PC_BMP,PC_JPEG）発報種別（センサアラーム,非常連動アラーム,機器異常,センサ+非常,センサ+機器,非常+機器,センサ+非常+機器,発報しない）	送信 応答	H H		func? func=	1082 1082		パラメータ1 1-3 1-3	↓	パラメータ2 “メールアドレス”		パラメータ3 tel_png tel_bmp tel_jpeg pc_png pc_bmp pc_jpeg		パラメータ4 sensor emergency abnormal sen_eme sen_abn eme_abn sen_eme_abn off	↓							メールアドレス： 文字数：1～96 文字種：半角英数記号 （0×21－0×7E、ただし、0×22、0×27を除く）
×	モデム設定 プロバイダ電話番号 ダイヤル方式　発信音検出	送信 応答	H H		func? func=	1090 1090	↓	パラメータ1 0312345678		パラメータ2 tone pulse		パラメータ3 yes no	↓											電話番号：1～20文字の半角数字と"-"と","
×	リモート共通設定 物件名称　補助情報	送信 応答			func? func=	1100 1100	↓	パラメータ1 DS-H300		パラメータ2 03-1234-5678														文字数：1～32 文字種：半角英数記号 （0×21－0×7E、ただし、0×22、0×27を除く）

5．特権モードログイン

特権モードでログインします。

特	機能 / パラメータ説明		コマンド名	パラメータ番号				備考
×	特権モード　ログイン ＩＤ、パスワード	送信	plogin	パラメータ1 guest1	パラメータ2 000000 ↓	パラメータ3	パラメータ4	※1
		応答	ERROR01 ERROR02 ERROR03 PRIVILEGE_MODE NORMAL_MODE					
×	特権モード ログアウト	送信	plogout ↓					
		応答	ERROR01 ↓ ERROR02 ERROR03 NORMAL_MODE					
○	特権モード　ログインパスワード変更			パラメータ1	パラメータ2	パラメータ3		
	ID、新パスワード、新パスワード再入力	送信	plogin_password	guest2	000000	000000 ↓		
		応答	RESPONSE ↓					

※1　リモート操作を制限するため、コマンドには特権モード時のみ受け付けるコマンドと、常時受け付けるコマンドがあります。

・ID／パスワード
　文字数：6～32
　文字種：半角数字記号（0×21－0×7D 但し0×22、0×27を除く）

・特権モードになってから、1分間コマンド入力がない場合は通常モードになります。

6．機種情報

機種情報を入手し、操作する機種を確認した上で各種コマンドを入力してください。

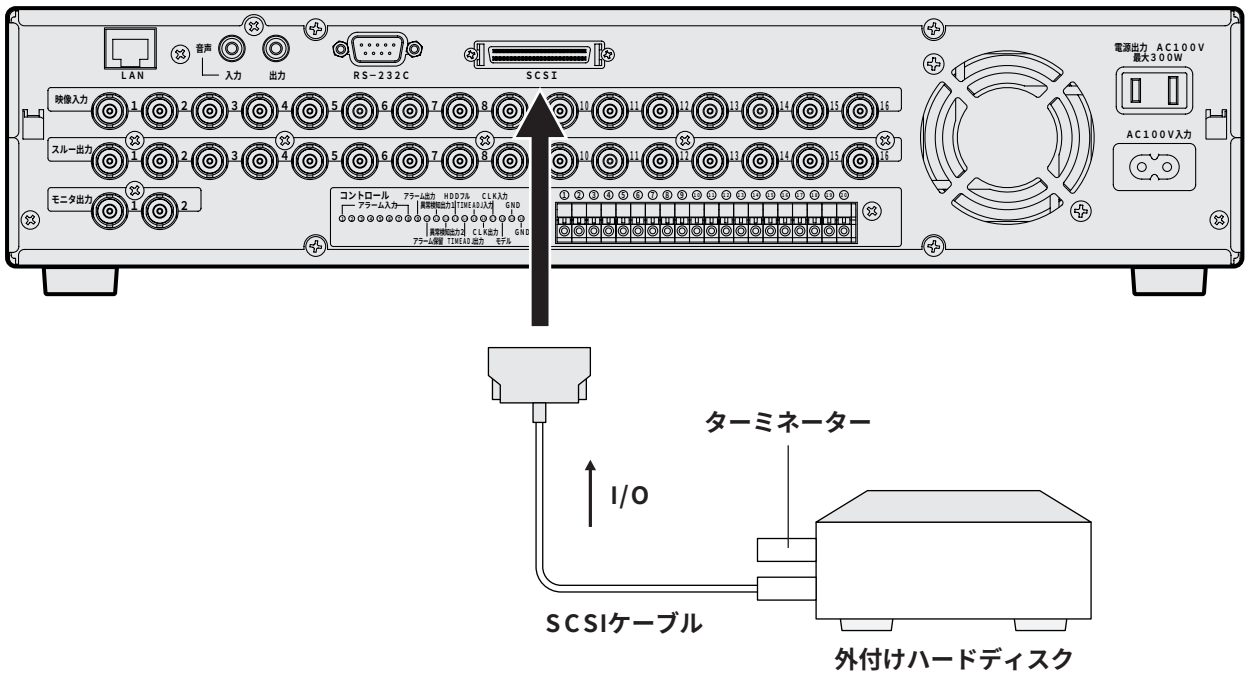
特	機能 / パラメータ説明		コマンド名	パラメータ番号				備考
×	機種情報確認 機種名　コマンドセットバージョン 最大入力チャンネル数	送信	model?	パラメータ1	パラメータ2	パラメータ3	パラメータ4	文字数：1～16 文字種：半角英数字記号 （0×21－0×7E ただし0×22、0×27は除く）
		応答	modeo=	DS-H300	0000-9999	1-16 ↓		

外付けハードディスクの増設について

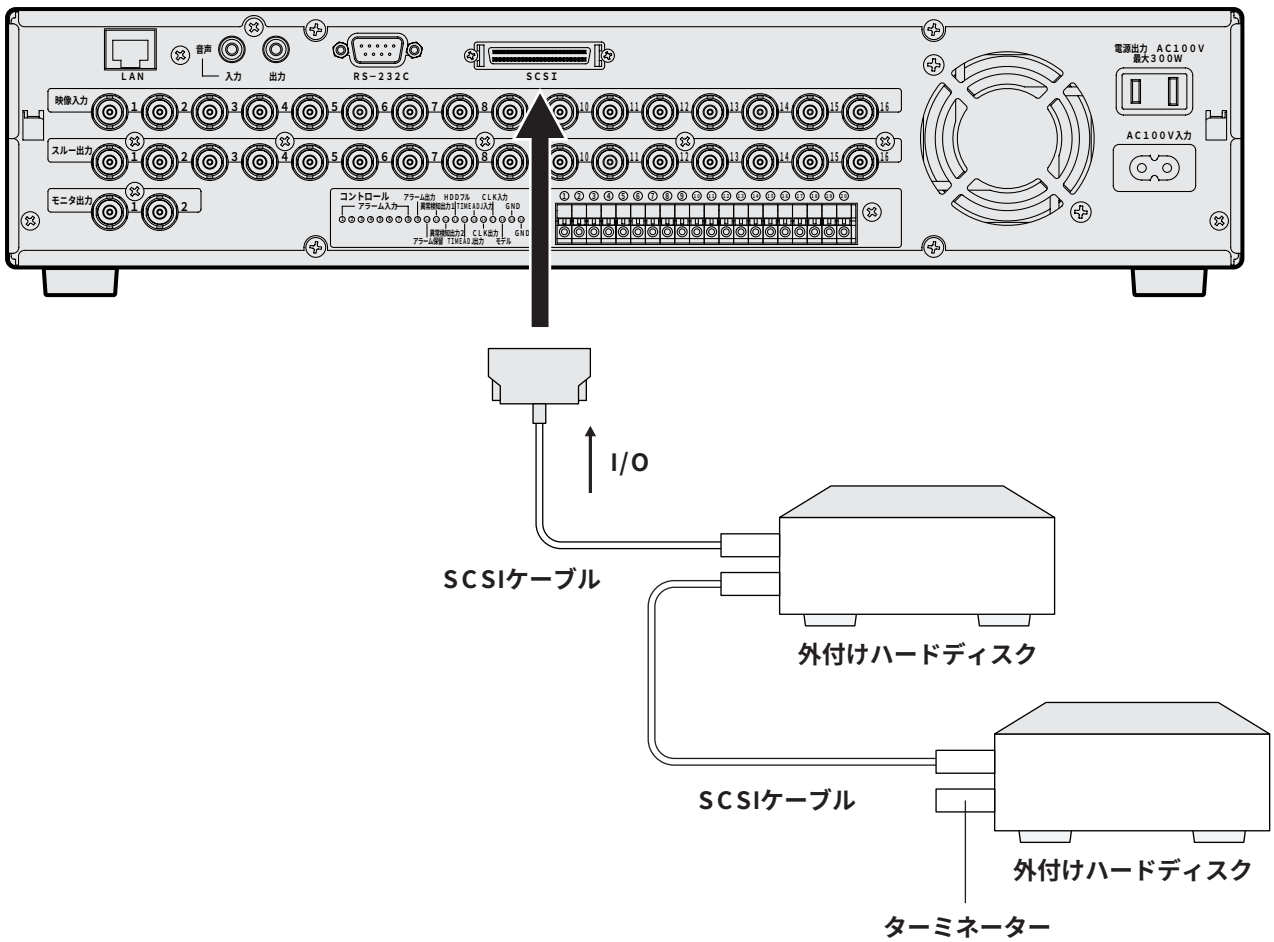
外付けハードディスクを増設する場合は、営業または販売店にお問い合わせください。

- ハードディスクは推奨品に限ります。
- 最大6台まで、増設できます。
- SCSI IDは1～6を設定ください。同じ番号を2つ以上つけることはできません。
- 接続した最後尾のハードディスクにはターミネーターをつけてください。

・使用する外部記録機器が一台だけの場合



・使用する外部記録機器が複数台の場合



お知らせ

- あるDS-H300で記録した外付けハードディスクを他のDS-H300で再生することができます。
- 外付けのハードディスクのみで記録することもできます。（DS-H300本体に内蔵されているハードディスクは使用しません。）（このとき、非常連動のプリ記録はできません。）

メニュー（設定）の全体構成

メインメニュー

- 各種設定のメインとなるメニュー画面です。 74～75

記録メニュー

- 記録について、各種設定を選択する画面です。 76～94

共通設定

- リサイクルモードや残量警告を設定する画面です。 76～77

グルーピング設定

- 接続中のカメラをグループに登録する画面です。 78～79

一般記録設定

- 通常の記録設定をする画面です。 80～81

タイマー記録設定

- タイマー記録の予約設定をする 82～84

非常連動記録設定

- コントローラーで検出したアラーム信号に連動して記録する場合の設定をする画面です。 85～86

センサ連動記録設定

- アラーム入力2～8に連動して記録する場合の設定をする画面です 87～88

記録CH選択設定

- 記録するチャンネルを設定する画面です。 89～90

遠隔モニタリング設定

- 遠隔のモニタリングを設定する画面です。 93～94

時間帯指定設定

- アラームを受けつける時間帯を設定する画面です。 91～92

スイッチャーメニュー

- スイッチャーについて各種設定を選択する画面です。 95～100

スイッチャー設定

- 自動切換表示時間とチャンネルスキップを設定する画面です。 95～96

スポット出力設定

- スポット出力設定を行なう画面です。 97～98

チャンネル名設定

- チャンネル名の表示／非表示とチャンネル名を設定する画面です。 99～100

一般メニュー

- 日時などの一般項目について、各種設定を選択する画面です。 101～107

日時設定

- 日時を設定する画面です。 101～102

モニタ出力表示位置設定

- モニタ出力表示位置を設定する画面です。 103

リア入出力設定

- リア入出力の設定をする画面です。 104～105

ブザー設定

- ブザー音のオン・オフを設定する画面です。 106～107

リモートメニュー

- リモート機能について、各種設定を選択する画面です。 108～120

シリアル設定（RS-232C通信仕様）

- RS-232Cの通信仕様の設定です。 108～109

ネットワーク設定

- ネットワークに関する設定を行なう画面です。 110～111

LAN発報設定

- LAN発報に関する設定をする画面です。 112～113

リモート共通設定

- リモートに関する共通設定の画面です。 119～120

メール発報設定

- メール発報に関する設定をする画面です。 114～116

発報先メールアドレス設定

- 発報先のメールアドレスを設定する画面です。 115～116

モデム設定

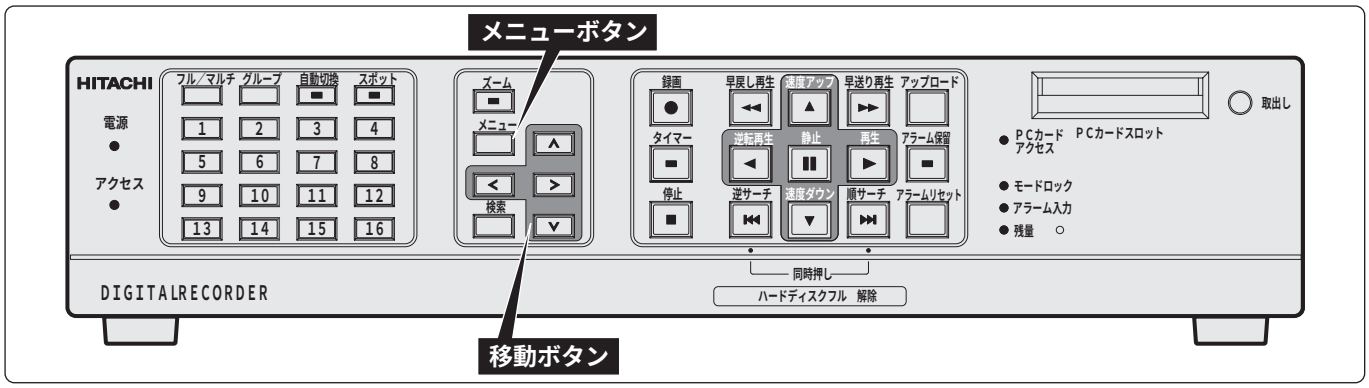
- モデムに関する設定を行なう画面です。 117～118

フォーマットメニュー

- ハードディスクの登録／PCカードの初期化を行なう画面です。 121～123

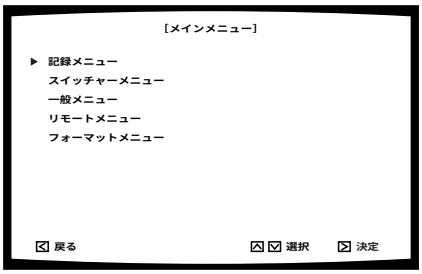
基本操作説明（メインメニュー）

接続機器に合わせて設定を変えたり、本機の動作を変えたいときは、最初にメニューを表示させてください。
メニューは各項目を設定するときの入口になります。
下記はメニューから、各項目へ移る基本操作です。各項目の詳しい設定方法は各ページの設定内容をご覧ください。



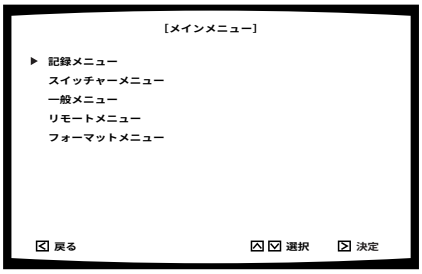
1 メニューボタンを押して決定する

- モニター画面上にメインメニュー画面が表示されます。



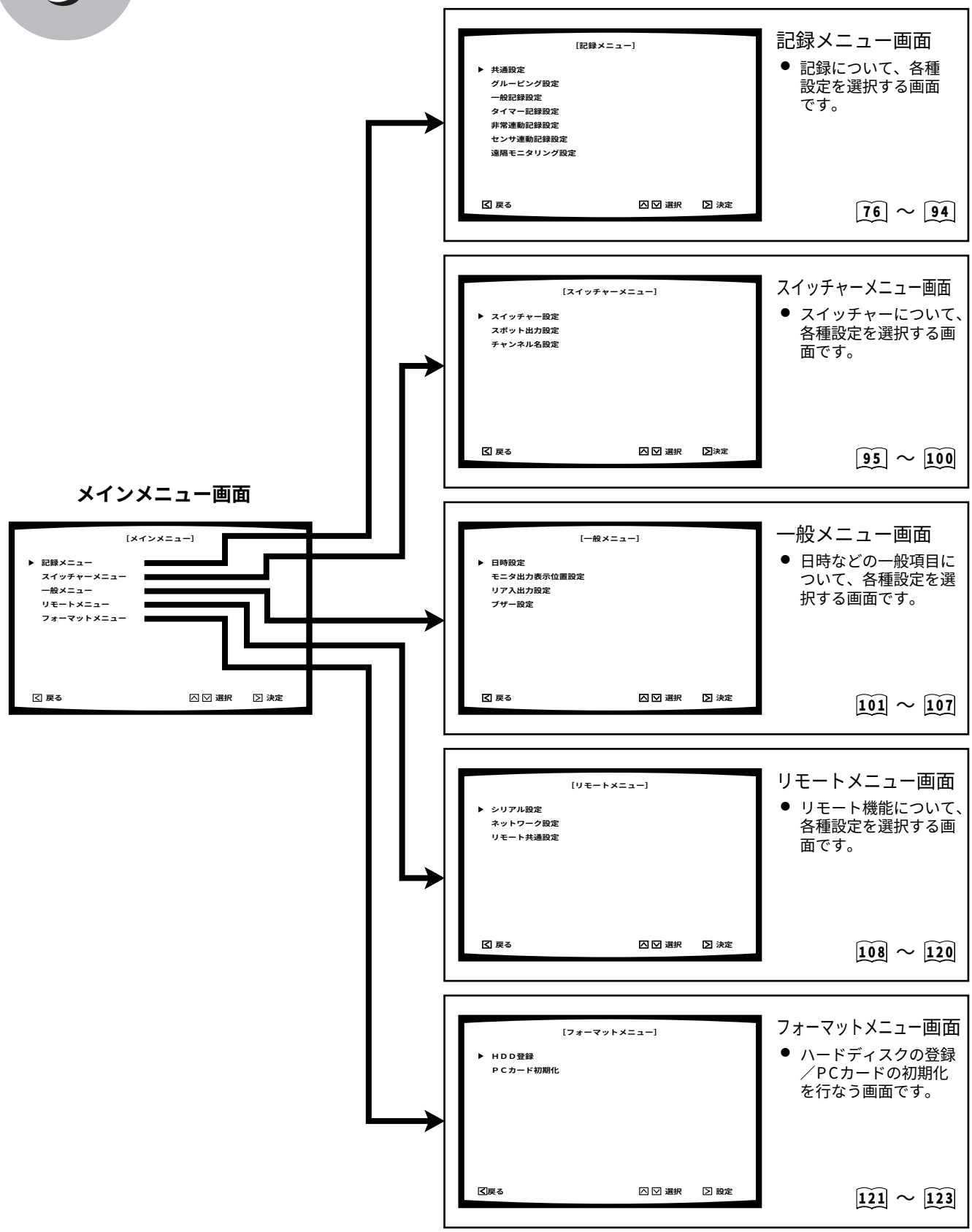
2 移動ボタン（∧または∨）を押して、カーソル「▶」を設定したい項目が含まれている行に合わせる

- 移動ボタン（ ∧ または ∨ ）を押すたびに左端のカーソル「▶」が上下します。
- カーソル「▶」が最後の行を指しているときに移動ボタン（∨）を押すと、カーソル「▶」は最初の行に戻ります。
- カーソル「▶」が最初の行を指しているときに移動ボタン（∧）を押すと、カーソル「▶」は最後の行に戻ります。



3 移動ボタン(>)を押す

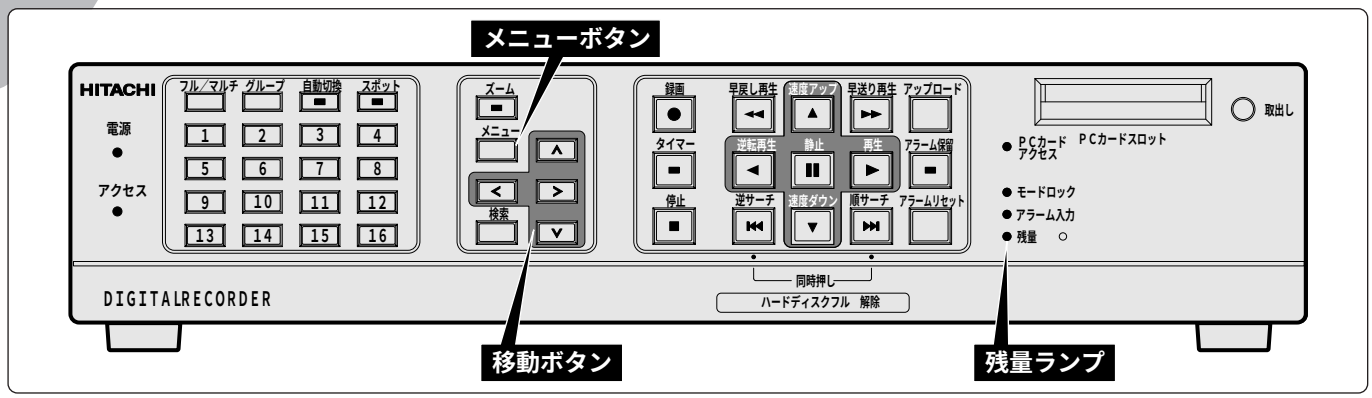
●手順❷で選んだ項目のメニュー画面(5種類)に切り換わります。



お知らせ

- 設定した内容は、メインメニューを終了させたときに保存されます。
  メインメニュー終了前に電源を切ると、変更した内容は保存されません。
- メニュー表示中に3分以上無操作で放置すると、自動的にメニューが解除されます。手順3に表示しているメニューの時にメニューが自動解除された場合、それまでに設定した内容は保存されていますが、手順3で表示しているメニューより下層のメニューで自動解除された場合には、それまでの設定は消去されます。

記録の設定をする



リサイクルモード

ハードディスク上に記録エリアがなくなった場合の動作のことをリサイクルモードと呼び、「STOP」と「RE-REC」の2種類から選択できます。

STOP　：ハードディスクの記録エリアがなくなった場合、記録を自動的に止めます。自動停止後はハードディスクフル解除※1操作を行わないと録画を再開できません。記録済み映像を上書きしたくない場合に使用します。

RE-REC　：ハードディスクの記録エリアがなくなったら、一番古いデータから上書きを行い記録を続けます。

リサイクルモードの設定をRE-RECからSTOPに切り換えると自動的にハードディスクフルリセットが実行されます。

残量警告

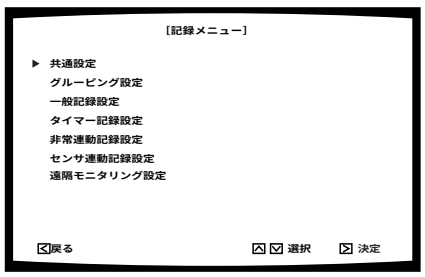
リサイクルモードが「STOP」に設定されているとき、ハードディスクの残量が設定した残量設定値以下になると残量ランプが点滅します。ハードディスクの残量が、0%になると、残量ランプは点灯します。残量ランプが点灯した場合は、ハードディスクフル解除操作を行うか、リサイクルモードを「RE-REC」に設定しないと録画することができません。

※1ハードディスクフル解除
順サーチボタンと逆サーチボタンを同時に押してください。ハードディスクの残量を強制的に100%に戻します。

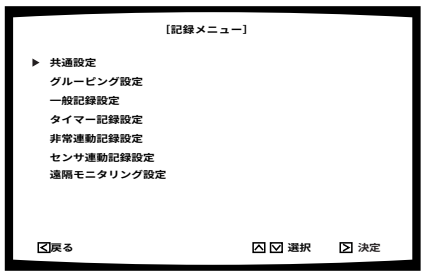
リサイクルモードと残量警告の設定

1 記録メニュー画面を表示する

- 74、75ページの手順❶～❸を操作して記録メニューを選択してください。

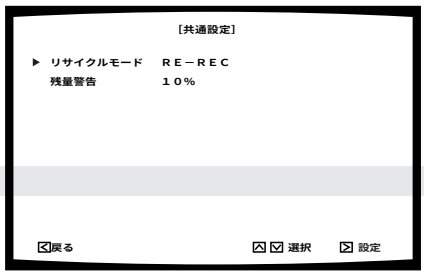


2 移動ボタン（∧または、∨）でカーソル（▶）を操作して共通設定を選び、移動ボタン（>）を押す



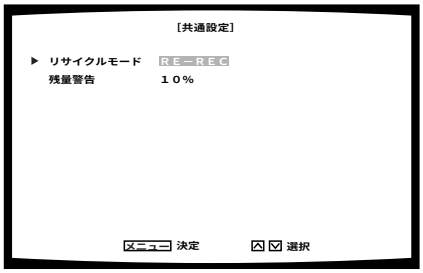
3 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してリサイクルモードを選び、移動ボタン（>）を押す

- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。



4 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してリサイクルモードを選ぶ

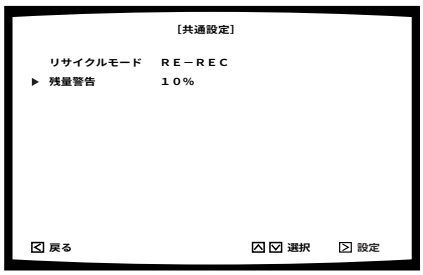
- 移動ボタン（∧または∨）で「STOP」または「RE-REC」を選びます。



5 メニューボタンを押して決定する

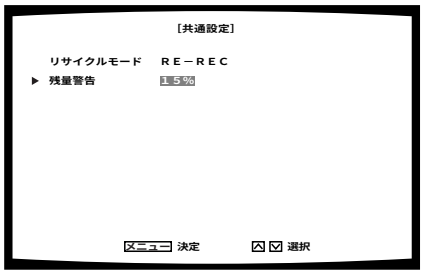
6 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して残量警告を選び、移動ボタン（>）を押す

- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。



7 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して残量警告を選ぶ

- 移動ボタン（∧または∨）で、残量警告値を選びます。
  移動ボタンを押すたびに、表示が次のように変わります。



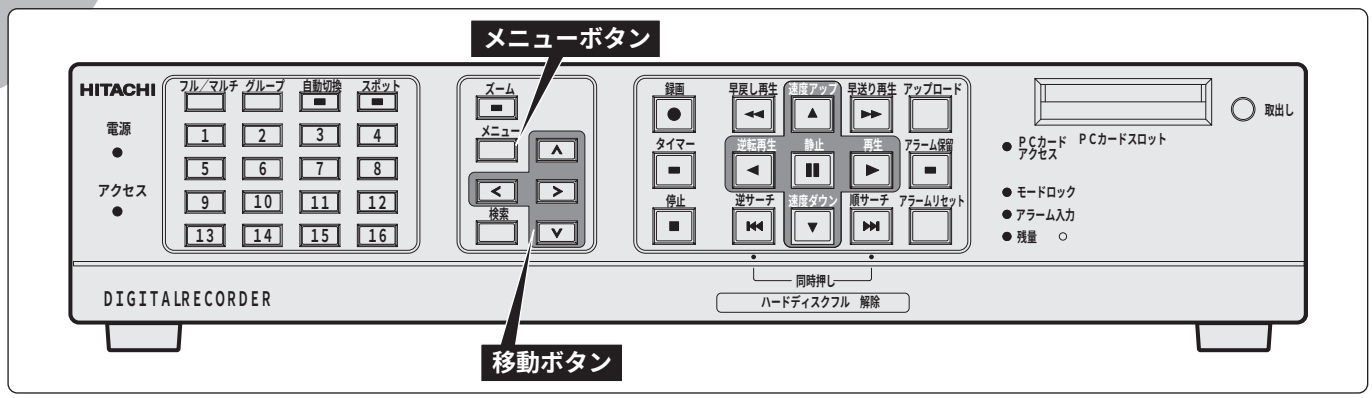
1〜10 ↔ 15 ↔ 20 ↔ 25 ↔ 30
↕
50 ↔ 45 ↔ 40 ↔ 35

8 メニューボタンを押して決定する

9 移動ボタン（<）を押す

- 記録メニュー画面に戻ります。

お知らせ
- 設定した内容は、メインメニューを終了させたときに保存されます。
  メインメニュー終了前に電源を切ると、変更した内容は保存されません。

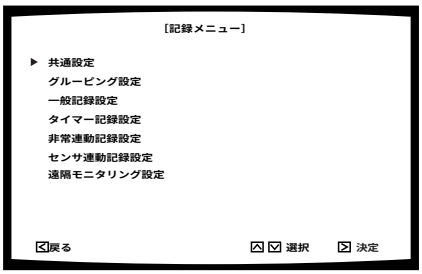


グルーピングの設定

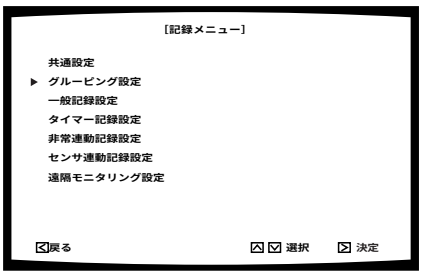
記録するチャンネルを最大5つのグループ（A〜E）に分けて記録することができます。このグループに分けることをグルーピングと呼びます。各チャンネルは、各グループに重複して登録することはできません。グループ登録されていないチャンネルは記録できませんので、必ず、どれかのグループに登録する必要があります。

1 記録メニュー画面を表示する

- 74、75ページの手順❶〜❸を操作して記録メニューを選択してください。

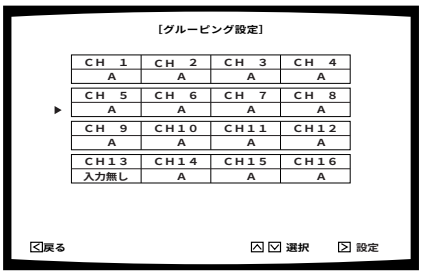


2 移動ボタン(∧または∨）でカーソル（▶）を操作してグルーピング設定を選び、移動ボタン（>）を押す



3 移動ボタン(∧または∨）でカーソル（▶）を操作して変更するグループのCHが含まれる行を選び、移動ボタン（>）を押す

- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。

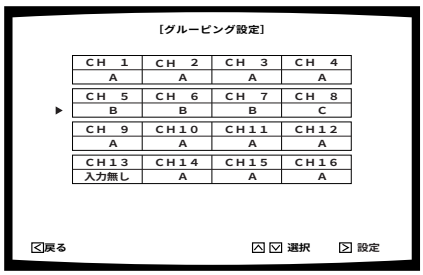


4 移動ボタンでグループを選ぶ

- 移動ボタン（<または>）でCH間を移動します。
- 移動ボタン（∧または∨）でグループを選びます。グループは、A〜Eまで選ぶことができます。
- 入力がないCHは、自動的に「入力無し」が表示されます。

5 メニューボタンを押して決定する

6 手順❸～❺をくり返し、他のCHも同様にグループを選ぶ



7 移動ボタン（<）を押す

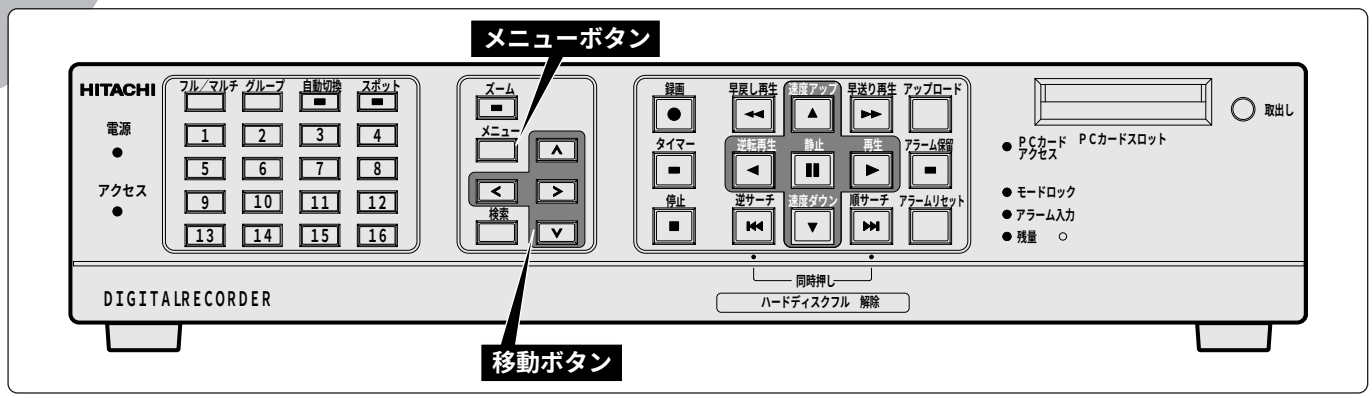
- 記録メニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 設定した内容は、メインメニューを終了させたときに保存されます。
  メインメニュー終了前に電源を切ると、変更した内容は保存されません。
- 記録間隔の合計が秒30コマを超えています
  一般記録設定の記録間隔を見直して下さい
  はい：［>］
  が表示された場合

  移動ボタン（>）を押すと、一般記録設定の画面が表示されます。記録間隔の合計が、秒30コマを超えないように設定を修正してください。
- 記録間隔の合計が秒30コマを超えています
  タイマー記録設定の記録間隔を見直して下さい
  はい：［>］
  が表示された場合

  移動ボタン（>）を押すと、タイマー記録設定の画面が表示されます。記録間隔の合計が、秒30コマを超えないように設定を修正してください。

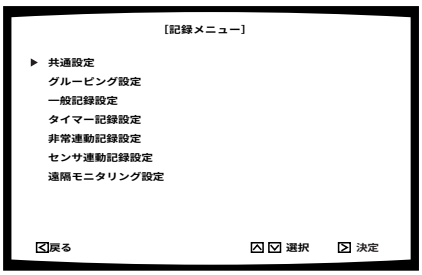


一般記録の設定

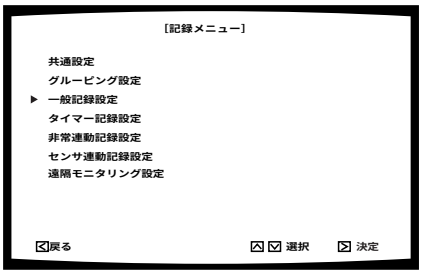
録画ボタン操作で行う記録のことを、一般記録と呼びます。

1 記録メニュー画面を表示する

- 74、75ページの手順❶～❸を操作して記録メニューを選択してください。

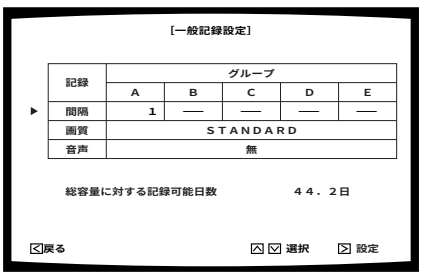


2 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して一般記録設定を選び、移動ボタン（>）を押す



3 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して間隔を選び、移動ボタン（>）を押す

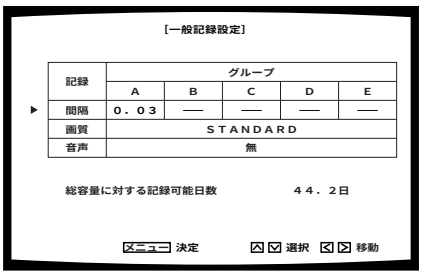
- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。



4 移動ボタンで記録する間隔を選ぶ

- 移動ボタン（<または>）でグループ間を移動します。
- 移動ボタン（∧または∨）で記録間隔を選びます。

記録無し ↔ 0.03 ↔ 0.10 ↔ 0.20 ↔ 0.50
↔ 30 ↔ 20 ↔ 10 ↔ 5 ↔ 2 ↔ 1



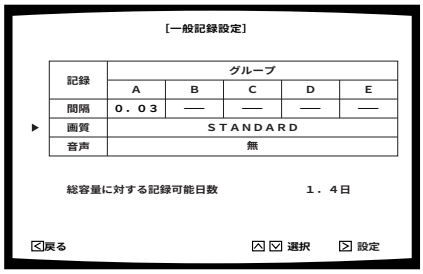
- 「－」表示されているグループは、グルーピングの設定で1つのチャンネルも登録されていないグループを表します。「－」表示されているグループの間隔を選ぶことはできません。
- 設定できる記録間隔は、各グループの合計が秒30コマまでです。記録間隔と1秒に記録できるコマ数の関係は下記のようになります。

項目	設定値									
記録間隔(S)	0.03	0.10	0.20	0.50	1	2	5	10	20	30
コマ数	30	10	5	2	1	1/2	1/5	1/10	1/20	1/30

5 メニューボタンを押して決定する

6 手順❸～❺をくり返し、同様に画質、音声記録の有無を設定する

- 画質はすべてのグループで同じ設定になります。
- 音声入力端子は1つのため、有無のみの設定になります。



項　目	設　定　値
画　　質	FINE(SIZE 704×480,50KB) ↔ STANDARD(SIZE 704×480,35KB) ↔ BASIC (SIZE 352×240,15KB)
音声記録	有 ↔無

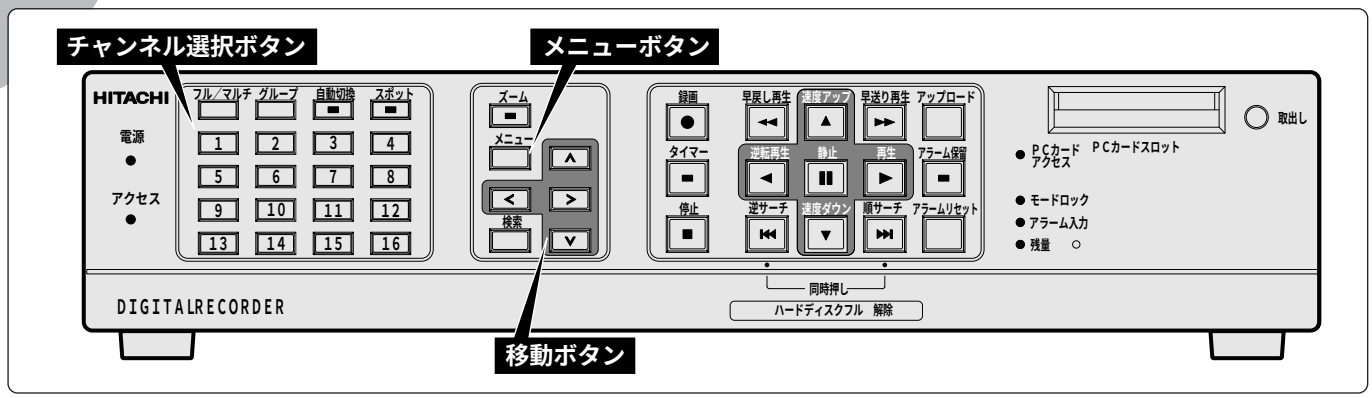
お知らせ
- 音声記録を「無」にすると、ハードディスクに記録できる時間を長くすることができます。音声入力端子に音声を入力しない場合は「無」を選んでください。

7 移動ボタン（<）を押す

- 記録メニュー画面に戻ります。

お知らせ
- 「一般記録＋非常連動＋センサ連動＋遠隔モニタリングの記録間隔の合計が秒30コマを超えています」と表示された場合。
  設定した記録間隔が秒30コマを超えていると、上記メッセージが表示され記録メニューへ戻れません。記録間隔の設定をやり直してください。
- 非常連動記録設定、センサ連動記録設定で、プリ記録時間が0秒以外に設定されていると、非常連動記録、センサ連動記録で記録されるチャンネルには、1チャンネル当たり、秒1コマが割り当てられます。ただし、一般記録で記録するチャンネルと非常連動記録、センサ連動記録で記録するチャンネルが重複している場合は、秒1コマが割り当てられません。（一般記録での記録間隔が優先されます。）遠隔モニタリング設定で「有」を選んだチャンネルには、1チャンネル当たり、秒1コマが割り当てられます。設定をやり直す場合は、上記を考慮してやり直してください。
- 一般記録設定画面中の記録可能日数は設定されているリサイクルモードによって、下記の2種類があります。
  STOP：「総残量に対する記録可能日数」
  ハードディスク残量が0%になるまでの日数を表示します。
  RE-REC：「総容量に対する記録可能日数」
  上書きせずに記録できる日数を表示します。
  表示される日数は見積もりであり、保証値ではありません。また、使用部品の動作信頼性を保証する値ではありません。
- 記録中は、「現在記録中のため設定できません」と表示され、一般記録設定に入れません。
- 設定した内容は、メインメニューを終了させたときに保存されます。メインメニュー終了前に電源を切ると、変更した内容は保存されません。

タイマー記録の設定をする



タイマー記録の設定

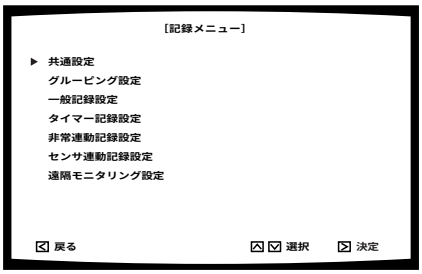
タイマー記録の設定では

時間帯を、7プログラム設定することができます。記録グループは、プログラムごとに設定できます。記録間隔は、プログラムの記録グループごとに設定できます。動作させるプログラムは、曜日ごとに2パターン設定できます。また、画質はパターンごとに設定できます。

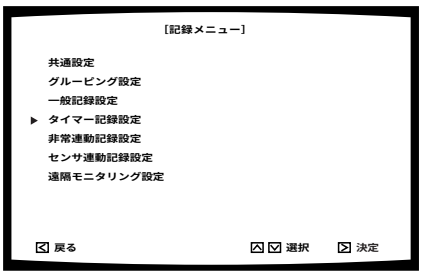
プログラムの設定

1 記録メニュー画面を表示する

- 74、75ページの手順❶～❸を操作して記録メニューを選択してください。

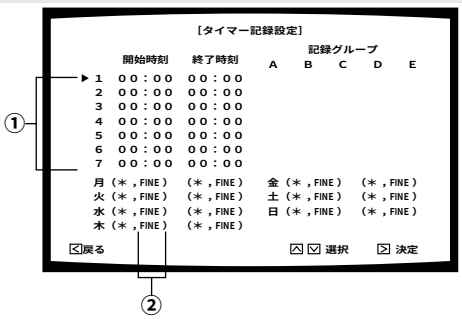


2 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してタイマー記録設定を選び、移動ボタン（>）を押す

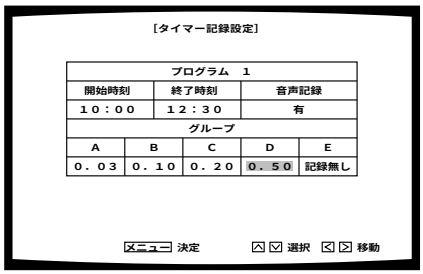


3 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して登録するプログラムを選び、移動ボタン（>）を押す

- 移動ボタン（>）を押したあと、画面が切り換わり設定値が白黒反転表示します。
  ①…プログラム番号
  ②…画質



4 チャンネル選択ボタン（1～10）および移動ボタンで開始時刻、終了時刻、音声記録、各グループの記録間隔を選定する



- チャンネル選択ボタンで時刻を設定します。
- 移動ボタン（＜または＞）で項目間を移動します。
- 移動ボタン（∧または∨）で音声記録、記録間隔の設定値を選びます。

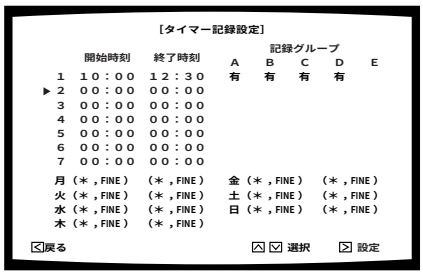
項　目	設　定　値
開始、終了時刻	00：00～24：00
音声記録	有 ⟷ 無
記録間隔（S）	記録無し ↔ 0.03 ↔ 0.10 ↔ 0.20 ↔ 0.50 ↔ 30 ↔ 20 ↔ 10 ↔ 5 ↔ 2 ↔ 1

お知らせ
- 音声を「無」にすると、ハードディスクに記録できる時間を長くできます。音声入力端子で音声を入力しない場合は「無」を選んでください。

5 メニューボタンを押して決定する

お知らせ
- 「タイマー記録＋非常連動＋センサ連動＋遠隔モニタリングの記録間隔の合計が秒30コマを超えています」と表示された場合
  設定した記録間隔が、秒30コマを超えていると、上記メッセージが表示されます。記録間隔の設定をやり直してください。

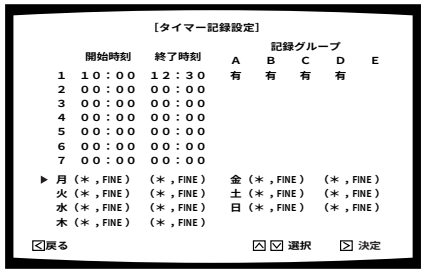
6 手順❸～❺をくり返し、他のプログラムを設定する



お知らせ
- 設定した内容は、メインメニューを終了させたときに保存されます。
  メインメニュー終了前に電源を切ると、変更した内容は保存されません。
- タイマー記録中に設定変更しようとすると「現在記録中のため設定できません」と表示され変更はできません。
  24時間指定したい場合は、「00：00～00：00」または「00：00～24：00」としてください。
- 開始時刻と終了時刻を「00：00」以外で同じ時刻とした場合は、日付をまたいで記録します。
  （例）13：00～13：00のプログラムを月曜日に実行できるように設定した場合
  月曜日の13：00から火曜日の13：00まで記録します。

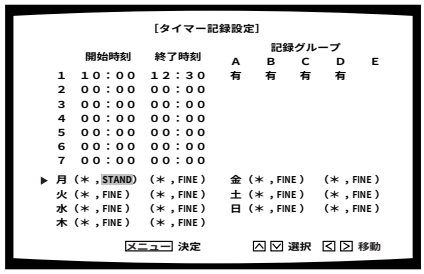
7 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して登録する曜日を選び、移動ボタン（>）を押す

- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。



8 移動ボタンで、プログラム番号と画質を選ぶ

- 移動ボタン（∧または∨）で設定値を選びます。
- 移動ボタン（<または>）で項目間を移動します。
- 曜日ごとに、2プログラム設定できます。



項　目	設　定　値
プログラム番号	1～7
画質	FINE ⟷ STANDARD ⟷ BASIC ↑ ↑

9 メニューボタンを押して決定する

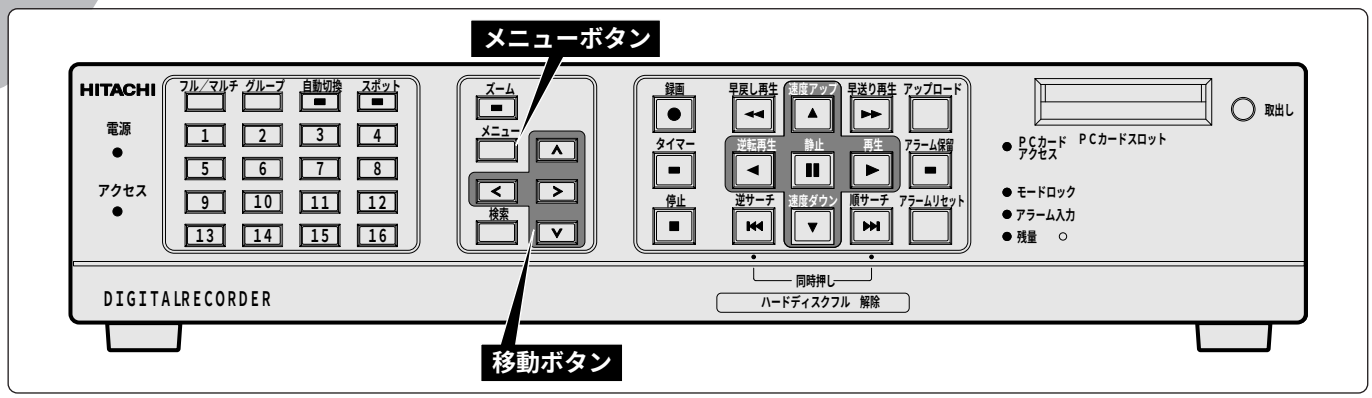
10 移動ボタン（<）を押す

- 記録メニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 非常連動記録設定、センサ連動記録設定でプリ記録時間が、0秒以外に設定されていると、非常連動記録、センサ連動記録で記録されるチャンネルには1チャンネル当たり、秒1コマが割り当てられます。ただし、タイマー記録で記録するチャンネルと非常連動記録、センサ連動記録で記録するチャンネルが重複している場合は、秒1コマが割り当てられません。（タイマー記録での記録間隔が優先されます。）遠隔モニタリング設定で「有」を選んだチャンネルには、1チャンネル当たり、秒1コマが割り当てられます。設定をやり直す場合は、上記を考慮してやり直してください。
- 設定した内容は、メインメニューを終了させたときに保存されます。
  メインメニュー終了前に電源を切ると、変更した内容は保存されません。

アラーム記録の設定をする



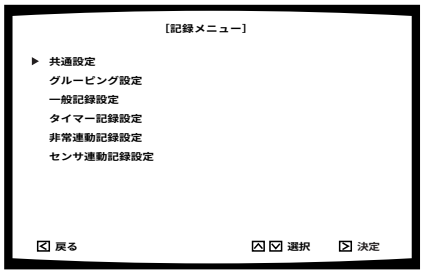
本機の後面にあるコントロール端子のアラーム入力に入力された信号に連動して行う記録のことをアラーム記録といいます。アラーム記録には、「非常連動記録」と「センサ連動記録」の2種類があります。

非常連動記録の設定

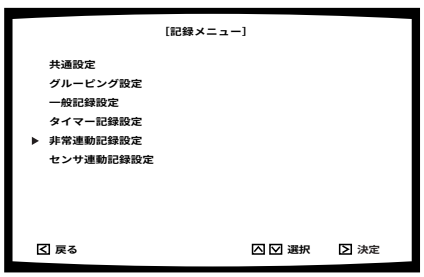
- 非常連動記録とは、リサイクルモードの設定に従わないアラーム記録です。
  リサイクルモードが「STOP」に設定されていても、ハードディスク残量がなくなると、上書きして録画を続けます。
- 非常連動記録は、アラーム入力に入力された信号に連動して記録を行います。
  記録チャンネルを6チャンネルまで、設定することができます。

1 記録メニュー画面を表示する

- 74、75ページの手順❶～❸を操作して記録メニューを選択してください。



2 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して非常連動記録設定を選び、移動ボタン（>）を押す

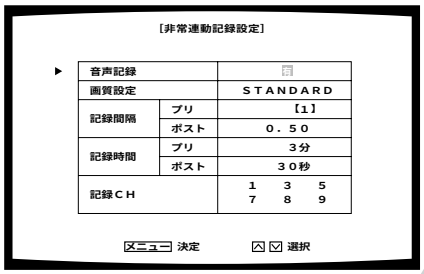


3 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して音声記録を選び、移動ボタン（>）を押す

- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。

4 移動ボタンで、音声記録を設定する

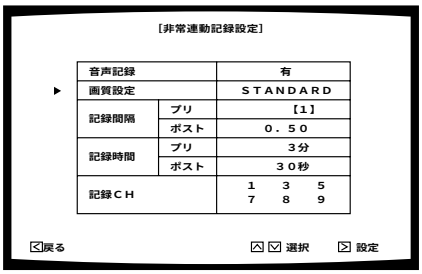
- 移動ボタン（∧または∨）で「有」または「無」を選びます。
  音声を「無」で設定するとハードディスクに記録できる時間を長くすることができます。
  音声入力端子に音声を入力しない場合は、「無」を選んでください。



5 メニューボタンを押して決定する

6 手順❸～❺と同様にくり返し、画質設定、記録間隔、記録CHを設定する

- 移動ボタン（＜または＞）で項目間を移動します。
- 移動ボタン（∧または∨）で項目間の設定値を変更します。



項　目		設　定　値
音声		有↔無
画質設定		FINE↔STANDARD↔BASIC
記録間隔	プリ※1	1固定（変更できません）
	ポスト※1	0.03↔0.10↔0.20↔0.50↔1↔2↔5↔10↔20↔30
記録時間	プリ※1	0秒↔30秒↔1分↔2分↔3分
	ポスト※1	10秒↔15秒↔20秒↔30秒↔1分↔2分↔3分↔5分↔10分↔30分
記録CH		最大6CH（重複チャンネルの設定はできません）

※1 プリ記録　：アラーム入力があったタイミングから設定された時間だけさかのぼって記録を行う機能
　　ポスト記録　：アラーム入力があったタイミングから設定された時間だけ記録する機能

お知らせ
- 記録チャンネルを設定しないとアラームは受け付けません。
- ここで設定する画質はポスト記録用の画質です。
  プリ記録の画質は、一般記録設定で設定している画質になります。
- 非常連動記録中に設定変更しようとすると「現在記録中のため設定できません」と表示され変更はできません。
- 記録状態により設定した内容で記録できない場合があります。
- 「HDDフル」の場合でも上書き記録されます。
- 内蔵ハードディスク無しで外付けハードディスクのみで構成されている場合は、非常連動記録のプリ記録できません。
- 記録チャンネルの設定で、重複したチャンネルを設定した場合、記録CHが重複しています が表示され、記録メニューへ戻れません。

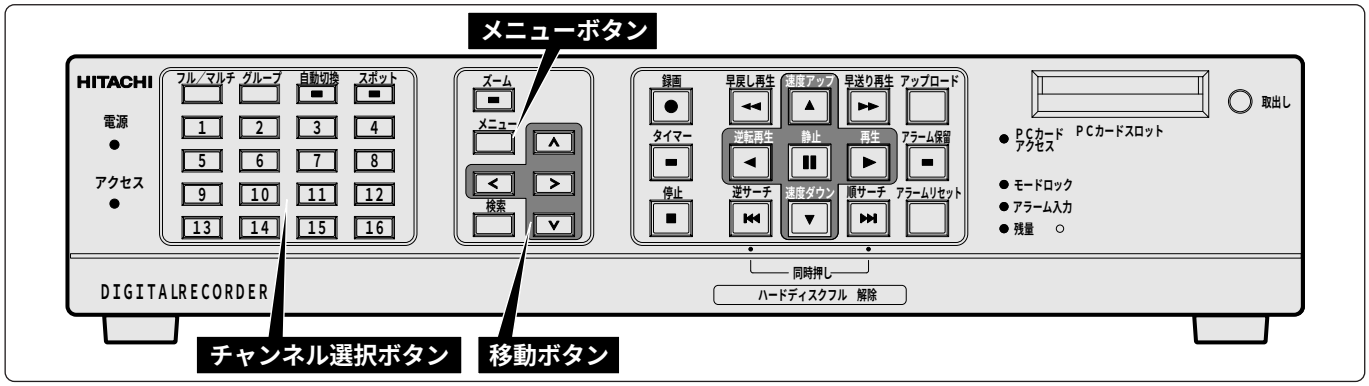
7 移動ボタン（<）を押す

- 記録メニュー画面に戻ります。

お知らせ
- 「非常連動の記録間隔の合計が秒30コマを超えています」と表示された場合
  設定した記録間隔が秒30コマを超えていると、下記メッセージが表示され、記録メニューへ戻れません。記録間隔の設定をやり直してください。
- 記録間隔の合計が秒30コマを超えています
  一般記録設定の記録間隔を見直して下さい
  はい：［>］
  が表示された場合

  移動ボタン（>）を押すと、一般記録設定の画面が表示されます。記録間隔の合計が、秒30コマを超えないように設定を修正してください。
- 記録間隔の合計が秒30コマを超えています
  タイマー記録設定の記録間隔を見直して下さい
  はい：［>］
  が表示された場合

  移動ボタン（>）を押すと、タイマー記録設定の画面が表示されます。記録間隔の合計が、秒30コマを超えないように設定を修正してください。
- 設定した内容は、メインメニューを終了させたときに保存されます。
  メインメニュー終了前に電源を切ると、変更した内容は保存されません。



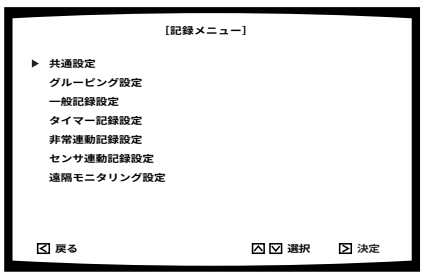
センサ連動記録の設定

ドアスイッチやセンサーなどの信号に連動して記録する場合の設定を行います。
センサ連動記録とはリサイクルモードに従う記録です。リサイクルモードが「STOP」に設定されている時、ハードディスク残量がなくなると記録を停止します。
センサ連動記録は、アラーム入力2～8に入力された信号に連動して記録を行います。アラーム入力ごとに記録するチャンネルを設定することができます。

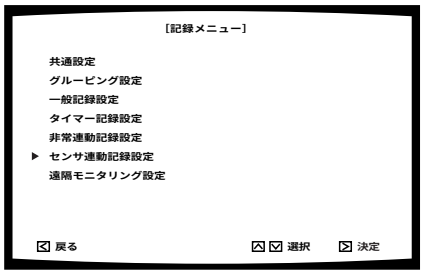
センサ連動記録の設定

1 記録メニュー画面を表示する

- 74、75ページの手順❶～❸を操作して記録メニューを選択してください。



2 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してセンサ連動記録設定を選び、移動ボタン（>）を押す



3 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して音声記録を選び、移動ボタン（>）を押す

- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。

4 移動ボタンで、音声記録を選ぶ

- 移動ボタン（∧または∨）で「有」または「無」を選びます。
  音声記録を「無」にすると、ハードディスクに記録できる時間を長くすることができます。
  音声入力端子に音声を入力しない場合は、「無」を選んでください。
- ここで設定する音声は、ポスト記録用の音声です。プリ記録の音声は記録できません。

5 メニューボタンを押して決定する

6 手順❸～❺と同様にくり返し、画質設定、記録間隔、記録時間を設定する

- 移動ボタン（＜または＞）で、項目間を移動します。
- 移動ボタン（∧または∨）で、項目の設定値を変更します。

項　目		設　定　値
画質設定		FINE↔STANDARD↔BASIC
記録間隔	プリ※1	1固定（変更できません）
	ポスト※1	0.03↔0.10↔0.20↔0.50↔1↔2↔5↔10↔20↔30
記録時間	プリ※1	0秒↔5秒
	ポスト※1	10秒↔15秒↔20秒↔30秒↔1分↔2分↔3分↔5分↔10分↔30分

※1 プリ記録　：アラーム入力があったタイミングから設定された時間だけさかのぼって記録を行う機能
　　ポスト記録　：アラーム入力があったタイミングから設定された時間だけ記録する機能

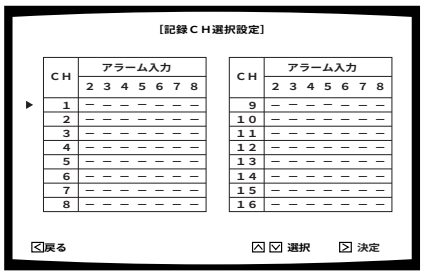
お知らせ

- 記録間隔のポストの設定では、秒30コマを超えるような設定値は表示されません。表示されない記録間隔を設定したい場合は、記録CHの設定で記録するチャンネル数を減らしてください。
- ここで設定する画質はポスト記録用の画質です。
  プリ記録の画質は一般記録設定で設定している画質となります。

7 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して記録CH設定を選び、移動ボタン（>）を押す

8 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して設定するCHを選び、移動ボタンを押す

- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。

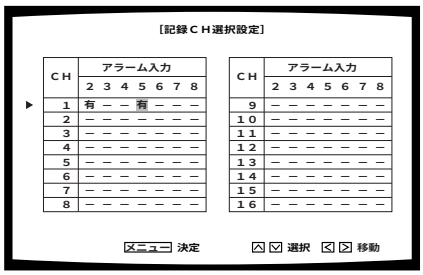


9 移動ボタンでアラーム入力の番号を選ぶ

- 移動ボタン（<または>）で、アラーム入力の番号間を移動します。
- 移動ボタン（∧または∨）で、「ー」または「有」を選びます。

「ー」：対応するアラームが入力されても記録しません。

「有」：対応するアラームが入力されると記録を行います。

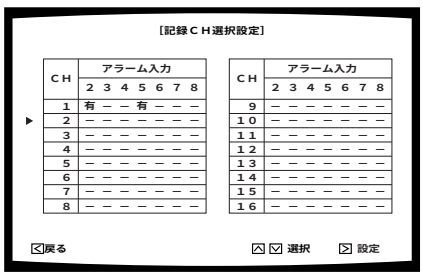


お知らせ

- 記録CHを設定しないとアラームは受け付けません。
- 1つのアラーム入力に対し複数のチャンネルを設定することができます。各アラーム入力で記録するチャンネルを重複して設定できます。
- 複数のチャンネルを「有」に設定し、記録間隔で設定した間隔で記録できなくなった場合、自動的に記録間隔の設定が変更されます。

10 メニューボタンを押して決定する

11 手順❸～❺と同様にくり返し、他のCHを設定する



12 移動ボタン（<）を2回押す

- 記録メニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 記録間隔の合計が秒30コマを超えています
  一般記録設定の記録間隔を見直して下さい
  はい：［>］
  が表示された場合

  移動ボタン（>）を押すと、一般記録設定の画面が表示されます。記録間隔の合計が、秒30コマを超えないように設定を修正してください。
- 記録間隔の合計が秒30コマを超えています
  タイマー記録設定の記録間隔を見直して下さい
  はい：［>］
  が表示された場合

  移動ボタン（>）を押すと、タイマー記録設定の画面が表示されます。記録間隔の合計が、秒30コマを超えないように設定を修正してください。
- 設定した内容は、メインメニューを終了させたときに保存されます。
  メインメニュー終了前に電源を切ると、変更した内容は保存されません。

時間帯指定の設定

センサ連動記録を動作させない期間を設定することができます。時間帯指定の設定は、曜日ごとに設定する、期間を決めて設定するの2通りあります。曜日設定と期間設定では、期間設定の設定内容が優先されます。曜日設定の設定内容で動作させたい場合は、期間設定の動作を「未設定」に設定してください。

■曜日の設定

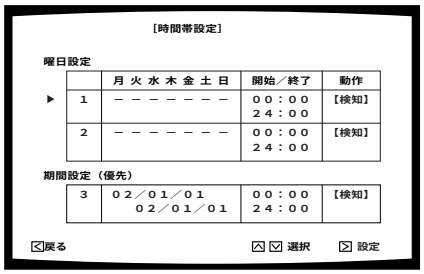
1 センサ連動記録設定画面を表示する

- 87ページの手順❶～❷を操作してください。

2 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して時間帯指定を選び、移動ボタン（>）を押す

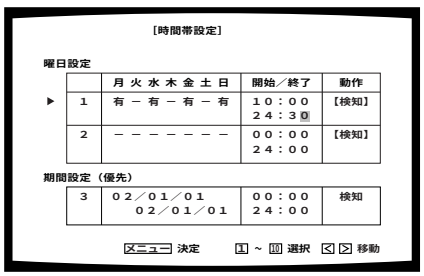
3 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して曜日設定の1または2を選び、移動ボタン（>）を押す

- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。



4 チャンネル選択ボタン（1～10）および移動ボタンで曜日、開始時刻、終了時刻を選ぶ

- 移動ボタン（<または>）で、項目間を移動します。
- 移動ボタン（∧または∨）で、曜日の「有」または「－」を選びます。
  有：センサ連動が動作する
  －：センサ連動が動作しない
- チャンネル選択ボタンで時刻を設定します。



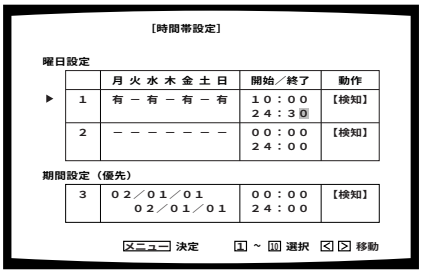
5 メニューボタンを押して決定する

- 曜日ごとに2つまで設定することができます。
  2つ設定する場合は手順❶～❺を繰り返し設定します。

■期間の設定

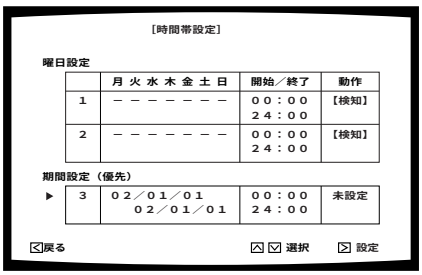
6 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して期間設定の3を選び、移動ボタン（>）を押す

- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。



7 チャンネル選択ボタン（1～10）および移動ボタンで期間を選ぶ

- チャンネル選択ボタンで年月日、時刻を設定します
- 移動ボタン（<または>）で、項目間を移動します
- 移動ボタン（∧または∨）で、動作設定を選びます



検知 ↔ 非検知 ↔ 未設定

検　知…アラームを検知します
非検知…アラームを検知しません
未設定…未設定です（曜日設定で設定した内容が有効になります）

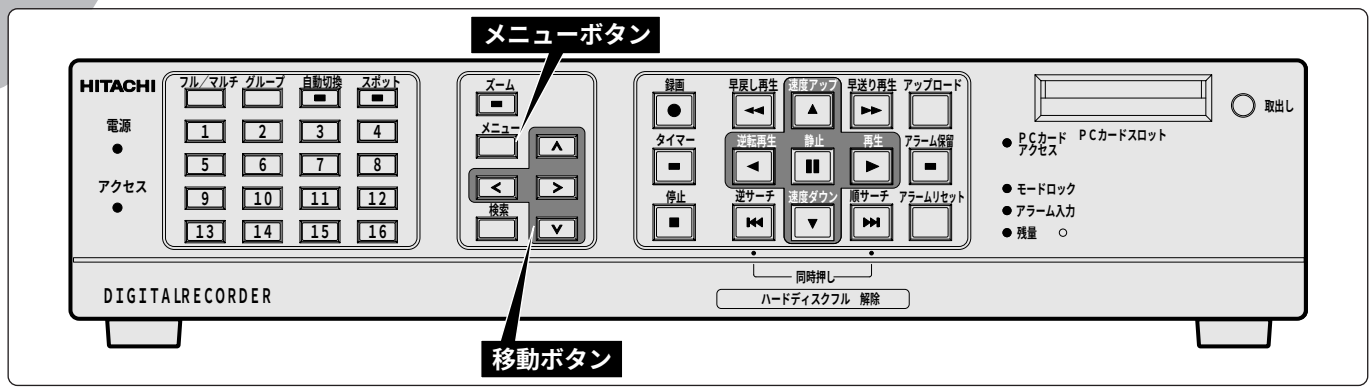
8 メニューボタンを押して決定する

9 移動ボタン（<）を2回押す

- 記録メニュー画面に戻ります。

お知らせ
- 設定した内容はメインメニューを終了したときに保存されます。メインメニュー終わる前に電源を切ると、変更した内容は保存されません。

遠隔モニタリングの設定をする

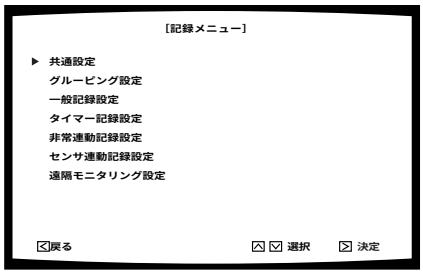


遠隔モニタリングの設定

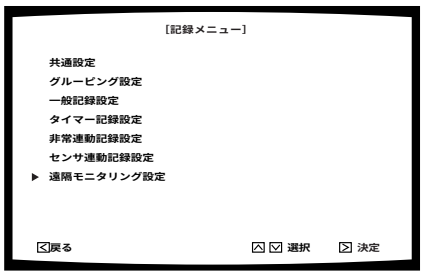
LAN接続したWindows®パソコンで映像のモニタリングを行うことを、遠隔モニタリングと呼びます。遠隔モニタリングを行うには、別売のPCアプリケーションソフトが必要です。お買い上げの営業または販売店にお問い合わせください。

1 記録メニュー画面を表示する

- 74、75ページの手順❶～❸を操作して記録メニューを選択してください。



2 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して遠隔モニタリング設定を選び、移動ボタン（>）を押す



3 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して変更するCHが含まれる行を選び、移動ボタン（>）を押す

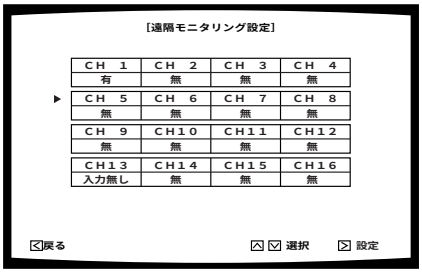
- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。

4 移動ボタンで、CHを選ぶ

- 移動ボタン（<または>）でCH間を移動します。
- 移動ボタン（∧または∨）で「有」または「無」を選びます。
  有 ↔ 無
- 入力がないCHは、自動的に「入力無し」が表示されます。
  有：LAN接続したPCへ画像を出力します。
  無：LAN接続したPCへ画像を出力しません。

5 メニューボタンを押して決定する

6 手順❸～❺と同様にくり返し、他のCHを設定する



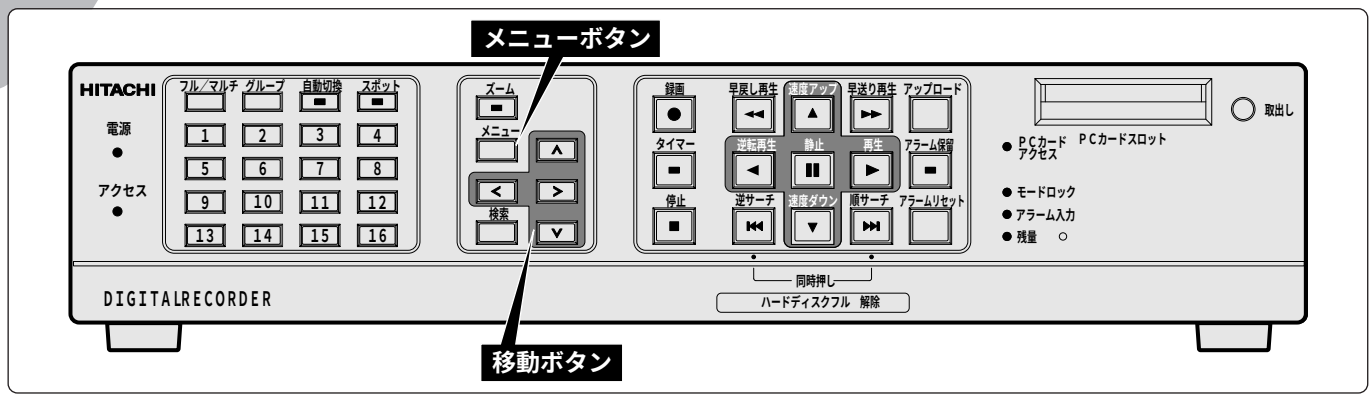
7 移動ボタン（<）を押す

- 記録メニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 「記録間隔の合計が、秒30コマを超えています」と表示された場合
  設定した記録間隔が秒30コマを超えていると、上記メッセージが表示され、記録メニュー画面へ戻れません。記録間隔の設定をやり直してください。
- 遠隔モニタリング設定で「有」に設定されているチャンネルは、1チャンネル当たり、秒1コマが割り当てられています。
  下記の組み合わせで、秒30コマを超えないように記録間隔を設定してください。
  遠隔モニタリング――――― 一般記録※1
  遠隔モニタリング――――― 非常連動記録
  遠隔モニタリング――――― センサ連動記録
  遠隔モニタリング――――― タイマー記録
  ※1 非常連動記録／センサ連動記録で、プリ記録時間を0秒以外に設定している場合、一般記録で設定したチャンネルと非常連動記録またはセンサ連動記録で設定したチャンネルが重複していないチャンネルについては、1チャンネル当たり、秒1コマが割り当てられます。
- 設定した内容は、メインメニューを終了させたときに保存されます。
  メインメニュー終了前に電源を切ると、変更した内容は保存されません。

スイッチャーの設定をする

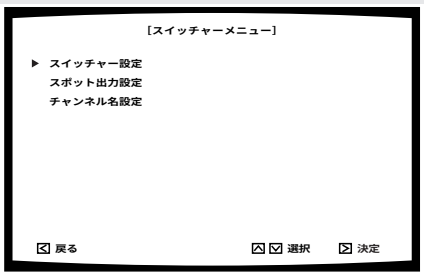


接続したカメラ名称の表示方法の選択、チャンネルスキップおよび自動切り換えボタンによる自動切り換え間隔を設定します。

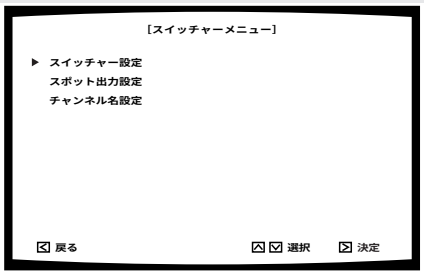
スイッチャーの設定

1 スイッチャーメニュー画面を表示する

- 74、75ページの手順❶～❸を操作してスイッチャーメニューを選択してください。
- スイッチャーメニュー画面が表示されます。



2 移動ボタン(∧または∨)でカーソル(▶)を操作してスイッチャー設定を選び、移動ボタン(>)を押す

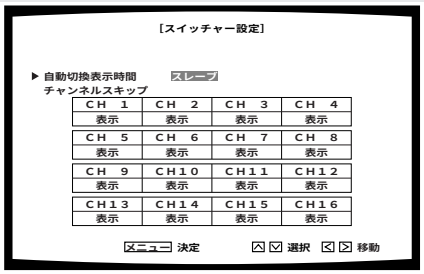


3 移動ボタン(∧または∨)でカーソル(▶)を操作して自動切換表示時間を選び、移動ボタン(>)を押す

- 移動ボタン(>)を押したあと、設定値が白黒反転表示します。

4 移動ボタンで自動切換表示時間を選ぶ

- 移動ボタン(∧または∨)で、自動切換表示時間を選びます。



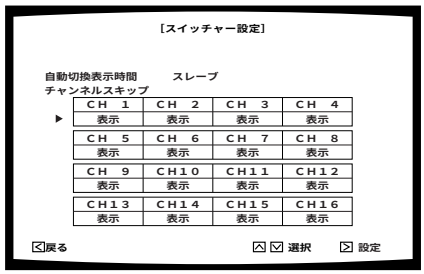
スレーブ ↔1秒 ↔2秒 ↔3秒 ↔4秒 ↔5秒 ↔6秒 ↔7秒 ↔8秒 ↔9秒 ↔10秒

スレーブ：複数台のレコーダーを使用する場合、レコーダー間で自動切り換えの同期を取るときに使用します 14

5 メニューボタンを押して決定する

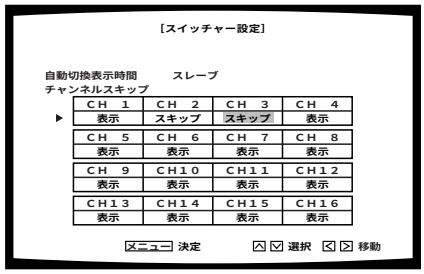
6 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して変更するCHの含まれる行を選び、移動ボタン（>）を押す

- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。



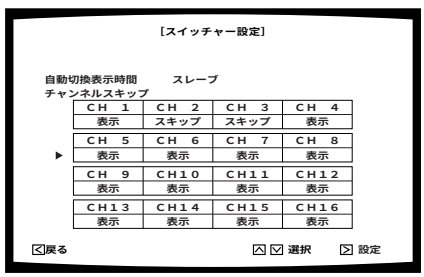
7 移動ボタンでスキップするCHを選ぶ

- チャンネルスキップとは、ライブ映像をスキップする機能です。記録には影響しません。
- 移動ボタン（<または>）でCH間を移動します。
- スキップを選択したチャンネルをフル画面表示で選択したり、自動切り換えで表示することはできません。また、分割画面表示では、黒画面で表示されます。
- 移動ボタン（∧または∨）で「表示」または「スキップ」を選びます。
- 入力がないＣＨは、自動的に「入力無し」が表示されます。



8 メニューボタンを押して決定する

9 手順❻～❽をくり返し、他のCHを設定する

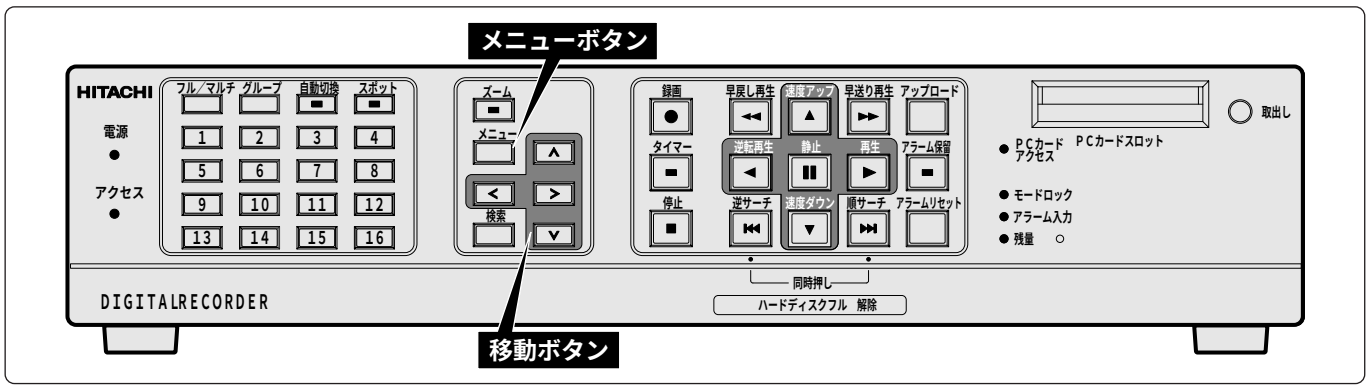


10 移動ボタン（<）を押す

- スイッチャーメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 全チャンネルを「スキップ」にすると「全CHをスキップすることはできません。」と表示し、設定できません。最低1つのチャンネルは「表示」に設定してください。
- 設定した内容は、メインメニューを終了させたときに保存されます。
  メインメニュー終了前に電源を切ると、変更した内容は保存されません。

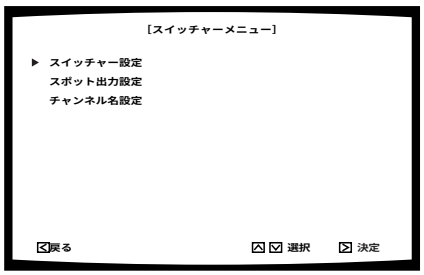


スポット出力の設定

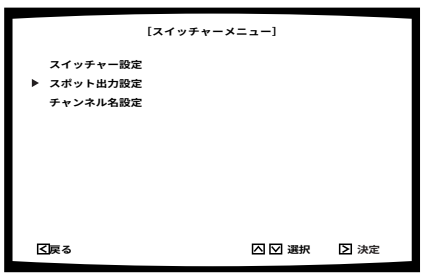
モニター出力1の設定とは別に、モニター出力2にライブのフル画面表示出力を行う機能をスポット出力と呼びます。

1 スイッチャーメニュー画面を表示する

- 74、75ページの手順❶～❸を操作してスイッチャーメニューを選択してください。
- スイッチャーメニュー画面が表示されます。

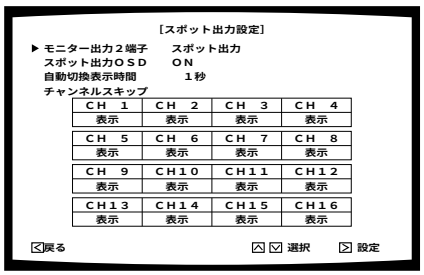


2 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してスポット出力設定を選び、移動ボタン（>）を押す



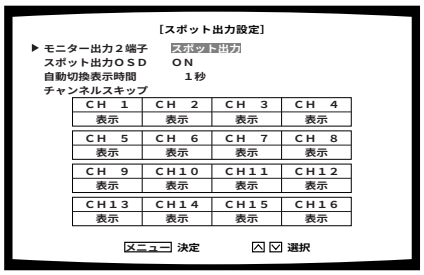
3 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してモニター出力2端子を選び、移動ボタン（>）を押す

- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。



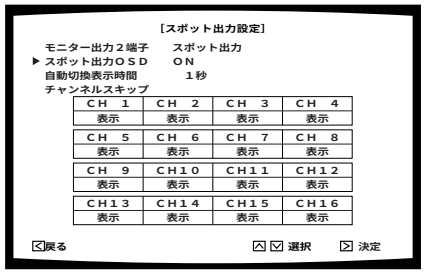
4 移動ボタンでモニター出力2端子の設定をする

- 移動ボタン（∧または∨）で「スポット出力」または「通常出力」を選びます。
  スポット出力：ライブのフル画面表示出力をします。再生画像やメニューは出力されません。
  通常出力：モニター出力1と同じ出力です。



5 メニューボタンを押して決定する

6 手順❸～❺と同様にくり返し、スポット出力OSD、自動切換表示時間を設定する

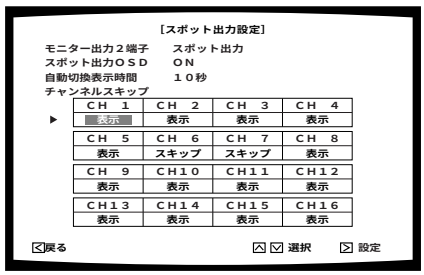


- 移動ボタン（∧）を押すたびに、表示が次のように変わります。

項　目	設　定　値
スポット出力OSD	ON⟷OFF
自動切換表示時間	1秒～10秒

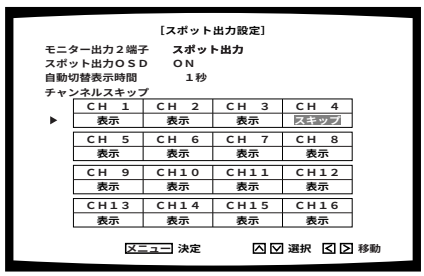
- スポット出力OSD、自動切換表示時間は、モニター出力2端子の設定を「スポット出力」に設定したときのみ有効となります。また、モニター出力1端子の出力には影響しません。
- スポット出力OSDは、チャンネルNoのみ表示されます。

7 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して変更するCHの含まれる行を選び、移動ボタン（>）を押す



- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。

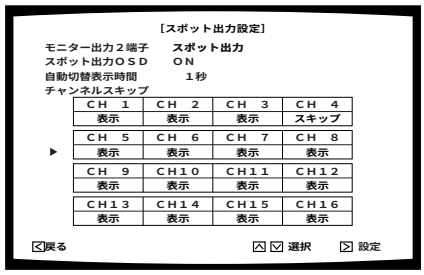
8 移動ボタンでスキップするCHを選ぶ



- 移動ボタン（<または>）でCH間を移動します。
- 移動ボタン（∧または∨）で「表示」または「スキップ」を選びます。カメラが接続されていないCHは入力無しと表示されます。
- ここでの設定は、モニター出力2端子の設定を「スポット出力」に設定した場合のみ有効です。また、モニター出力1端子の出力には影響しません。

9 メニューボタンを押して決定する

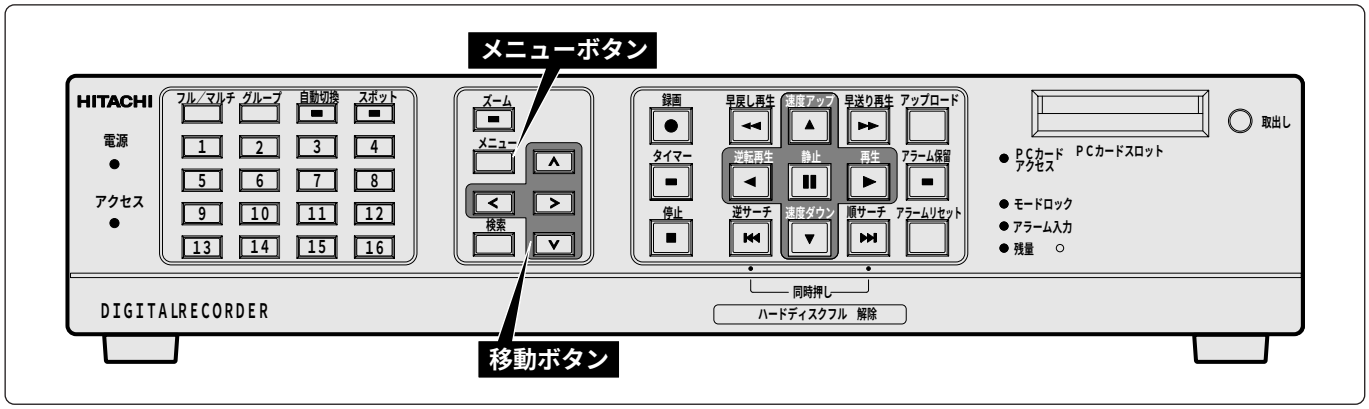
10 手順❼～❾をくり返し、他のCHを設定する



11 移動ボタン（<）を押す

- スイッチャーメニュー画面に戻ります。

お知らせ
- 設定した内容は、メインメニューを終了させたときに保存されます。
メインメニュー終了前に電源を切ると、変更した内容は保存されません。

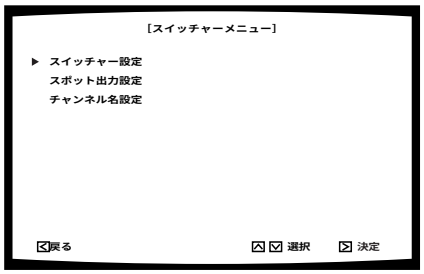


チャンネル名設定

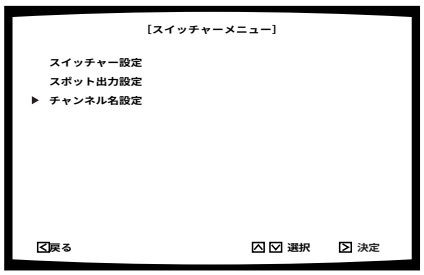
画面に表示するチャンネル名を設定することができます。

1 スイッチャーメニュー画面を表示する

- 74、75ページの手順❶～❸を操作してスイッチャーメニューを選択してください。
- スイッチャーメニュー画面が表示されます。

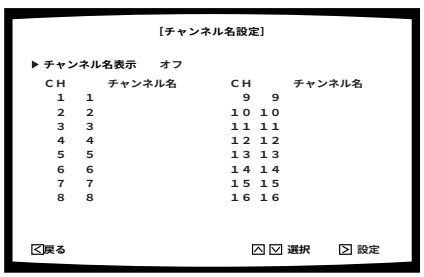


2 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してチャンネル名設定を選び、移動ボタン（>）を押す



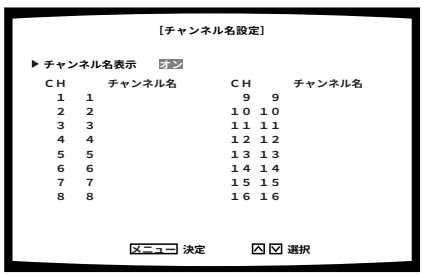
3 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してチャンネル名表示を選び、移動ボタン（>）を押す

- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。



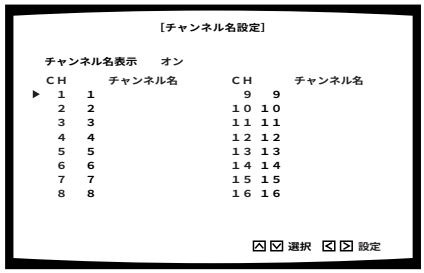
4 移動ボタンでチャンネル名表示を選ぶ

- 移動ボタン（∧または∨）を押して、「オン」または「オフ」を指定してください。
  オン：画面にチャンネル名を表示します。
  オフ：画面にチャンネル名を表示しません。



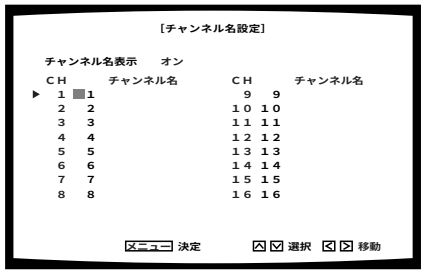
5 メニューボタンを押して決定する

6 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してチャンネル名を設定したいCHを選び、移動ボタン（>）を押す



- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。

7 移動ボタンでチャンネル名を設定する



- チャンネル名は12文字まで入力できます。
- 使用可能な文字は、全角カナ、数字、英字、記号です。
  文字の変更は、移動ボタン（∧または∨）で選択してください。
- 移動ボタン（∧）を押すと、下記の順番に表示されます。移動ボタン（∨）は、逆の順番に変わります。

数字 ↔ 英字(大) ↔ 英字(小) ↔ 記号 ↔ カナ(大) ↔ カナ(小)

- 移動ボタン（<または>）を押すとカーソルが前または後ろに移動します。
- 入力中に下記のボタンで、ジャンプすることができます。

1 数字先頭	5 カナ(大)先頭
2 英(大)先頭	6 カナ(大)ハ～
3 英(小)先頭	7 カナ(大)ヴ～
4 記号先頭	8 カナ(小)

お知らせ
- ズームボタンを押すと入力したチャンネル名をすべて消去できます。

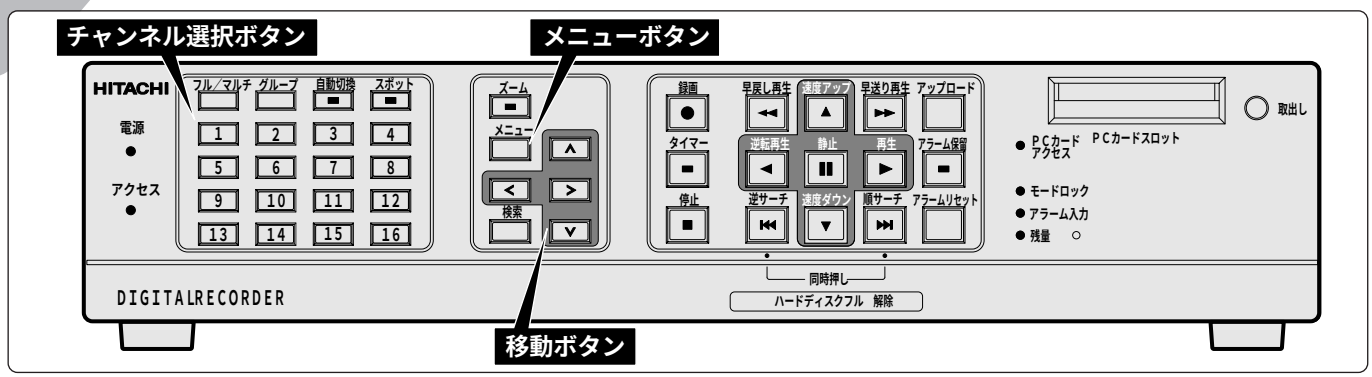
8 メニューボタンを押して決定する

9 移動ボタン（<）を押す

- スイッチャーメニュー画面に戻ります。

お知らせ
- 設定した内容は、メインメニューを終了させたときに保存されます。
  メインメニュー終了前に電源を切ると、変更した内容は保存されません。

一般的な機能の設定をする



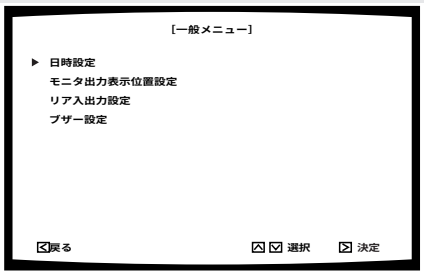
日時の設定

初めてお使いになるときや、電源プラグを1ヵ月以上抜いた場合は、日付・時刻を合わせてください。日付・時刻を合わせないと検索機能、アップロード機能が正しく動作しません。

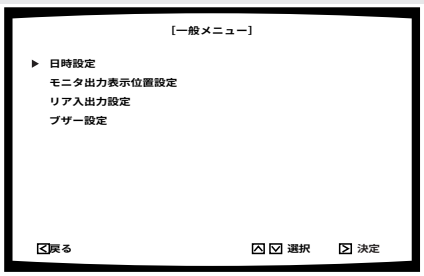
たとえば、西暦2002年9月8日日曜日20：30に合わせるとき

1 一般メニュー画面を表示する

- 74、75ページの手順❶～❸を操作して一般メニューを選択してください。
- 一般メニュー画面が表示されます。

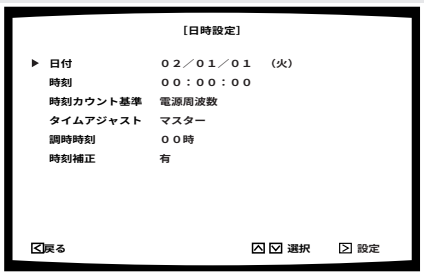


2 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して日時設定を選び、移動ボタン（>）を押す



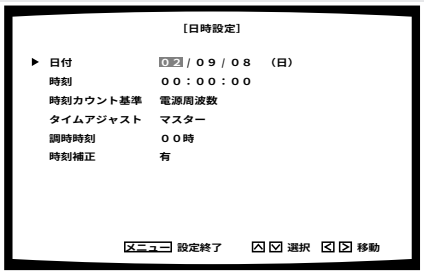
3 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して日付を選び、移動ボタン（>）を押す

- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。



4 チャンネル選択ボタン（1～10）を押して、日付を設定する

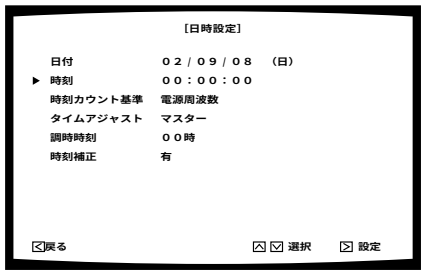
- 選択ボタンは、1～10を使用します。0を入力する場合は、チャンネル選択ボタンの10を使用します。
- “ 年 ”は西暦の下2けたを設定してください。
- 1月から9月、1日から9日の場合は、10の位を「0」にしてください。
- 曜日は、手順❺でメニューボタンを押すと自動的に更新されます。
- やり直しする場合は、移動ボタン（<または>）で、項目間を移動します。



5 メニューボタンを押して決定する

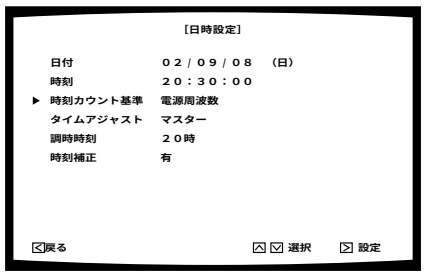
6 手順❸～❺と同様に操作し、時刻、調時時刻を設定する

- 時間は24時間表示です。
- 秒は変更することができません。



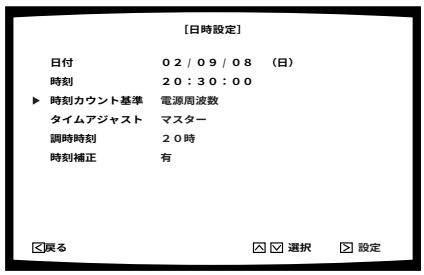
7 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して時刻カウント基準、タイムアジャスト、時刻補正を選び、移動ボタン（>）を押す

- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。



8 移動ボタンで各項目の設定を選ぶ

- 移動ボタン（∧または∨）で、各項目の設定値を指定します。
- 移動ボタン（∧）を押すたびに、表示が次のように変わります。移動ボタン（∨）は逆に変わります。



項　目	設　定　値
時刻カウント基準	電源周波数 ⟷ クリスタル
タイムアジャスト	マスター ⟷ スレーブ
時刻補正	有 ⟷ 無

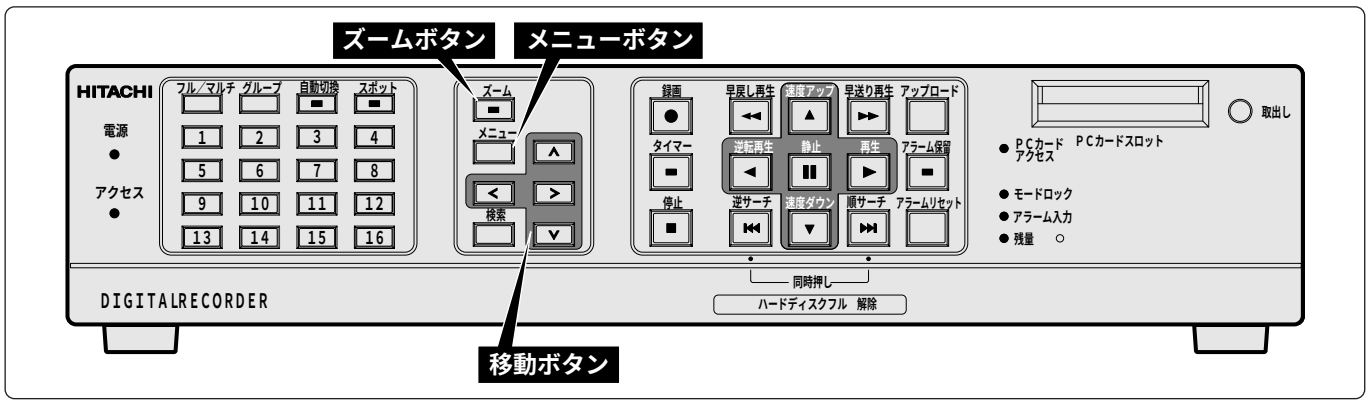
- 調時時刻の設定は、チャンネル選択ボタン（1～10）を使用します。

- **時刻カウント基準**
  電源周波数：商用電源の周波数に同期して時計のカウントを行います。（通常は、こちらを使用してください。）
  クリスタル：本体内蔵のクリスタルを使用して時計のカウントを行います。
- **タイムアジャスト調時時刻**
  複数台のレコーダーを使用する場合に、特定の1台（マスター）に時刻を合わせる機能です。時刻を合わせたいマスター機、スレーブ機すべてで調時時刻を同じ時間に設定してください。異なる時間に設定すると時刻が合わなくなります。
- **時刻補正**
  ハードディスク上の記録画像の時刻の補正を行います。
  有：今回設定した時刻を基準にして過去の時刻を再計算して再設定します。再生時、補助情報表示領域に表示される日付時刻は再設定した日付時刻になります。再生時、移動ボタン（>）を押すと、補助情報表示領域に表示される日付時刻は時刻補正のもが表示されます。
  無：過去に記録した画像の時刻を変更しません。

9 メニューボタンを押して決定する

10 移動ボタン（<）を押す

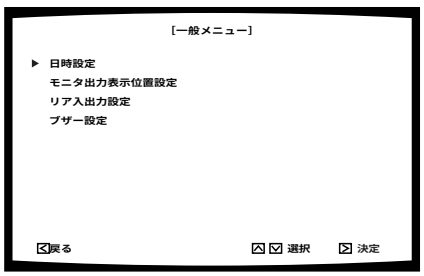
- 一般メニューへ戻ります。
  設定した内容が確定されます。



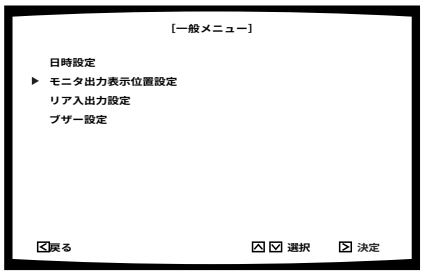
モニタ出力表示位置の設定

1 一般メニュー画面を表示する

- 74、75ページの手順❶～❸を操作して一般メニューを選択してください。
- 一般メニュー画面が表示されます。

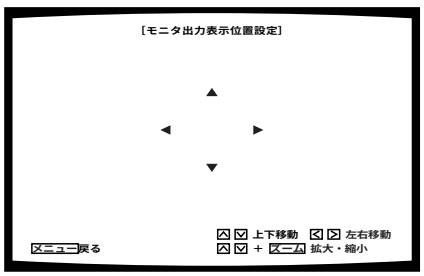


2 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してモニタ出力表示位置を選び、移動ボタン（>）を押す



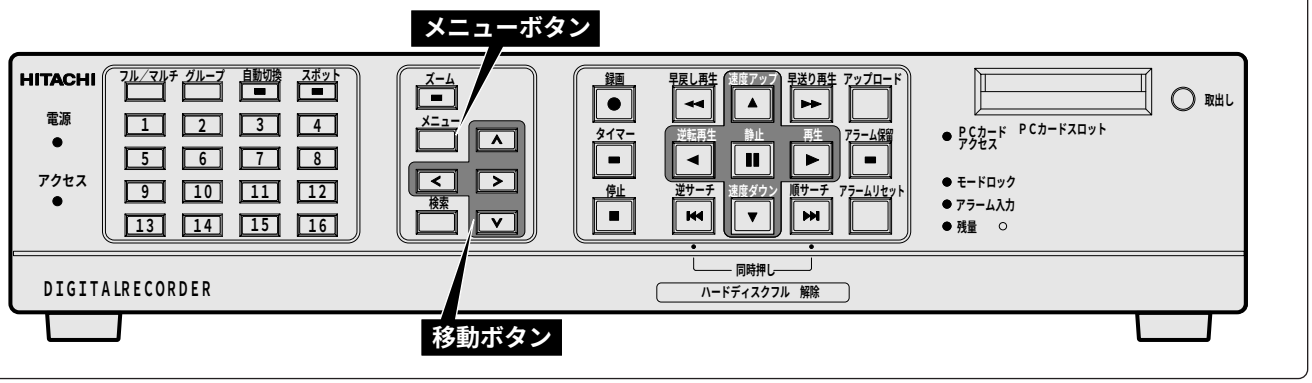
3 移動ボタンとズームボタンでモニタ出力表示位置を設定する

- モニタ出力表示位置設定画面が表示されます。
- 上下左右に移動したい場合は、移動ボタン（∧、∨、<、>）を押して移動します。画面のサイズを変更する場合は、拡大したいときは、ズームボタンを押しながら移動ボタン（∧）を押してください。縮小したいときは、ズームボタンを押しながら移動ボタン（∨）を押してください。



4 メニューボタンを押して決定する

- 一般メニューへ戻ります。

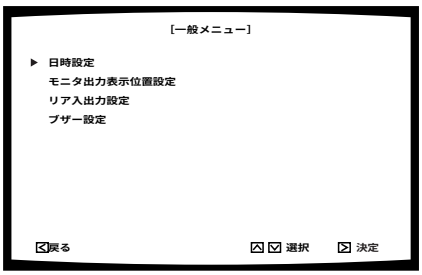


リア入出力の設定

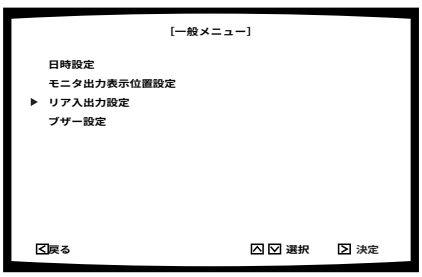
異常検知出力とアラーム入力のアクティブモードを設定します。

1 一般メニュー画面を表示する

- 74、75ページの手順❶～❸を操作して一般メニューを選択してください。

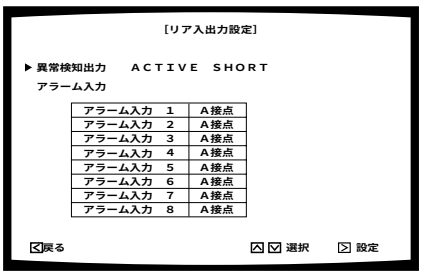


2 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してリア入出力設定を選び、移動ボタン（>）を押す



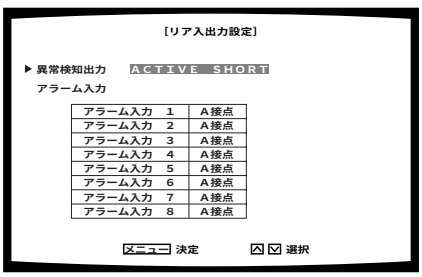
3 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して異常検知出力を選び、移動ボタン（>）を押す

- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。



4 移動ボタンで異常検知出力の方法を選ぶ

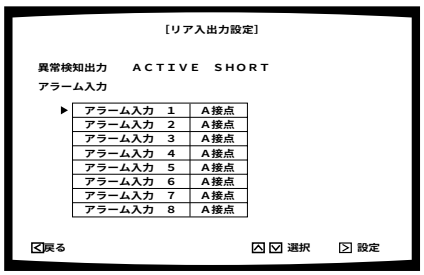
- 移動ボタン（∧または∨）でACTIVE OPENまたはACTIVE SHORTを選びます。
  ACTIVE OPEN：通常はGNDとショート。異常を検知するとオープンになります。
  ACTIVE SHORT：通常はオープン。異常を検知するとショートになります。



5 メニューボタンを押して決定する

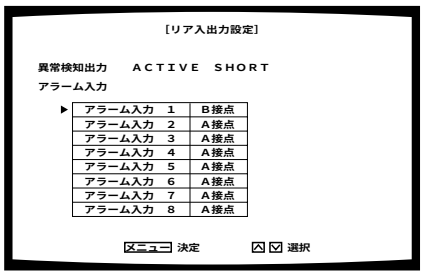
6 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してアラーム入力番号を選び、移動ボタン（>）を押す

- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。



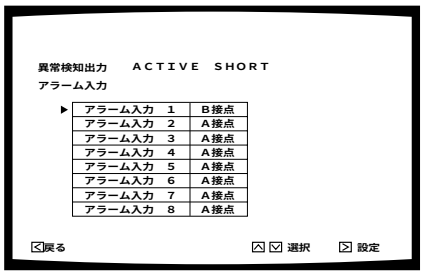
7 移動ボタンで接点を選ぶ

- 移動ボタン（∧または∨）を押して、「A接点」または「B接点」を選びます。
  A接点：通常オープン。
  　　アラーム時GNDとショート
  B接点：通常GNDとショート。
  　　アラーム時オープン



8 メニューボタンを押して決定する

9 手順❻～❽をくり返し、他のアラーム入力を設定する

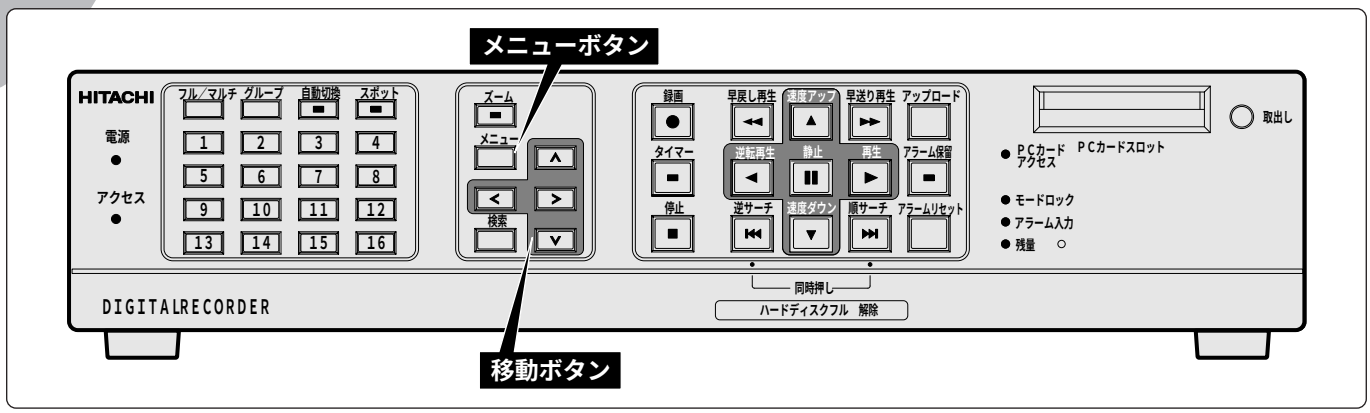


10 移動ボタン（<）を押す

- 一般メニュー画面へ戻ります。

お知らせ

- 設定した内容は、メインメニューを終了させたときに保存されます。
  メインメニュー終了前に電源を切ると、変更した内容は保存されません。

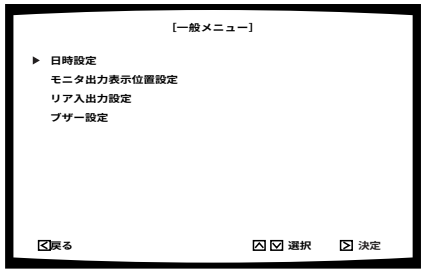


ブザーの設定

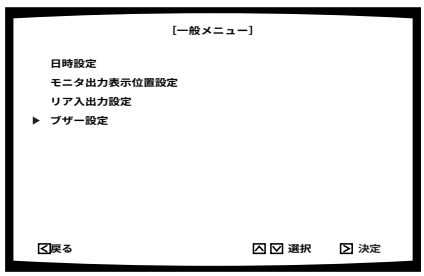
ブザーの鳴動を変更することができます。

1 一般メニュー画面を表示する

- 74、75ページの手順❶～❸を操作して一般メニューを選択してください。
- 一般メニュー画面が表示されます。

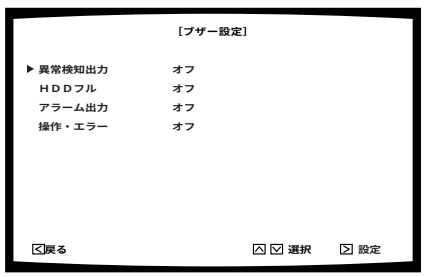


2 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してブザー設定を選び、移動ボタン（>）を押す



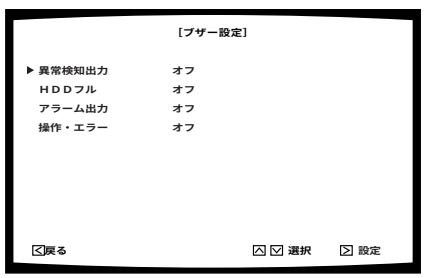
3 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して異常検知出力を選び、移動ボタン（>）を押す

- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。

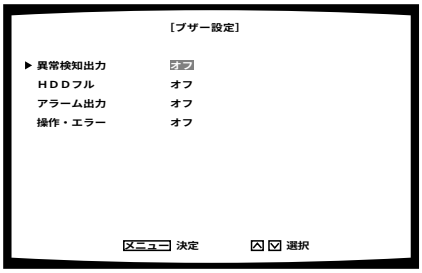


4 移動ボタンで異常検知出力を設定する

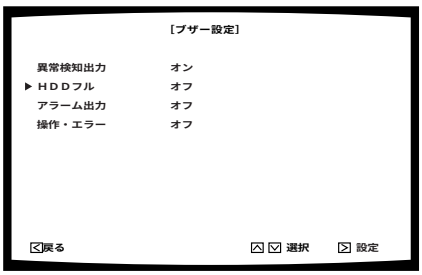
- 移動ボタン（∧または∨）で「オン」または「オフ」を選びます。
  オン：ブザーが鳴動します。
  オフ：ブザーが鳴動しません。



5 メニューボタンを押して決定する



6 手順❸～❺と同様に操作し、HDDフル、アラーム出力、操作・エラーを設定する



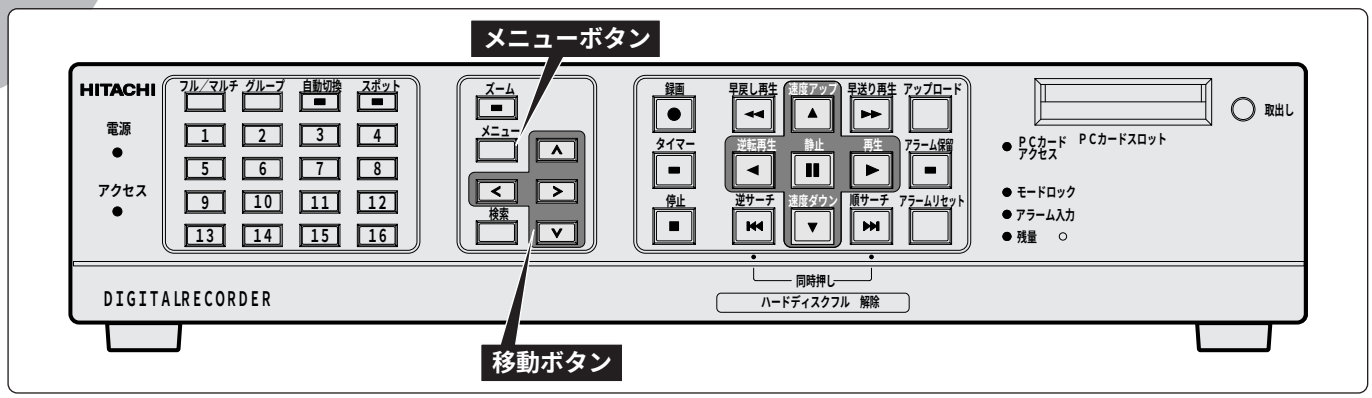
7 移動ボタン（<）を押す

- 一般メニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 設定した内容は、メインメニューを終了させたときに保存されます。
  メインメニュー終了前に電源を切ると、変更した内容は保存されません。

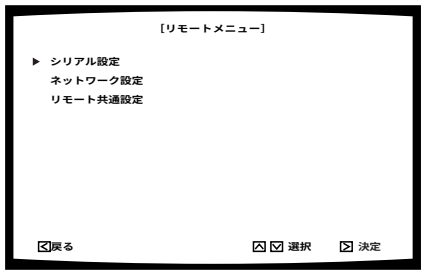
ネットワークの設定をする



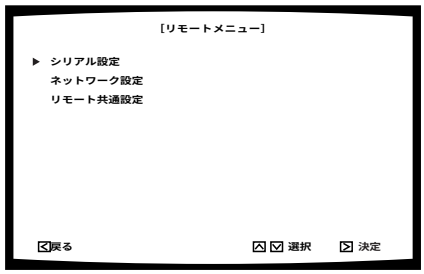
シリアルの設定

1 リモートメニュー画面を表示する

- 74、75ページの手順❶～❸を操作してリモートメニューを選択してください。
- リモートメニュー画面が表示されます。

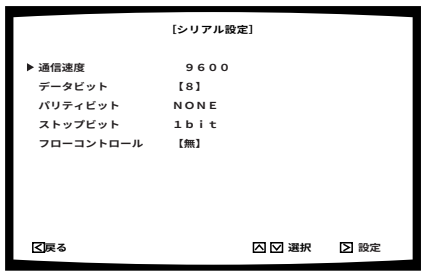


2 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してシリアル設定を選び、移動ボタン（>）を押す



3 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して通信速度を選び、移動ボタン（>）を押す

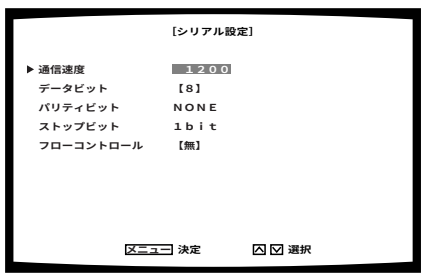
- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。



4 移動ボタン（∧または∨）で通信速度を選ぶ

- 移動ボタン（∧または∨）で設定値を選びます。

1200↔2400↔4800↔9600↔19200



5 メニューボタンを押して決定する

6 手順❸～❺と同様に操作し、パリティビット、ストップビットを設定する

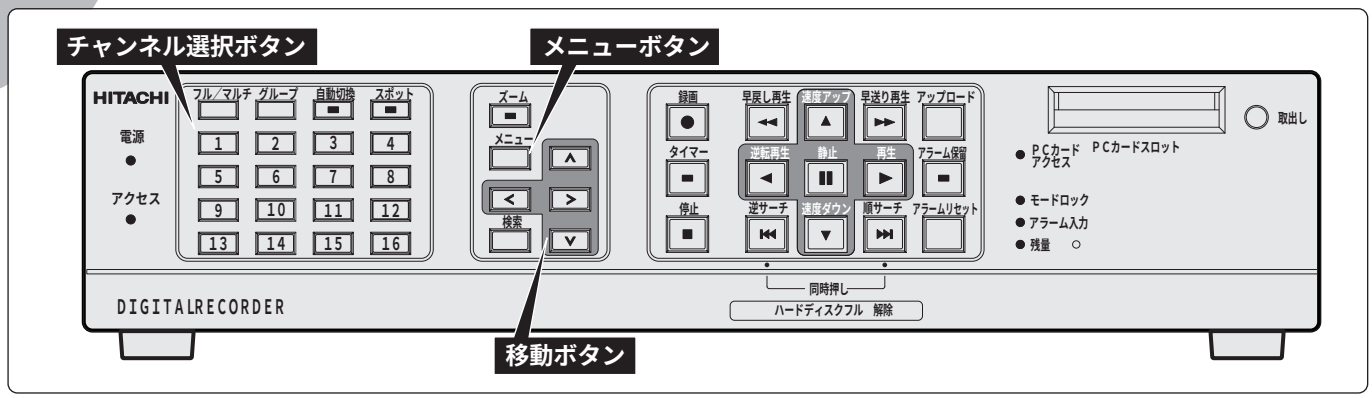
項　目	設　定　値
パリティビット	NONE↔ODD↔EVEN
ストップビット	1 ↔ 2

画面中の【　】箇所は変更することができません。

7 移動ボタン（<）を押す

- リモートメニュー画面に戻ります。

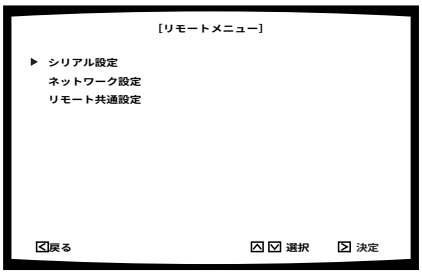
お知らせ
- 設定した内容は、メインメニューを終了させたときに保存されます。
  メインメニュー終了前に電源を切ると、変更した内容は保存されません。



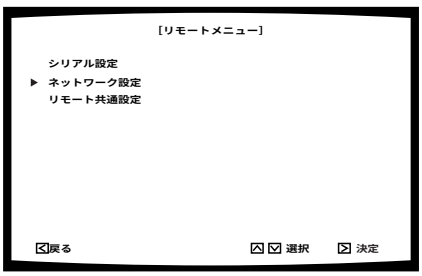
ネットワークの設定

1 リモートメニュー画面を表示する

- 74、75ページの手順❶～❸を操作してリモートメニューを選択してください。
- リモートメニュー画面が表示されます。

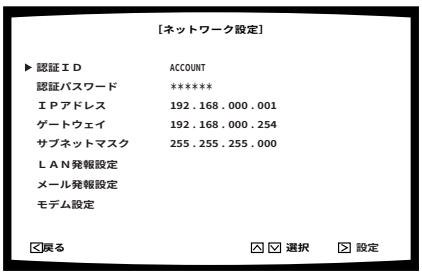


2 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してネットワーク設定を選び、移動ボタン（>）を押す



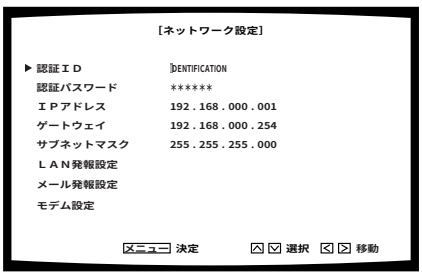
3 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して認証IDを選び、移動ボタン（>）を押す

- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。



4 移動ボタンで認証IDを入力する

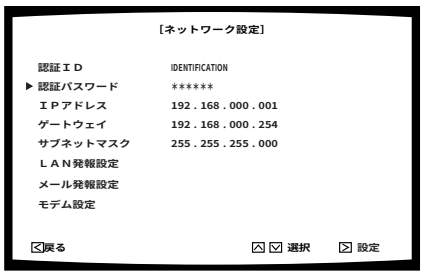
- 認証IDは、6～32文字の英数字（および記号）が入力できます。
- 移動ボタン（∧または∨）で入力してください。
- 移動ボタン（<または>）を押すと、カーソルが前または後ろに移動します。
- スペースを入力すると、それ以降の文字を消去します。



- 入力中に下記のボタンで、ジャンプすることができます。
  すべてのメニューのID、パスワード、メールアドレス、物件名称、補助情報を入力するときに有効です。
  - 1 数字先頭
  - 2 英（大）先頭
  - 3 英（小）先頭
  - 4 記号先頭

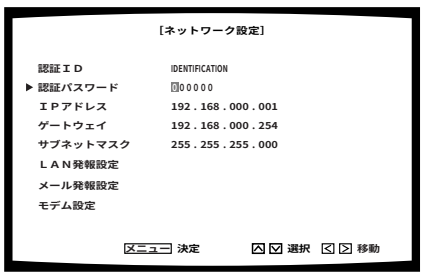
5 メニューボタンを押して決定する

6 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して認証パスワード、IPアドレス、ゲートウェイ、サブネットマスクを選び、移動ボタン（>）を押す



- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。

7 チャンネル選択ボタン（1～10）および移動ボタンで設定値を入力する



（認証パスワード）
- 移動ボタン（∧または∨）で設定値を選びます。
- 移動ボタン（<または>）でカーソルが前後します。
- スペースを入力すると、それ以降の文字を消去します。

（IPアドレス）（ゲートウェイ）（サブネットマスク）
- チャンネル選択ボタン（1～10）で入力します。
- 移動ボタン（<または>）でカーソルが前後します。

項　目	設　定　値
認証パスワード	6～32文字の英数字および記号
IPアドレス	000 ～ 255
ゲートウェイ	000 ～ 255
サブネットマスク	000 ～ 255

8 メニューボタンを押して決定する

9 移動ボタン（<）を押す

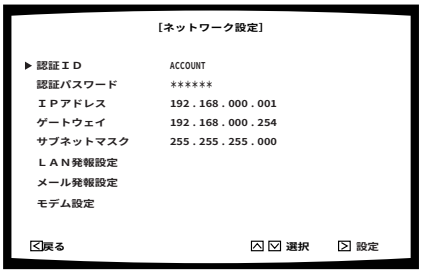
- リモートメニュー画面に戻ります。

お知らせ
- 設定した内容は、メインメニューを終了させたときに保存されます。メインメニュー終了前に電源を切ると、変更した内容は保存されません。

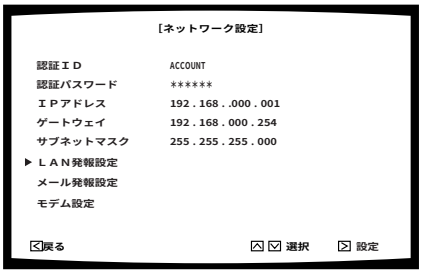
LAN発報の設定

1 ネットワーク設定画面を表示する

- 110ページの手順❶～❷を操作してください。



2 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してLAN発報設定を選び、移動ボタン（>）を押す



3 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してLAN発報を選び、移動ボタン（>）を押す

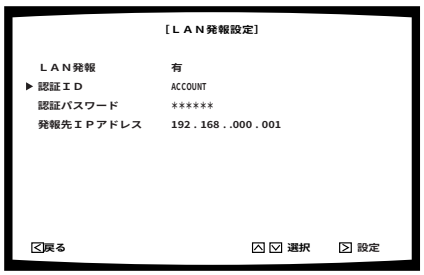
- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。

4 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してLAN発報を選ぶ

- 移動ボタン（∧または∨）で「有」または「無」を選びます。

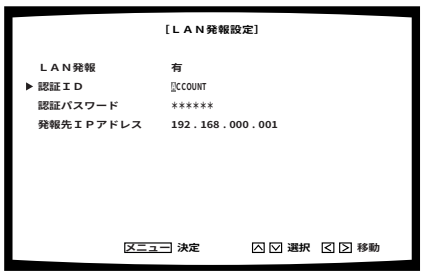
5 メニューボタンを押して決定する

6 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して認証ID、認証パスワード、発報先IPアドレスを選び、移動ボタン（>）を押す



- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。

7 チャンネル選択ボタン（1～10）および移動ボタンで設定する



（認証ID）（認証パスワード）

- 移動ボタン（∧または∨）で設定値を選びます。
- 移動ボタン（<または>）でカーソルが前後します。
- スペースを入力すると、それ以降の文字を消去します。

（発報先IPアドレス）

- チャンネル選択ボタン（1～10）で入力します。
- 移動ボタン（<または>）でカーソルが前後します。

項　目	設　定　値
認証ID	6～32文字の英数字および記号
認証パスワード	6～32文字の英数字および記号
発報先IPアドレス	000 ～ 255

8 メニューボタンを押して決定する

9 移動ボタン（<）を2回押す

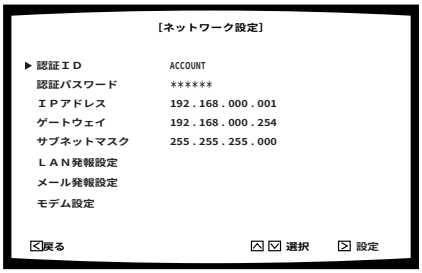
- リモートメニュー画面に戻ります。

お知らせ
- 設定した内容は、メインメニューを終了させたときに保存されます。
  メインメニュー終了前に電源を切ると、変更した内容は保存されません。

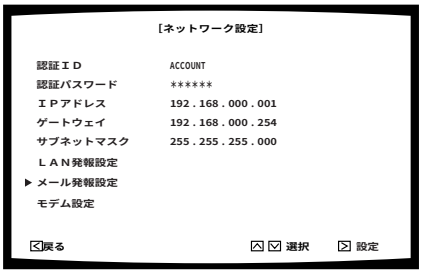
メール発報の設定

1 ネットワーク設定画面を表示する

- 110ページの手順❶～❷を操作してください。

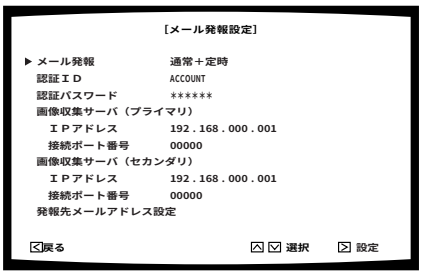


2 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してメール発報設定を選び、移動ボタン（>）を押す



3 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してメール発報を選び、移動ボタン（>）を押す

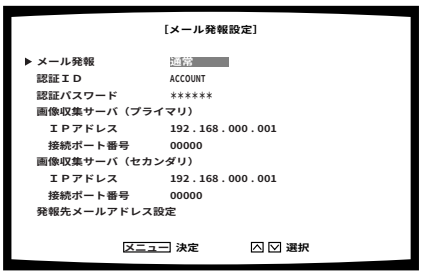
- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。



4 移動ボタンでメール発報を選ぶ

- 移動ボタン（∧または∨）で設定値を選びます。

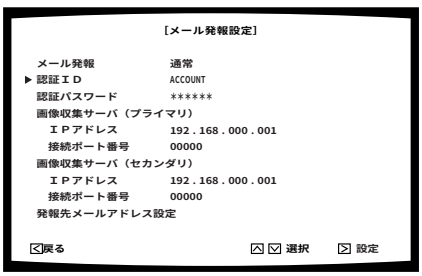
無←→通常←→通常＋定時
↑　　↑



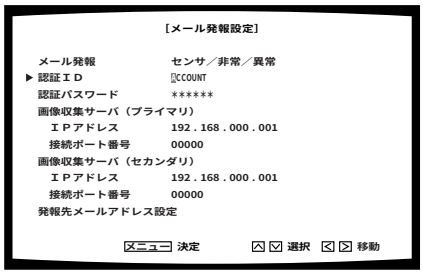
5 メニューボタンを押して決定する

6 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して認証ID、認証パスワード、画像収集サーバ（プライマリおよびセカンダリ）のIPアドレス、接続ポート番号を選び、移動ボタン（>）を押す

- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。



7 チャンネル選択ボタン（1～10）および移動ボタンで設定する



（認証ID）（認証パスワード）

- 移動ボタン（∧または∨）で設定値を選びます。
- 移動ボタン（＜または＞）でカーソルが前後します。
- スペースを入力すると、それ以降の文字を消去します。

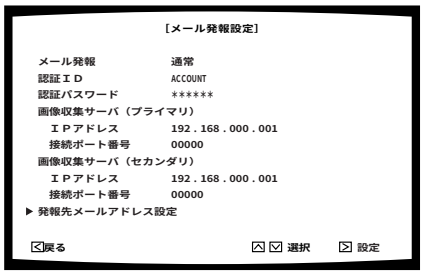
（IPアドレス）（接続ポート番号）

- チャンネル選択ボタン（1～10）で入力します。
- 移動ボタン（＜または＞）でカーソルが前後します。

項　目	設　定　値
認証ID	6～32文字の英数字および記号
認証パスワード	6～32文字の英数字および記号
IPアドレス	000 ～ 255
接続ポート番号	0⟷01024～65535

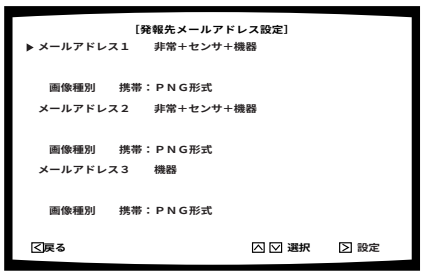
8 メニューボタンを押して決定する

9 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して発報先メールアドレス設定を選び、移動ボタン（＞）を押す

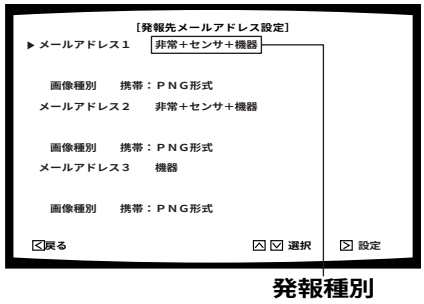


10 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してメールアドレス（1～3）を選び、移動ボタン（＞）を押す

- 移動ボタン（＞）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。



11 発報種別を選び、メールアドレスを入力する



発報種別

（発報種別）
- 移動ボタン（∧または∨）で設定値を選びます。

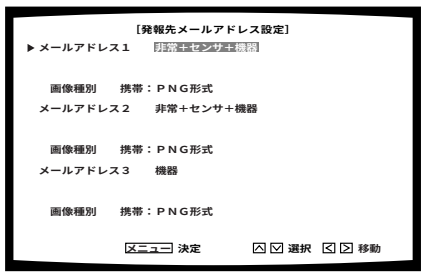
（メールアドレス）
- 移動ボタン（∧または∨）で設定値を選びます。
- 移動ボタン（＜または＞）でカーソルが前後します。
- スペースを入力すると、それ以降の文字を消去します。

項　目	設　定　値
発報種別	非常＋センサ＋機器↔非常＋センサ↔非常＋機器↔センサ＋機器↔非常↔センサ↔機器↔無
メールアドレス	0～96文字の英数字および記号

12 メニューボタンを押して決定する

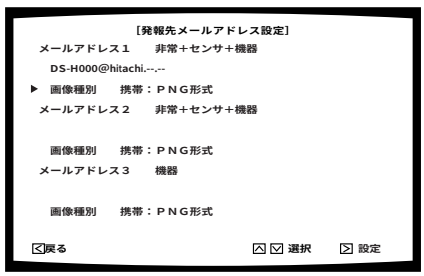
- 発報種別、メールアドレス入力後にそれぞれメニューボタンを押します。

13 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して画像種別を選び、移動ボタン（＞）を押す



- 移動ボタン（＞）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。

14 移動ボタンで画像種別を選ぶ



- 移動ボタン（∧または∨）で画像の種別を選びます。

携帯：ＰＮＧ形式↔携帯：ＪＰＥＧ形式↔携帯：ＢＭＰ形式
↕　　↕
ＰＣ：ＢＭＰ形式↔ＰＣ：ＪＰＥＧ形式↔ＰＣ：ＰＮＧ形式

15 メニューボタンを押して決定する

- メールアドレス1からメールアドレス3の欄に、各々1件ずつ最大3件まで登録できます。

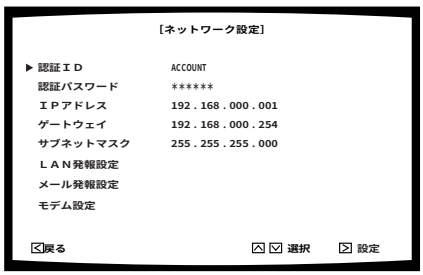
16 移動ボタン（＜）を3回押す

- リモートメニュー画面に戻ります。

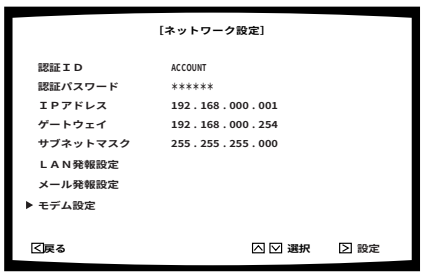
お知らせ
- 設定した内容は、メインメニューを終了させたときに保存されます。
  メインメニュー終了前に電源を切ると、変更した内容は保存されません。

1 ネットワーク設定画面を表示する

- 110ページの手順❶～❷を操作してください。

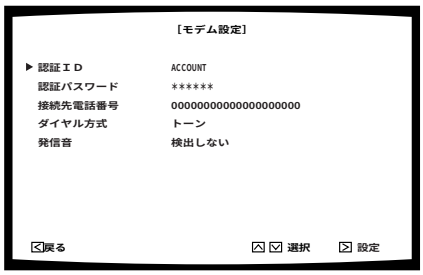


2 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してモデム設定を選び、移動ボタン（>）を押す



3 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して認証IDを選び、移動ボタン（>）を押す

- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。



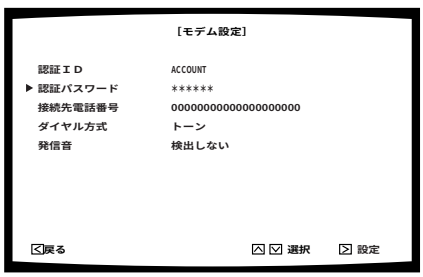
4 移動ボタンで認証IDを入力する

- 認証IDは、6～32文字の英数字（および記号）が入力できます。
- 移動ボタン（∧または∨）で入力してください。
- 移動ボタン（<または>）でカーソルが前後します。
- スペースを入力すると、それ以降の文字を消去します。

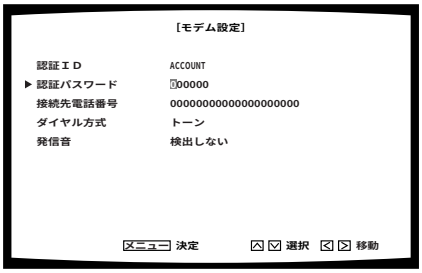
5 メニューボタンを押して決定する

6 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して認証パスワード、接続先電話番号、ダイヤル方式、発信音を選び、移動ボタン（>）を押す

- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。



7 チャンネル選択ボタン（1～10）および移動ボタンで設定する



（認証パスワード）
- 移動ボタン（∧または∨）で入力します。
- 移動ボタン（＜または＞）でカーソルが前後します。
- スペースを入力すると、それ以降の文字を消去します。

（接続先電話番号）
- 移動ボタン（∧または∨）で設定値を選びます。
- 移動ボタン（＜または＞）でカーソルが前後します。

（ダイヤル方式）（発信音）
- 移動ボタン（∧または∨）で設定値を選びます。

項　目	設　定　値
認証パスワード	6～32文字の英数字および記号
接続先電話番号	0～20文字の数字および“, ※ - ”
ダイヤル方式	トーン←→パルス
発信音	検出しない←→検出する

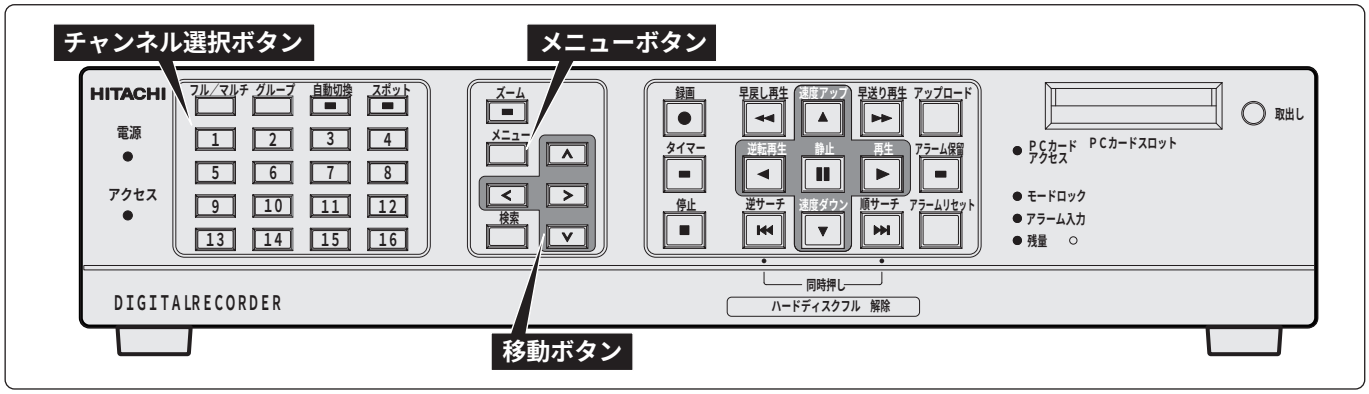
8 メニューボタンを押して決定する

- 手順❼で選んだ内容が保存されます。

9 移動ボタン（<）を2回押す

- リモートメニュー画面に戻ります。

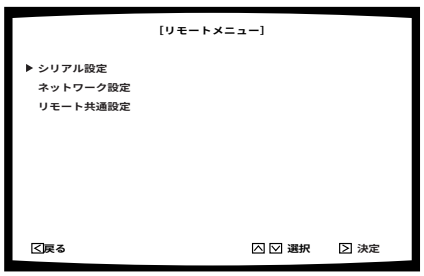
お知らせ
- 設定した内容は、メインメニューを終了させたときに保存されます。
  メインメニュー終了前に電源を切ると、変更した内容は保存されません。



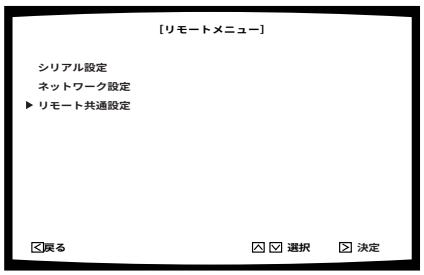
リモートの共通設定

1 リモートメニュー画面を表示する

- 74、75ページの手順❶～❸を操作してリモートメニューを選択してください。
- リモートメニュー画面が表示されます。

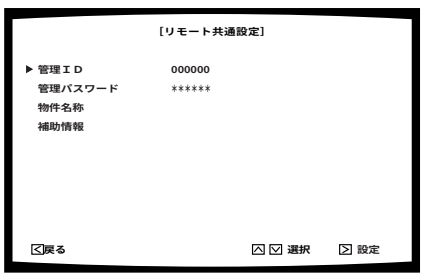


2 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してリモート共通設定を選び、移動ボタン（>）を押す



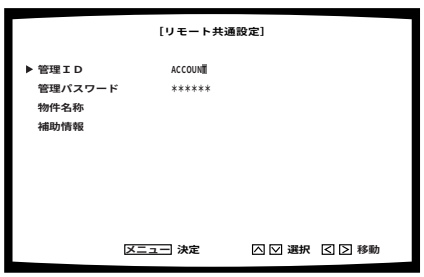
3 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して管理IDを選び、移動ボタン（>）を押す

- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。



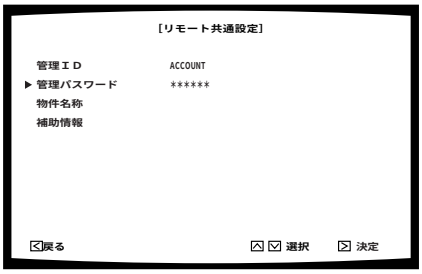
4 移動ボタンで管理IDを入力する

- 管理IDは、6～32文字の英数字（および記号）が入力できます。
- 移動ボタン（∧または∨）で入力してください。
- 移動ボタン（<または>）でカーソルが前後します。
- スペースを入力すると、それ以降の文字を消去します。



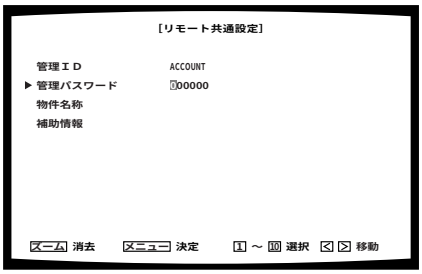
5 メニューボタンを押して決定する

6 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作して管理パスワード、物件名称、補助情報を選び、移動ボタン（>）を押す



- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。

7 チャンネル選択ボタン（1～10）および移動ボタンで設定する



（管理パスワード）（物件名称）（補助情報）

- 移動ボタン（∧または∨）で設定値を選びます。
- 移動ボタン（<または>）でカーソルが前後します。
- スペースを入力すると、それ以降の文字を消去します。

項　目	設　定　値
管理パスワード	6～32文字の英数字および記号
物件名称	32文字までの英数字および記号
補助情報	32文字までの英数字および記号

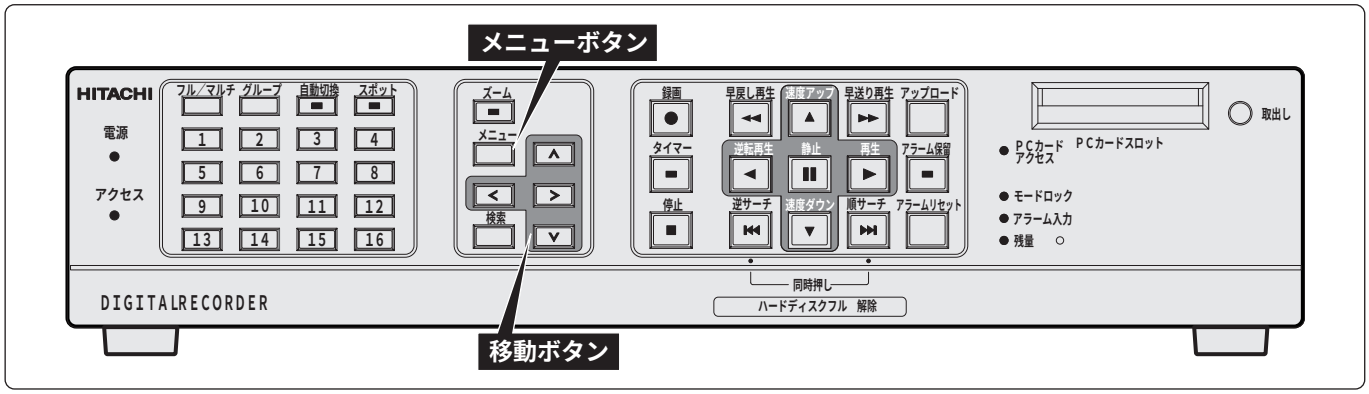
8 メニューボタンを押して決定する

9 移動ボタン（<）を2回押す

- メインメニュー画面に戻ります。

お知らせ
- 設定した内容は、メインメニューを終了させたときに保存されます。
  メインメニュー終了前に電源を切ると、変更した内容は保存されません。

フォーマットをする

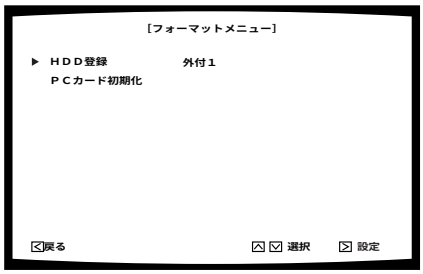


HDDの登録

新しいハードディスクを使用する場合、登録と初期化が必要になります。登録していないハードディスクを使用することはできません。

1 フォーマットメニュー画面を表示する

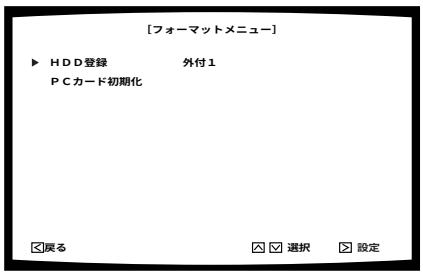
- 74、75ページの手順❶～❸を操作してフォーマットメニューを選択してください。



2 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してHDD登録を選び、移動ボタン（>）を押す

- 移動ボタン（>）を押したあと、設定値が白黒反転表示します。
- 未登録のハードディスクが接続されていない場合は、下記メッセージが表示され、手順❸の画面は表示されません。

登録できません

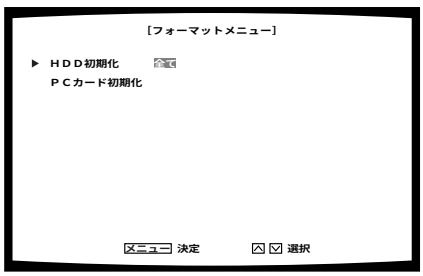


3 移動ボタンで登録するハードディスクを選ぶ

- 移動ボタン（∧または∨）で、ハードディスクを選びます

内蔵（マスタ）↔ 内蔵（スレーブ）↔ 外付1
外付6↔ 外付5↔ 外付4↔ 外付3↔ 外付2

登録可能なハードディスクのみ表示されます。



4 メニューボタンを押して決定する

- 「登録しますか？登録するHDDは初期化されます。」とポップアップウインドウが表示されます。

初期化する場合　　：移動ボタン（>）を押して、「はい」を選択します。
キャンセルする場合：移動ボタン（<）を押して、「いいえ」を選択します。

5 移動ボタン（<）を2回押す

- メインメニュー画面に戻ります。

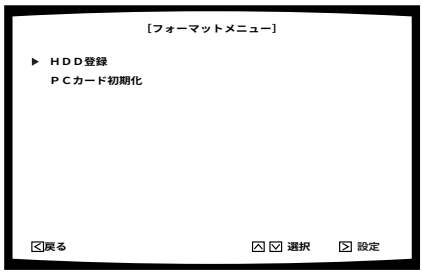
お知らせ
- 初期化できない場合、「初期化できません」とポップアップウインドウが表示されます。
- フォーマットメニュー操作中は記録することはできません。

PCカードの初期化

初期化していないPCカードは使用することができません。

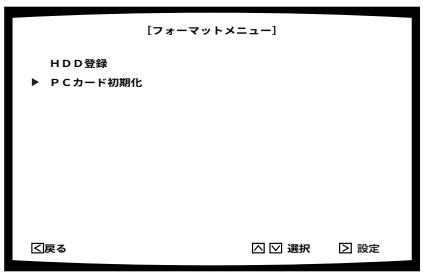
1 フォーマットメニュー画面を表示する

- 74、75ページの手順❶～❸を操作してフォーマットメニューを選択してください。



2 移動ボタン（∧または∨）でカーソル（▶）を操作してPCカード初期化を選ぶ

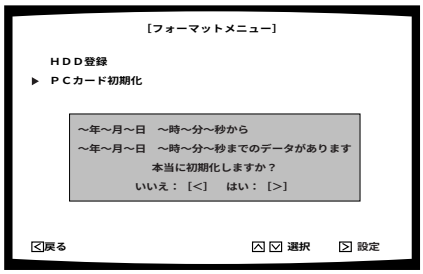
- 初期化するとPCカードの内容はすべて消去されます。

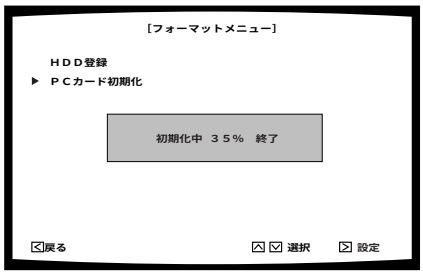


3 移動ボタン（>）を押す

- 「本当に初期化しますか？」とポップアップウインドウが表示されます。

  初期化する場合　　：移動ボタン（>）を押して、「はい」を選択します。
  キャンセルする場合：移動ボタン（<）を押して、「いいえ」を選択します。





お知らせ

- 初期化ができない場合、「初期化できません」とポップアップウインドウが表示されます。
- フォーマットメニュー操作中は、記録することはできません。

4 移動ボタン（<）を2回押す

- メインメニュー画面に戻ります。

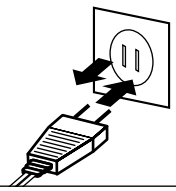
故障かな…と思ったら

症　状	お調べください	処　置	参照ページ
電源ランプが点灯（赤）しない	● 電源入力端子から、電源コードが抜けていませんか。 ● 電源コードはコンセントに差し込まれていますか。	● 電源コードを電源入力端子とコンセントに差し込んでください。	15
ボタンを押しても受け付けない	● モードロックのランプが点灯（緑）していませんか。点灯しているときはモードロック中です。	● モードロック解除の操作をしてください。	53
画面表示位置がおかしい。（文字が隠れている。）	● モニタ出力表示位置設定は正しいですか。	● 一般メニューのモニタ出力表示位置設定画面で設定してください。	103
4分割、9分割、10分割、16分割画面表示で、黒い画面がある。	● カメラの映像は入力されていますか。	● 入力されていないチャンネルは黒く表示されます。	―
	● スキップの設定をしていませんか。	● スキップの設定を解除してください。	95
映像がまったくでない。	● カメラからの接続ケーブルは断線していませんか。	● ケーブルが断線していないかを確認ください。	―
	● カメラの電源は入っていますか。	● カメラの電源が入っているか確認ください。	―
	● TVへの接続ケーブルが断線していませんか。	● ケーブルが断線していないかを確認ください。	―
自動切り換えができない。	● 再生中ではありませんか。	● 再生中は、自動切換えできません。	―
	● カメラの映像入力数が少なくありませんか。	● 分割表示の場合､映像入力数によって､自動切り換えをしない場合があります。	―
	● メニュー画面を表示していませんか。	● メニュー画面を消してください。	―
ズームボタンを押してもズームができない。	● 分割画面になっていませんか。	● 分割画面でのズームはできません。フル画面にて操作してください。	―
	● メニュー画面になっていませんか。	● メニュー画面を消してください。	―
ズーム表示が鮮明でない。	● ズーム表示はレンズによる光学的なものではなく､電子的に拡大しています。そのため鮮明な映像になりません。	――	―
音声が記録できない。	● 音声の接続ケーブルは、断線していませんか。	● ケーブルが断線していないかを確認ください。	―
	● 音声記録の設定が「無」になっていませんか。	● 記録メニューの一般記録設定で音声記録を「有」に設定してください。	80
記録ができない。	● HDD残量ランプが点灯（緑）していませんか。	● 順サーチボタンと逆サーチボタンを4秒以上押してハードディスクフルを解除してください。	22
タイマー記録ができない。	● HDD残量ランプが点灯（緑）していませんか。	● 順サーチボタンと逆サーチボタンを4秒以上押してハードディスクフルを解除してください。	22
	● タイマー予約の設定をしましたか。	● 記録メニューのタイマー記録設定画面で設定をしてください。	82
	● タイマーボタンのランプが点灯していますか。	● タイマーボタンを押してタイマースタンバイ状態にしてください。	34
記録の設定変更ができない。	● 記録中になっていませんか。	● 記録を停止するか、停止するまで待ってから設定してください。	―
アラーム記録ができない。	● アラーム入力1～8にセンサー等の出力が正しく接続されていますか。	● 正しく接続してください。	13
非常連動記録のプリの映像が記録されていない。	● プリの設定をしましたか。	● 記録メニューの非常連動記録でプリに記録時間を設定してください。	85
	● 外付けハードディスクのみのモードとなっていませんか。	● 外付けハードディスクのみのモードではできません。	―
再生中に、自動的に静止映像になってしまう。	● 記録の最後まで再生すると、自動的に静止映像になります。	――	―

症　状	お調べください	処　置	参照ページ
逆転再生中に再生ボタンを押すと、記録の始めに戻って再生を始める。	● 再生→停止→再生ボタンでは、停止したところから再生します。	● お好みの場所を再生したい場合は、各種サーチ機能で検索を行ってください。	41～48
	● 電源を入れたあとの最初の再生では、記録の始めから再生します。	──	―
逆転再生中に、自動的に静止映像になってしまう。	● 記録の最初まで再生すると、自動的に静止映像になります。	──	―
PCカードが使えない。	● PCカードは正しく挿入されていますか。	● PCカードを正しく挿入してください。	50
	● 推奨のPCカードを使用していますか。	● 推奨のPCカードを使用してください。	49
	● PCカードが破損していませんか。	● PCカードを交換してください。	―
	● PCカードは、初期化されていますか。	● PCカードの初期化を行ってください。	123
再生映像がスムーズに動かない。	● 記録間隔が長くありませんか。	● 記録間隔を短くしてください。	80、82、85、87
アラーム検索ができない。	● アラーム記録をしましたか。	● アラーム記録をしてください。	35
	● 設定が出来ませんの表示がでる。	● アラーム記録がされていません。	―
時分割サーチができない。	● 記録されている範囲外を指定していませんか。	● 記録されている範囲を指定してください。	43
	● 記録されていないチャンネルを指定していませんか。	● 記録されているチャンネルを指定してください。	―
タイムデートサーチができない。	● 記録されている範囲外を指定していませんか。	● 記録されている範囲を決定してください。	―
	● 記録されていないチャンネルを指定していませんか。	● 記録されているチャンネルを指定してください。	―
LAN機能が使えない	● ネットワーク設定は行いましたか。	● ネットワーク設定を行ってください。	110
RS-232Cを使って制御できない。	● ケーブルは接続されていますか。	● 正しく接続してください。	―
	● ケーブルの種類はあっていますか。	● クロスケーブルを使用してください。	―
	● コマンドは間違っていませんか。	● 確認してください。	57
	● 通信設定はあっていますか。	● 確認してください。	55

上記以外の異常な動作が発生したときは…

電源プラグをコンセントから抜き、再び差し込む



直らない

リセットボタンを押す

直らない

営業またはお買い上げの販売店へご連絡ください。

お知らせ

- 本機は、万が一、一方のハードディスクが故障した場合、他方のハードディスクのみで記録されるような場合があります。この場合、記録済みの部分が上書きされますので、お早めにハードディスクの交換修理を行ってください。
- 本機を廃棄もしくは譲渡される場合の映像データの消去は、使用者側の責任で行ってください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

保証書（別添）について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

当社は、この日立デジタルレコーダーの補修用性能部品（ハードディスクドライブ相当品）を、製造打切後8年間保有しています。性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または、「日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表」（134ページ）の一般ご相談窓口にお問い合せください。

転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店をご紹介させていただきます。
転居にともない本機を設置する環境（建物内部の配線等）が変わると、所定の性能がえられなかったり、故障の原因になりますので、設置業者による配線工事や調整が必要です。

修理を依頼されるときは（出張修理）

本機が正常に動作しないときは、「故障かな…と思ったら」（124～125ページ）をお調べください。それでも不具合な場合は、ご使用を中止し、必ず電源を切ってから、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。
なお、日立デジタルレコーダーの故障もしくは不具合により発生した、付随的損害（営業損失などの補償）の責については、ご容赦ください。

※万が一、ハードディスクが故障した場合、保証期間内であっても記録したデータの復旧はできません。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	日立デジタルレコーダー
形　名	DS-H300形
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

保証期間がすぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金のしくみ

技　術　料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部　品　代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。
出　張　料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料をいただく場合があります。

保守点検サービスのおすすめ

保守契約を結んでいただきますと、保守契約期間中は保守契約条項により、安心で有利なサービスが受けられます。

- 障害が発生した場合は、保守員を派遣して装置の修理を行うとともに、必要により点検を実施します。
- 詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ハードディスクと冷却ファンは消耗部品です。3年を目安に交換してください。（目安であり、保証ではありません。）

別売品のご紹介

カラービデオカメラ

VK-C456

VK-C451

※レンズは含まれません。

VK-C336

VK-C306

VK-C878

VK-C858

VK-C838

白黒ビデオカメラ

VK-M306

カメラ駆動ユニット

VK-AC550

カラーモニター　※（株）日立国際電機の製品です。

CT-1460（14型）

CT-2160（21型）

仕　様

形式	DS-H300
記録メディア	ハードディスク（240GB）
映像入力	16入力（BNC接栓／1.0Vp-p 75Ω終端）
スルー出力	16出力（BNC接栓／1.0Vp-p 75Ω終端）
モニター出力	2出力（BNC接栓／1.0Vp-p 75Ω終端）
音声入力	1入力（USピン）
音声出力	1出力（USピン）
同時録画再生	可
アラームセンサ入力	センサ連動：7入力／非常連動：1入力
分割表示	1／4／9／10／16分割
シーケンシャル表示	可
電子ズーム	可（x2／x3／x4／x5）
画質	3段階（FINE、STANDARD、BASIC）より選択
解像度	704（H）×480（V）：有効画素［704×464］（FINE／STANDARD） 352（H）×240（V）：有効画素［352×232］（BASIC）
記録間隔	10段階（0.03～30秒）
プリアラーム記録	最大3分（非常連動）／最大5秒（センサ連動）
ポストアラーム記録	最大30分（非常連動）／最大30分（センサ連動）
タイマー録画	2プログラム／日、7プログラム／週
グルーピング機能	5種類
再生モード	通常再生（正，逆）、スロー再生（正，逆）、早送り再生（早戻し再生）、コマ送り（正，逆）、静止画再生
トラブル検出出力	入力信号異常、HDD異常、ファン異常、その他
検索機能	●タイムデートサーチ ●アラームサーチ（サムネール画面表示） ●時分割（絞り込み）サーチ（サムネール画面表示） ●インデックスサーチ
改ざん検出機能	あり
SCSIインターフェース	SCSI-3（Ultra SCSI）
イーサーネット	100BASE-TX（モジュラージャック）
遠隔モニター	可
遠隔制御	可
RS-232C	あり
電源	AC100V（50/60Hz）
消費電力	約49W
許容動作温度（湿度）	5～40℃（10～75%）
質量	約8.0kg
外形寸法	420（W）×88（H）×350（D）mm

- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本機は日本国内専用です。電源電圧、信号方式の異なる外国ではお使いになれません。

PCカードのディレクトリ（フォルダー）構造

1 ルートディレクトリの下に、アップロードが開始された日付を表現した名称のサブディレクトリ（子）を生成します。
例：アップロード開始の日付が2002年9月23日であった場合、「020923」

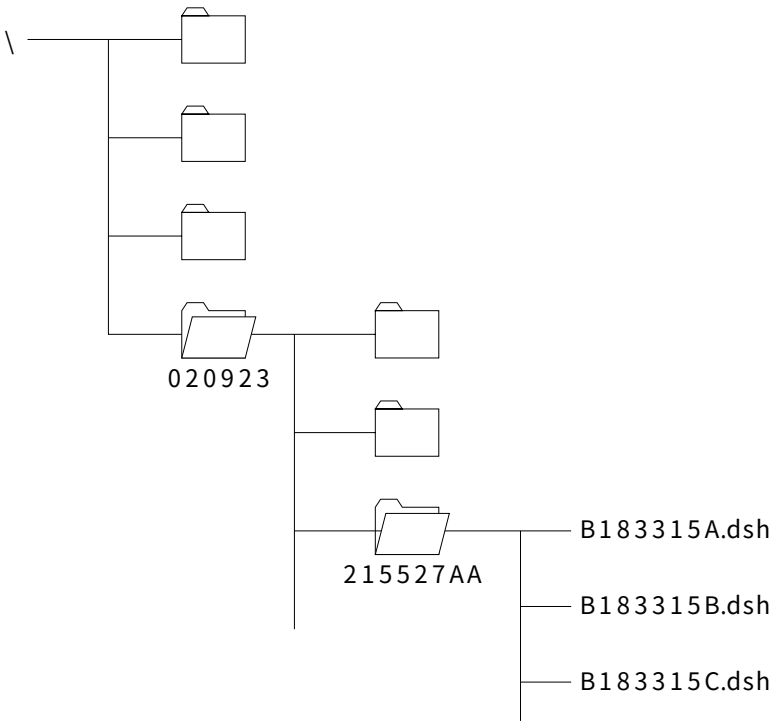
2 上記1）のディレクトリの下に、アップロードが開始された時刻に、ファイル名の重複を防ぐ識別子を付加した名称のサブディレクトリ（孫）を生成します。
例：アップロード開始の時刻が21時55分27秒のとき、「215527××」
（××は、識別子である「AA」～「AZ」～「ZA」～「ZZ」までの英文字が入る）

3 上記2）のディレクトリの下に、ファイルがアップロードされます。
ここでファイル名称は、「カメラナンバーに相当する英文字（1文字、下表参照）と、「データの開始時刻（6文字）」と、「識別子A～Z（1文字）となります。」また、音声CHのカメラナンバー文字は‘Q’とします。
例：データの開始の時刻が10時10分05秒のカメラナンバー1の画像ファイル名称は、A101005A.dsh

カメラナンバーと英文字対応表

カメラナンバー	英文字	カメラナンバー	英文字
1	A	10	J
2	B	11	K
3	C	12	L
4	D	13	M
5	E	14	N
6	F	15	O
7	G	16	P
8	H	音声	Q
9	I		

4 各ファイルは、チャンネル番号ごとに作成されます。
上記のファイル命名規則に従い、新規ファイルを作成し、ファイルにデータを書き込みます。



メッセージ一覧

項	メッセージ内容	表示タイミング	表示時間
1	再生を停止しました	①再生中にメニュー（検索）に移行したとき ②記録が再生に追いついたとき	3秒
2	検索中	再生状態→順サーチ押下時 再生状態→逆サーチ押下時 タイムデートサーチ実行時 時分割サーチ実行時 アラームサーチ実行時	検索結果が出るまで
3	ハードディスクが一杯です ディスクフルの解除操作を行って下さい	ディスクフル状態	5秒
4	HDDフル 非常連動記録を行うために古いデータを消去します	ディスクフル状態＆連動記録開始（リピート（RE-REC）記録設定なしのときのみ）	3秒
5	電源断により、設定データの更新に失敗しました	設定書き換え中に電源OFF→ONした場合	3秒
6	設定データ更新中 電源を落とさないで下さい	メニュー操作設定変更中	FROM書き込み完了まで
7	アップロード終了映像を指定して下さい	アップロード開始位置指定後	アップロード終了位置指定まで
8	アップロード範囲の指定は中断されました	アップロード範囲指定中断時	3秒
9	メモリカードを挿入して下さい	一時停止中orアラームサーチ中 メモリカード未挿入でアップロードボタンを押下した場合	3秒
10	容量不足のためメモリカードへアップロードできません	容量不足のメモリカード装着＆一時停止中orアラームサーチ中 アップロードボタン押下	確認ボタン押下するまで*2
11	未対応のカードのためアップロードできません	適用外メモリカード装着＆一時停止中orアラームサーチ中 アップロードボタン押下	3秒
12	フォーマットされていないためアップロードできません	未フォーマットのメモリカード装着＆一時停止中orアラームサーチ中 アップロードボタン押下	3秒
13	リード／ライトエラー アップロードを中断しました	メモリカードへのデータ書き込みを失敗したとき＆一時停止中orアラームサーチ中 アップロードボタン押下	確認ボタン押下するまで*2
14	アップロードは中断されました	①ユーザー操作によるアップロード中断 ②アップロード失敗による中断	確認ボタン押下するまで*2
15	アップロードが完了しました	アップロード完了時	確認ボタン押下するまで*2
16	設定できません	検索メニューで不正な日時を設定しようとしたとき	3秒
17	初期化できません	メモリカード未装着時にPCカード初期化を行おうとした場合	3秒
18	記録中は初期化できません	記録中にフォーマットメニューに入ろうとしたとき	3秒
19	初期化に失敗しました	ハードディスク初期化を失敗したとき PCカード初期化を失敗したとき	3秒
20	設定可能な範囲を超えています	日時設定を確定するとき、時刻補正「有」の場合に、ハードディスクに記録されている時刻を補正すると、2000/01/01より前になる場合（HDDに記録されていない場合は非表示になります。	3秒

項	メッセージ内容	表示タイミング	表示時間
21	アラーム再生を終了しました	アラーム再生中の下記操作時 ①カメラ切り換え押下（再生、一時停止） ②フル／マルチボタン押下（再生、一時停止） ③リモート分割画面操作（再生、一時停止） ④逆再生（再生） ⑤一時停止（再生） ⑥エラー発生によるライブ切り換え（再生、一時停止）	3秒
22	現在記録中のため設定できません	記録中に、日時設定、共通設定、グルーピング設定、一般記録設定、タイマー記録設定、非常連動記録設定、センサ連動記録設定、遠隔モニタリング設定、フォーマットメニューへ入ろうとしたとき	3秒
23	記録を優先するため再生を停止しました	多重記録等により、再生レートが1MB/s未満となった場合	3秒
24	記録を優先するため再生できません	再生に割り当てられるレートが1MB/s未満の状態で、再生操作を行った場合	3秒
25	初期化中　○%	HDD初期化中 PCカード初期化中＊1	初期化が完了するまで
26	一般記録＋非常連動＋センサ連動＋遠隔モニタリングの記録間隔の合計が秒30コマを超えています	一般記録設定確定操作時、記録の合計レートが30fpsを超えていた場合	5秒
27	タイマー記録＋非常連動＋センサ連動＋遠隔モニタリングの記録間隔の合計が秒30コマを超えています	タイマー記録設定確定操作時、記録の合計レートが30fpsを超えていた場合	5秒
28	記録間隔の合計が秒30コマを超えています	非常連動記録設定確定操作時、非常連動記録の合計レートが30fpsを超えていた場合	3秒
29	記録CHが重複しています	非常連動記録設定確定操作時、同一のCHが設定されていた場合	3秒
30	時刻が不正です	時間帯指定で不正な時刻が入力されていた場合	3秒
31	日付時刻が不正です	日時設定で不正な日付時刻が入力されていた場合	3秒
32	IPアドレスが不正です	ネットワーク設定、LAN発報設定で不正なIPアドレスが入力されていた場合	3秒
33	プライマリIPアドレスが不正です	メール発報設定で入力されたプライマリIPアドレスが0～255以外のとき	3秒
34	セカンダリIPアドレスが不正です	メール発報設定で入力されたセカンダリIPアドレスが0～255以外のとき	3秒
35	ゲートウェイが不正です	ネットワーク設定で入力されたゲートウェイアドレスが0～255以外のとき	3秒
36	サブネットマスクが不正です	ネットワーク設定で入力されたサブネットマスクアドレスが0～255以外のとき	3秒
37	プライマリ接続ポート番号が不正です	メール発報設定で入力されたプライマリ接続ポート番号が0又は01024～65535以外のとき	3秒
38	セカンダリ接続ポート番号が不正です	メール発報設定で入力されたセカンダリ接続ポート番号が0又は01024～65535以外のとき	3秒
39	全CHをスキップすることはできません	スイッチャー設定で全チャンネルがスキップに設定されたとき	3秒
40	登録しますか？ 登録するHDDは初期化されます いいえ：［<］　はい：［>］	フォーマットメニューで、ハードディスクを登録しようとしたとき	ボタン押下されるまで
41	登録しました	HDDを登録できたとき	3秒
42	登録できません	HDDを登録できなかったとき	3秒
43	初期化に失敗したため登録できません	フォーマットメニューで、HDDの初期化に失敗し登録できなかったとき	3秒

メッセージ一覧（つづき）

項	メッセージ内容	表示タイミング	表示時間
44	映像データがありません	①検索メニューから検索しようとしたときにHDDに記録がなかった場合 ②HDD初期化後の再生操作時	3秒
45	記録の合計が秒30コマを超えています	記録間隔の設定確認時、記録の合計コマ数が秒30コマを超えていたとき	3秒
46	ID・パスワードは3文字以上設定して下さい	ネットワーク設定、LAN発報設定で、ID・パスワードが3文字以下で設定された場合	3秒
47	ID・パスワードは6文字以上設定して下さい	メール発報設定、モデム設定で、ID・パスワードが6文字以下で設定された場合	3秒
48	ネットワーク通信を切断しますよろしいですか？ いいえ：［<］　はい：［>］	リモートメニュー遷移時、ネットワーク接続していた場合	ボタン押下されるまで
49	ネットワーク通信を切断しています	ネットワーク切断中	3秒
50	ネットワーク通信を切断できません	ネットワーク切断に失敗した場合	3秒
51	ネットワーク通信中のため設定できません	ネットワーク切断をキャンセルした場合	3秒
52	遠隔モニタリング設定を全て解除します よろしいですか？ いいえ：［<］　はい：［>］	センサ連動記録、非常連動記録で遠隔モニタリングを解除すればレートオーバーを回避できる場合	ボタン押下されるまで
53	未登録CHを記録メニューのグルーピング設定で登録して下さい	グループ登録されていないCHの映像が入力された場合	①他のメッセージが表示された場合 ②表示タイミングの条件に満たない場合
54	未登録HDDをフォーマットメニューのHDD登録で登録して下さい	HDDが追加された場合	①他のメッセージが表示された場合 ②表示タイミングの条件に満たない場合
55	未登録CHを記録メニューのグルーピング設定で登録して下さい 未登録HDDをフォーマットメニューのHDD登録で登録して下さい	グループ登録されていないCHの映像が入力され、かつHDDが追加された場合	①他のメッセージが表示された場合 ②表示タイミングの条件に満たない場合
56	記録間隔の合計が秒30コマを超えています 一般記録設定の記録間隔を見直して下さい はい：［>］	センサ連動記録設定、非常連動記録設定で確定時に、記録の合計レートが30fpsを超えており、一般記録が設定されているとき	ボタン押下されるまで
57	記録間隔の合計が秒30コマを超えています タイマー記録設定の記録間隔を見直して下さい はい：［>］	センサ連動記録設定、非常連動記録設定で確定時に、記録の合計レートが30fpsを超えており、タイマー記録が設定されているとき	ボタン押下されるまで
58	メモリカードへデータアップロード中　○%	アップロード実行中	アップロード開始から完了まで
59	メモリカードへデータアップロード中　○%　○／○	未再生アラームのアップロード実行中	アップロード開始から完了まで
60	○年○月○日○時○分○秒から○年○月○日○時○分○秒までのデータがあります 本当に初期化しますか？ いいえ：［<］　はい：［>］	記録済みのメモリカードを初期化しようとしたとき	ボタン押下されるまで

項	メッセージ内容	表示タイミング	表示時間
61	設定しようとした日時はHDD上の記録と重複します ○年○月○日○時○分○秒以降の日時を設定して下さい	日時設定を確定しようとしたとき、時刻補正が「無」の場合に、HDDに記録された最新日時よりも設定日時が古かった場合	5秒
62	日時を変更すると他のコントローラで 再生できなくなる可能性があります よろしいですか？ いいえ：［<］　はい：［>］	一般メニューから日時設定に抜けるとき（HDDが接続されていない場合は非表示）	ボタン押下されるまで
63	下記のHDDが見つかりません HDDの登録から抹消しますか？	コントローラー起動時に登録済みのHDDが接続されていなかった場合	ボタン押下されるまで
64	本体及び外付HDDの電源を切ってHDDのの接続を確認して下さい	項63メッセージで抹消しないを選択した場合	電源を切るまで
65	システムを再起動します しばらくお待ち下さい	項63メッセージで抹消するを選択した場合	リセットがかかるまで

※1：初期化の進捗状況は、5%単位です。

※2：アップロード開始から終了メッセージの表示時間終了条件となるまで、もしくはアップロード開始から中断メッセージの表示時間終了条件となるまでは、アップロードの表示優先順位が最も高くなり、メニューや検索への移行はできなくなります。

※3：項53、54、55は表示タイミングの条件を満たすまでは、表示したままとなります。
メッセージは5秒ごとに表示更新を行い、表示時間①条件によりメッセージが消えた場合でも5秒後に再描画します。

日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈り物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに
関するご相談は
TEL　0120−3121−68
FAX　0120−3121−87

商品情報やお取り扱いに
ついてのご相談は
TEL　0120−3121−11
FAX　0120−3121−34

一般ご相談窓口　家電品についてのご意見やご要望は各地区の**お客様相談センター**へ

担当地域	電話番号	所在地
北海道地区	011-833-5088	札幌市白石区東札幌2条4-1-10
東北地区	022-232-5088	仙台市宮城野区扇町1-1-45
関東・甲信越地区	03-3834-8588	台東区東上野2-7-5（日立家電上野ビル）
中部地区	052-795-5088	名古屋市守山区川宮町55（日立家電守山ビル）
関西地区	078-431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8
中国地区	082-231-5088	広島市西区観音新町1-7-17
四国地区	0877-47-1088	坂出市林田町4285-143
九州・沖縄地区	092-281-5088	福岡市博多区店屋町7-18（博多渡辺ビル）

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

ご購入店名：

後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるときお役にたちます。

電話（　　－　　－　　）　ご購入年月日：　　年　　月　　日

製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際は、製造番号と保証書の番号
が一致しているかご確認ください。

企業や公共機関の家電品ニーズにおこたえする窓口

0120-312119

家電ビジネス情報センター　平日午前9時～午後5時30分、土・日・祝日は休業

株式会社 日立製作所

〒105-8430　東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

QR34103 ©Hitachi, Ltd. 2002

Printed in Japan OF-K(N)